

平成27年10月入学

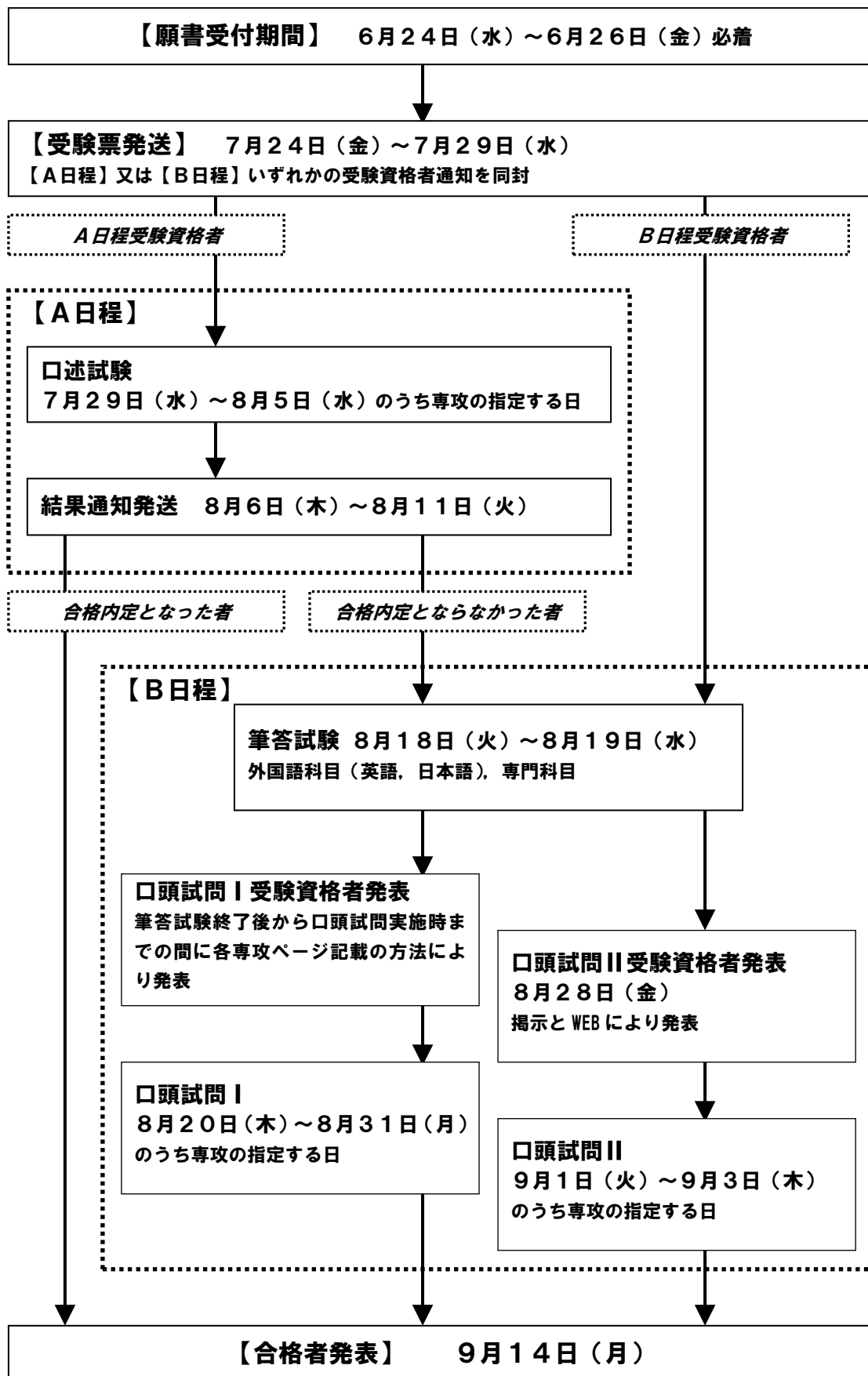
**東京工業大学
大学院修士課程
学生募集要項**

理 工 学 研 究 科
生命理工学研究科
総合理工学研究科
情報理工学研究科
社会理工学研究科
イノベーションマネジメント研究科



願書受付期間：平成27年6月24日（水）～6月26日（金）

修士課程10月入学試験の流れ



目 次

1. 募 集 人 員	1
2. 入 学 時 期	2
3. 出 願 資 格	2
4. 出 願 書 類 等	4
5. 併 願 に つ い て	6
6. 願 書 受 付	6
7. 選 抜 試 験	7
8. 合 格 者 発 表	8
9. 入 学 手 続	8
10. 注 意 事 項	8
 I 出願書類等記入要領	9
 II 専攻案内・試験実施内容・指導教員及びその研究分野一覧	13
理 工 学 研 究 科	14
生命理工学研究科	52
総合理工学研究科	64
情報理工学研究科	90
社会理工学研究科	100
イノベーションマネジメント研究科	110
 III 平成27年4月入学及び平成26年10月入学東京工業大学 大学院修士課程・専門職学位課程入学試験結果(公表資料)	113
 アドミッションポリシー	114

【 添付書類一覧 】

1. 平成27年10月入学東京工業大学大学院修士課程入学志願票（電算処理票，写真票，受験票）
2. 志望理由書
3. 整理票
4. 平成27年10月入学東京工業大学大学院修士課程入学試験第3志望専攻届
5. 平成27年10月入学東京工業大学大学院修士課程入学試験出願資格審査申請書
6. 平成27年10月入学東京工業大学大学院修士課程入学試験出願資格の審査に係る推薦について
7. 出願書類送付用封筒
8. 受験票送付用封筒
9. 入学検定料払込取扱票

1. 募 集 人 員

研 究 科 名	専 攻 名	募 集 人 員	専攻案内ページ
理 工 学 研 究 科	数 学	若干人	1 5 ページ
	基 礎 物 理 学		1 7 ページ
	物 性 物 理 学		1 9 ページ
	化 学		2 1 ページ
	地 球 惑 星 科 学		2 3 ページ
	物 質 科 学		2 5 ページ
	材 料 工 学		2 7 ページ
	有機・高分子物質		2 9 ページ
	応 用 化 学		3 1 ページ
	化 学 工 学		3 3 ページ
	機 械 物 理 工 学		3 5 ページ
	機 械 制 御 シ ス テ ム		
	機 械 宇 宙 シ ス テ ム		
	電 気 電 子 工 学		3 9 ページ
	電 子 物 理 工 学		
	通 信 情 報 工 学		4 1 ページ
	土 木 工 学		4 3 ページ
	建 築 学		4 5 ページ
	国 際 開 発 工 学		4 7 ページ
	原 子 核 工 学		4 9 ページ
生 命 理 工 学 研 究 科	分 子 生 命 科 学	若干人	5 3 ページ
	生 体 シ ス テ ム		5 5 ページ
	生 命 情 報		5 7 ページ
	生 物 プ ロ セ ス		5 9 ページ
	生体分子機能工学		6 1 ページ
総 合 理 工 学 研 究 科	物 質 科 学 創 造	若干人	6 5 ページ
	物 質 電 子 化 学		6 7 ページ
	材 料 物 理 科 学		6 9 ページ
	環 境 理 工 学 創 造		7 1 ページ
	人 間 環 境 シ ス テ ム		7 5 ページ
	創 造 エ ネ ル ギ ー		7 7 ページ
	化 学 環 境 学		7 9 ページ
	物理電子システム創造		8 1 ページ
	物理情報システム		
	メカノマイクロ工学		8 5 ページ
	知能システム科学		8 7 ページ
情 報 理 工 学 研 究 科	数 理 ・ 計 算 科 学	若干人	9 1 ページ
	計 算 工 学		9 3 ページ
	情 報 環 境 学		(機械系) 9 5 ページ (社会・環境系) 9 7 ページ
社 会 理 工 学 研 究 科	人 間 行 動 シ ス テ ム	若干人	1 0 1 ページ
	価 値 シ ス テ ム		1 0 3 ページ
	経 営 工 学		1 0 5 ページ
	社 会 工 学		1 0 7 ページ
イノベーションマネジメント 研究科	技 術 経 営	若干人	1 1 1 ページ

2. 入 学 時 期

本選抜試験の対象とする入学時期は「平成27年10月」です。出願する際には、事前に専攻とよく相談してください。問合わせ先は各専攻ページを参照してください。また、「平成28年3月卒業見込みの者」及び「清華大学との大学院合同プログラムを第1志望とする者」、「平成28年4月入学を希望する者」は、別途4月入学用募集要項から出願してください。**本要項からは出願できません。**

3. 出 願 資 格

次の各号のいずれかに該当する者とします。

- (1) 大学を卒業した者及び平成27年9月30日までに卒業見込みの者
- (2) 学校教育法（昭和22年法律第26号）第104条第4項の規定（大学評価・学位授与機構）により学士の学位を授与された者及び平成27年9月30日までに学士の学位を授与される見込みの者
- (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者及び平成27年9月30日までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び平成27年9月30日までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び平成27年9月30日までに修了見込みの者
- (6) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び修了見込みの者
- (7) 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号）
- (8) 大学に3年以上在学した者、外国において学校教育における15年の課程を修了した者、又は我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における15年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者であって、本学大学院において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者
- (9) 本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、次のいずれかの要件を満たす者
 - 一 日本国内において、高等専門学校若しくは短期大学の専攻科、朝鮮大学校又は外国大学日本校（文部科学大臣が別に指定する教育施設を除く。）の教育を受け、16年の課程に相当する期間を修了したと認められる者（先に掲げた教育機関の卒業者又は入学する日の前日までに卒業する見込みの者）であって、入学する日の前日までに22歳に達するもの
 - 二 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に定める日以前に修了した者
 - 三 高等専門学校若しくは短期大学を卒業した者又は大学に2年以上在学し退学した者で、企業等において、2年以上正規職員としての勤務歴を有する者（イノベーションマネジメント研究科技術経営専攻志願者のみ）
- (10) 大学卒業までに16年を要しない国からの外国人留学生又はこれに準ずる者であって次の2つの要件を満たし、かつ本学大学院が我が国の大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者
 - 一 大学教育修了後、日本国内又は国外の大学若しくは大学共同利用機関等これに準ずる研究機関において、研究生、研究員等として1年以上研究に従事した者及び平成27年9月30日までに1年以上研究に従事する見込みの者
 - 二 平成27年9月30日までに22歳に達する者

【出願資格審査について】

出願資格（８），（９）又は（１０）による志願者は、事前に出願資格審査を受ける必要があります。

原則として下記の書類を一括して**平成２７年５月２７日（水）必着で速達書留出願書類に同封のうえにて郵送**してください。やむを得ず窓口で提出する場合は５月２７日（水）１７時までに入試課に提出してください。

なお、出願資格（９）又は（１０）の該当者は、提出前に必ず入試課まで問い合わせてください。

出願資格審査の結果通知は、６月４日（木）頃に発送します。６月１０日（水）までに届かない場合は、入試課へ確認してください。（TEL. 03-5734-3990：平日9:00～17:15 [12:15～13:15は除く]）

出願資格審査に必要な書類（○印のある書類を提出してください）

提出書類	出 願 資 格			備 考
	(8)	(9)	(10)	
① 出願資格審査申請書	○	○	○	別添のものを使用
② 入学志願票のコピー	○	○	○	別添のものを使用
③ 志望理由書 併願者の場合は専攻毎に作成すること	○	○	○	別添のものを使用
④ 成績証明書	○	○	○	
⑤ 第３志望専攻届のコピー 併願者で、各専攻ページ「併願」欄に記載の併願の組合せにより 第３志望まで併願する者のみ提出	○	○	○	別添のものを使用
⑥ 在学証明書	○			
⑦ 所属大学（学部）長推薦書 本学の者は、所属学科長に作成してもらうこと（大学（学部）長の印は不要）	○			別添のものを使用
⑧ 当該大学の学習規程等 ただし本学出身のものは提出不要	○			
⑨ 卒業証明書又は卒業見込証明書	○	○	○	飛び入学の場合は 不要
⑩ 出願資格（９）の三又は（１０）の一を証明する書類 ☆については出願資格（９）の三の場合のみ提出		☆	○	

【出願資格(8)の該当者への注意事項】

出願資格（８）のうち本学学部から飛び入学で出願する場合については下記１～３の要件を満たす必要があります。なお、他大学からの飛び入学による出願の場合はこれに準ずることとします。

- 平成２７年９月３０日において、大学在学期間が３年間に達すること。ただし、大学を卒業した者及び平成２７年９月３０日までに卒業見込み（早期卒業を含む）の者は、出願資格（１）となり、出願資格審査は不要です。
- ２年次までに、当該志願者の所属学科（これに相当するものを含む）における成績順位が上位約５％以内であり、かつ、原則として９５単位以上を修得していること。
- ３年次までに、原則として専門科目を６０単位以上及び卒業に必要な全学科目（文系科目，（総合科目），（文系科目），国際コミュニケーション科目Ⅰ・Ⅱ，理工系基礎科目及び健康・スポーツ科目）の単位を修得見込みであること。なお、入学試験に合格した後、これらの単位を修得することができないことが確定した場合には、合格を取り消すこととします。

※ 飛び入学で出願し、本学大学院修士課程に入学する場合、学部は「卒業」ではなく「退学」となります。各種国家試験等の受験資格では、大学の学部卒業が要件となっているものもあります。また、海外の大学の大学院を受験する場合に受験資格が認められない可能性もあります。注意してください。

なお、学士の学位の取得を希望する者は、「大学評価・学位授与機構」に学位授与申請を行ってください。審査に合格した場合に「大学評価・学位授与機構」より学士の学位が授与されます。ただし、大学卒業とはなりません。

（大学評価・学位授与機構ホームページ <http://www.niad.ac.jp/>）

4. 出 願 書 類 等

志願者は下記【志願者全員が提出する書類等】及び【該当者のみ提出する必要がある書類】を一括して提出してください。願書受付期間に提出できないものがある場合は、受付はいたしません。

身体に障害がある志願者で、その障害の種類・程度に応じて受験上及び修学上の配慮を必要とすることがありますので、あらかじめ願書受付期間の前に入試課に申し出てください。

【志願者全員が提出する書類等】

出 願 書 類 等	備 考
① 入学志願票・電算処理票・写真票・受験票	別添のものを使用
② 整理票	別添のものを使用
③ 受験票送付用封筒 住所、氏名等を記入し、 372円分 の切手を貼ること	別添のものを使用
④ 入学検定料 30,000円 ・別添の払込取扱票にて全国の金融機関・ゆうちょ銀行又は郵便局（三井住友銀行を利用した場合は手数料無料）の受付窓口で払い込み、「振替払込受付証明書（お客さま用）」を電算処理票の所定の貼り付け欄に貼付すること ・日本国政府の国費奨学金を受給している外国人留学生（以下国費留学生）は不要です。国費外国人留学生証明書を提出すること ・入学を希望する者又は主たる家計支持者が居住する地域の自然災害により災し、災害救助法（昭和22年法律第118号）の適用を入学願書の提出時に受けており、検定料の納付が著しく困難であると認められる場合には、入学検定料を免除することがあります。下記のような場合に免除となりますが、詳しくは出願期間前に入試課までお問い合わせください。 1) 主たる家計支持者が所有する自宅家屋が全壊、大規模半壊、半壊、流出した場合 2) 主たる家計支持者が死亡又は行方不明の場合	
⑤ 成績証明書 ・本学卒業・卒業見込みの者も必ず提出すること ・併願出願する者は原本を2部提出すること（コピーしたものは不可） ・教養課程と専門課程が分かれている場合には、両方提出すること ・大学に編入学した者は、高等専門学校又は短期大学等の成績証明書も提出すること	
⑥ 卒業証明書又は卒業見込み証明書 ・本学卒業・卒業見込みの者も必ず提出すること ・出願資格（2）の者で、学士の学位を授与された者は、大学評価・学位授与機構が発行した学位授与証明書を提出し、学士の学位を授与される見込みの者は、学位授与申請予定である旨の申立書（書式自由）を提出すること	
⑦ 志望理由書 ・専攻によってはテーマ等を設けているので、各専攻ページを必ず参照すること。なお、テーマを設けていない専攻の志願者も必ず提出すること ・本学卒業・卒業見込みの者も必ず提出すること ・併願出願する者は志望専攻毎に作成し、提出すること	別添のものを使用 ただし、別添の様式に準じていれば、ワープロ等で作成した物を提出しても差し支えない

（注1）⑤及び⑥は一つの証明書にまとまってもかまいません。

（注2）出願資格（8）、（9）又は（10）で出願する者は、あらためて⑤、⑥及び⑦を提出する必要はありません。

【該当者のみ提出する必要がある書類】

該 当 者	出 願 書 類	備 考
①筆答試験のうち英語試験を実施せず、本学の指定する外部テストのスコアシートを利用する専攻の志願者 ②専攻の定める点数以上の外部テストのスコアシート提出により英語試験免除等を希望する志願者	外部テストのスコアシート（成績証明書）	下記【外部テストのスコアシートの提出について】及び各専攻ページを参照すること
併願者で、各専攻ページ「併願」欄に記載の併願の組合せにより第3志望まで併願する者	第3志望専攻届	別添のものを使用
外国人留学生（全員）	住民票（外国人）（やむを得ない場合は、外国人登録証あるいは在留カードの両面のコピー，又は在留資格、滞在期間の確認ができる書類のコピーでも可）	
外国人留学生（該当者のみ）（日本政府国費奨学金受給者）	国費外国人留学生証明書	
外国人留学生（該当者のみ）（外国政府奨学金受給者）	外国政府の奨学金を受給していることを確認できる書類	
出願資格（8），（9）又は（10）に該当する者（2ページ参照）	本学が発行した出願資格審査の結果通知	

【外部テストのスコアシートの提出について】

筆答試験のうち英語試験を実施しない専攻を志望する場合は、外部テストのスコアシート（成績証明書）の提出が必要です。また、英語試験を実施する専攻であっても、点数が志望専攻の免除基準を満たす場合には、外部テストのスコアシートを提出することによって英語試験が免除される場合があります。志望専攻の専攻ページを必ず確認し、指示に従ってください。なお、併願出願の場合は第1志望の専攻ページの指示に従ってください。

スコアシートの提出方法は下記の3通りのいずれか専攻が指定する方法となります。

- 出願時に原本の提出を必須とする
- 出願時に原本の提出を原則とするが、専攻の指定する方法等により後日の提出も認める
- 出願時には提出せず、専攻の指定する方法等により後日提出する

- 本学が指定する外部テストは、TOEFL-iBT, TOEFL-PBT, TOEIC です。TOEFL-ITP 及び TOEIC-IP 等は認めていないので注意してください。
- 出願書類として提出するスコアシートは、TOEFL-iBT または TOEFL-PBT では、Examinee Score Reportです。ETSから直接本学に送付されるOfficial Score Reportは利用できないので注意してください。TOEIC の場合は Official Score Certificate です。
- スコアシートは、当該試験願書提出期限からさかのぼって2年以内に受験したものに限り有効とします。

《本学が定める外部テストの換算基準》

- TOEICとTOEFL-PBTの換算式

$$((\text{TOEFL-PBT}) - 296) \div 0.348 = \text{TOEIC}$$

※ ただしTOEFL-PBTの点数が400点以下、TOEICの点数が300点以下の場合は、上記の換算式は適用されません。

2. TOEFL-iBT とTOEFL-PBTの得点換算表 (ETSのホームページより抜粋)

iBT	PBT
36-37	420
35	417
34	410-413
33	407
32	400-403
30-31	397
29	390-393
28	387
26-27	380-383
25	377
24	370-373
23	363-367
22	357-360
21	353
19-20	347-350
18	340-343
17	333-337

5. 併願について

各専攻ページの【併願】欄には、その専攻を第1志望とした場合に併願可能な他専攻の組み合わせが記載されています。これ以外の専攻の組み合わせで出願した場合、第2志望専攻以下は無効となるので注意してください。

併願出願をする場合は、**成績証明書の原本2部**と**志望する専攻毎の志望理由書**を提出する必要があります。

また、専攻によっては第3志望まで併願できる場合がありますが、この場合は「第3志望専攻届」を出願時に必ず提出してください。

6. 願書受付

志願者は出願書類一式を下記のとおり提出してください。**願書記入事項及び提出書類の不備なものは受理できません**ので、郵送・提出前には記入漏れ、書類不備のないことを必ず確認してください。なお、**願書受理後の提出書類の内容変更はできません**。

【郵送する場合】

出願書類一式を別添の封筒に入れ、**速達書留郵便**で送付してください。

- ・ 受付期間 平成27年6月24日(水)から6月26日(金)必着
・ 郵送先 〒152-8550 東京都目黒区大岡山2-12-1-W8-103
東京工業大学 学務部入試課

【窓口で提出する場合】

出願書類一式を別添の封筒に入れ、紛失事故防止のため必ず**厳封のうえ提出**してください。願書提出時に窓口で書類のチェック等はしません。

- ・ 受付期間 平成27年6月24日（水）から6月26日（金） 10時～12時、 13時～15時
(この時間以外は一切受け付けません)
- ・ 受付窓口 入試課（大岡山キャンパス西8号館E棟212号室）
(すずかけ台キャンパスでは受け付けません)

7. 選 抜 試 験

選抜は、『A日程』（口述試験等による選抜）及び『B日程』（筆答試験及び口頭試問等による選抜）により行います。いずれの受験資格者になるかは各専攻が出願書類によって決定し、受験票の発送時に通知します（志願者は選択できません）。

なお、出願資格（8）による志願者（2ページ参照）は、『B日程』のみの受験となります。また、数学専攻、基礎物理学専攻、物性物理学専攻、地球惑星科学専攻及び数理・計算科学専攻は、『B日程』のみを実施し、『A日程』は行いません。

【A日程】

口述試験及び出願書類によって合格内定者を決定します。ただし、教育上の配慮から、教員あたりの指導学生数に制限を設けています。

口述試験

- ・ 口述試験は、7月29日（水）～8月5日（水）の間に実施します。
- ・ 日時及び場所等については、7月24日（金）～7月29日（水）の間に発送する受験票によりお知らせします。試験場は専攻により大岡山キャンパス又はすずかけ台キャンパスとなります。
- ・ 『A日程』の試験結果通知は、8月6日（木）～8月11日（火）の間に発送します。

合格内定とならなかった者は、下記の『B日程』を受験することができます。一方、合格内定となった者は、『B日程』を受験することはできません。

【B日程】

筆答試験、口頭試問及び出願書類によって可否を決定します。ただし、教育上の配慮から、教員あたりの指導学生数に制限を設けています。

なお、併願の場合、筆答試験は「第1志望専攻の指定する科目」を受験することになりますが、口頭試問は第1志望、第2志望、第3志望、それぞれの専攻で受験資格者となることがありますので、当該専攻において口頭試問を受ける必要があります。

筆答試験

- ・ 筆答試験は、8月18日（火）及び8月19日（水）に大岡山キャンパスで実施します。
- ・ 日時及び場所等については、試験場案内を8月17日（月）10時頃から大岡山キャンパス正門守衛所付近で配布します。また同時に本学ホームページ（新着入試情報）にも掲載します。
- ・ 筆答試験は、外国語科目（英語、日本語）及び専門科目です。
- ・ 英語は志願者全員が受験しなければなりません、専攻によっては外部テストのスコアシートの提出に置き換えています。その場合については、5ページの【外部テストのスコアシートの提出について】及び各専攻ページを参照してください。
- ・ 日本語は、日本語試験を実施する専攻を志望する外国人留学生のみが受験してください。
- ・ 外国語科目での辞書の持ち込みは、専攻が「辞書持ち込み可」（各専攻ページ【試験実施日程等】の備考欄に掲載）とした科目以外は認めません。
- ・ 専門科目については、各専攻ページを参照して下さい。（12ページ「専門科目コード表」参照）なお、専攻によっては他の専攻の出題する専門科目を受験することができますが、この場合、出題した専攻の試験日時・試験室で受験することになります。

口頭試問

- ・ 口頭試問は下記の2種類があり、専攻により実施する口頭試問が指定されています。各専攻ページで確認してください。試験場は大岡山キャンパス又はすずかけ台キャンパスとなります。

口頭試問Ⅰ

- ・ 受験資格者発表：筆答試験終了後から口頭試問実施時までの間に各専攻ページ記載の方法により発表します。
- ・ 実施日時：8月20日（木）～8月31日（月）のうち専攻の指定する日時
- ・ 実施場所：専攻の指定する場所（受験票の発送時に集合場所・日時一覧を同封します。）

口頭試問Ⅱ

- ・ 受験資格者発表：8月28日（金）12時頃、大岡山キャンパス「なごみの広場」（附属図書館の先）で掲示により発表します。（掲示期間8月28日（金）～9月4日（金））また、同日13時頃より、本学ホームページ（新着入試情報）にも掲載します。なお、電話での照会には一切応じません。

- ・実施日時：9月1日（火）～9月3日（木）のうち専攻の指定する日時
- ・実施場所：専攻の指定する場所（受験票発送時に集合場所・日時一覧を同封します。）

8. 合格者発表

9月14日（月）12時頃、大岡山キャンパス「なごみの広場」（附属図書館の先）に掲示します。なお、受験者の便宜を図るため13時頃より、ホームページにも掲載します。また、同日付で合格者全員に合格通知書を郵送します。

試験当日に、学外（大岡山駅周辺、大学正門前）で行っている合否電報等の勧誘は、大学とは一切関係ないので十分注意してください。これらのことから生じるトラブル等に対して、本学は一切責任を負いません。

9. 入学手続

9月14日（月）に合格通知書とともに入学手続書類をレターパックで発送します。入学手続は、平成27年9月28日（月）及び29日（火）に行う予定です。

入学手続きにおいて、入学料282,000円（予定）を納入してください。ただし、入学料又は授業料の改定が行われた場合には、改定時から新たな納付金額が適用されます。

10. 注意事項

- ・出願書類は一切返却しません。入学時に、再度成績証明書及び卒業証明書を提出いただく必要があるので、ご注意ください。
- ・願書受理後の出願書類の内容変更は、いかなる場合も認めません。入学志願票の内容と電算処理票等他の書類の内容が異なる場合は、入学志願票に基づいて処理します。
- ・出願書類等について、虚偽の申請、不正等の事実が判明した場合は、入学許可を取り消すことがあります。
- ・出願書類に記載の情報は、入試及び学務関連業務のみに使用します。
- ・一度納入した入学検定料は、願書受理後はいかなる理由があっても返還しません。なお、出願資格審査を受ける方は、出願資格審査の結果が判明してから振り込んでください。
- ・『A日程』（口述試験）及び『B日程』（筆答試験及び口頭試問）の際には、必ず受験票を携帯してください。
- ・志願者に対する宿泊施設の紹介、斡旋は行いません。
- ・入学試験に関する照会は、入試課大学院入試グループ宛に行ってください。
- ・最新情報はホームページで公表します。

[受験情報及び試験に関する照会先]

〒152-8550

東京都目黒区大岡山2-12-1-W8-103

東京工業大学学務部入試課大学院入試グループ

電 話 03-5734-3990

（平日9:00～17:15〔12:15～13:15は除く〕）

e-mail nyushi.daigakuin@jim.titech.ac.jp

ホームページ <http://www.titech.ac.jp/>

新着入試情報 http://www.titech.ac.jp/graduate_school/news/index.html

I 出願書類等記入要領

入学志願票、電算処理票、写真票、受験票、志望理由書、整理票、第3志望専攻届、出願書類送付用封筒の該当箇所の記入にあたっては、以下の注意事項に従い、黒又は青のボールペンを使用して本人が楷書で明瞭に記入してください。軽微な修正の場合は二重線で消して見やすく書き直してください。

願書受理後の出願書類の内容変更は認めません。入学志願票の内容と電算処理票等他の書類の内容が異なる場合は、入学志願票に基づいて処理します。

入学志願票、志望理由書及び整理票において出身学校を記入する欄には、「大学」等の文字が印刷されていますので、出身学校が大学以外の場合は、印刷されている文字を二重線で修正して上書きしてください。

【入学志願票】(全員提出)

1. 氏名、性別、住所等
 - ・記入漏れがないよう正確に記入してください。
2. 国籍等及び留学生区分
 - ・外国人留学生のみ（在留資格が留学の者）記入してください。外国人留学生は日本政府国費奨学金受給者は「国費」、外国政府奨学金受給者は「政府」、その他の外国人留学生は「私費」のいずれかに○をしてください。
 - ・外国政府奨学金受給者は、出願する際に在日大使館に確認してください。
3. 出願資格
 - ・志願者の該当する番号（募集要項2ページ参照）を○で囲んでください。
4. 志望専攻
 - ・1つの専攻を志望する場合（単願）
志望する専攻名を、「第1志望専攻」欄のみに記入してください。
 - ・2つ又は3つの専攻を志望する場合（併願）
各専攻ページの【併願】欄を参照し、志望する専攻名を「第1志望専攻」及び「第2志望専攻」の欄に記入してください。なお、併願できるのは、各専攻ページの【併願】欄で指定された組み合わせの専攻のみです。
3つの専攻を志望する場合は、「第3志望専攻届」を必ず提出してください。
5. 志望する指導教員氏名
 - ・専攻により指導教員記入にあたっての諸注意がありますので、専攻ページを熟読のうえ、記入してください。
6. 外国語科目
 - ・出願時に外部テストのスコアシートを提出する場合は必ず記入してください。出願時に提出しない場合は、記入しないでください。
 - ・日本語の受験が必要な専攻を志望した外国人留学生は、必ず「日本語」と記入してください。
7. 専門科目
 - ・各専攻ページに専門科目記入にあたっての諸注意が書かれています。専攻ページを熟読のうえ、専門科目を必ず記入してください。専門科目名は必ずしも専攻名と同じとは限りませんので注意してください。
 - ・専攻によっては、他専攻の出題する専門科目での受験を認めている場合があります。専攻ページの指示に従って、選択した専門科目名を記入してください。その場合、試験日時・試験室に注意してください。
 - ・数学専攻、基礎物理学専攻、物性物理学専攻を志望する場合は、専門科目として2科目の記入が必要となります。
8. 志願者の履歴
 - ・高等学校入学から、現在に至るまでを記入してください。

【電算処理票】(全員提出)

1. 各コードについては11～12ページを参照してください。
2. 出願資格コードは該当する(1)～(10)(11ページ参照)のいずれかの番号を記入してください。
出願資格(2)の志願者は、出身大学コードを「6」と記入し、卒業(見込)年は学位の授与(見込)年を記入してください。出願資格(8)の志願者は、出身大学コードを「6」と記入し、卒業(見込)年は空白にしてください。
3. 留学生コードは外国人留学生のみ記入してください。
4. 数学専攻、基礎物理学専攻、物性物理学専攻を志望する場合は、専門科目コードを2つ記入する必要があります。
記入漏れのないように注意してください。
5. 出願時に外部テストのスコアシートを提出する場合は必ず記入してください。出願時に提出しない場合は、記入しないでください。

6. 各コード等の記入漏れ、誤記入がないか、入学志願票の記載内容と一致しているか、もう一度必ず確認してください。
7. 全国の金融機関・ゆうちょ銀行又は郵便局の受付窓口で、払込取扱票（別添）を用いて検定料を払込んだ際に受け取った「振替払込受付証明書（お客さま用）」を「振替払込受付証明書（お客様用）貼り付け欄」に貼付してください。検定料の振り込みは願書受付期間前（随時）行うことができます。

【写真票, 受験票】(全員提出)

- 1 写真欄内に記入されている注意事項に従って、写真を撮影、貼付してください。
- 2 志望専攻名、外国語科目及び専門科目等すべてが、入学志願票の記載内容と必ず一致するように注意して記入してください。

【志望理由書】(全員提出)

志望専攻毎に作成してください。専攻によってはテーマ等を設けているので、各専攻ページを必ず確認してください。なお、テーマ等を設けていない場合でも、志望理由書の提出は必要です。本様式に準じていれば、ワープロで作成した物を提出しても差し支えありません。

【整理票】(全員提出)

- 1 整理票上部の第1, 第2, 第3志望専攻記入欄に必ず志望専攻を記入してください。
- 2 記入例に従い太枠の中を記入してください。その際、入学志願票の記載内容と必ず一致するように注意してください。なお、外部テスト欄は、出願時に外部テストのスコアシートを提出する場合のみ記入してください。
- 3 外国人留学生は、日本政府国費奨学金受給者は「国」、外国政府奨学金受給者は「政」、その他の外国人留学生は「私」のいずれかに○を付してください。
- 4 整理票下部の宛名用ラベルは「合格通知書」、「入学手続き書類」等の書類を送付する際に必要ですので3枚とも必ず記入してください。

【第3志望専攻届】(該当者のみ提出)

第3志望まで併願を希望する者は、必ず提出してください。

【出願書類送付用封筒】(別添の角形2号のもの)

- 1 封筒下部の各欄に必要な事項を必ず記入してください。
- 2 封筒裏面の指示に従って出願書類を整理した上で封筒に入れ、「速達書留」で郵送してください。窓口で提出する場合も必ず厳封してください。

○出願資格コード表

1	大学卒業，卒業見込み
2	大学評価・学位授与機構による学位授与，学位授与見込み
3	外国の大学修了，修了見込み
4	外国の大学を通信教育で修了，修了見込み
5	文部科学大臣の指定した教育施設からの出願
6	専修学校専門課程修了，修了見込み
7	文部科学大臣の指定した者
8	3年次からの飛び入学等
9	本学大学院において大学を卒業した者と同等と認めた者
10	大学卒業までに16年を要しない国からの出願

（詳しくは2ページを参照すること）

○出身大学コード表

1	本学
2	他の国立大学
3	公立大学
4	私立大学
5	外国の大学(出願資格3, 4, 5, 10の者)
6	その他(出願資格2, 6, 7, 8, 9の者)

○留学生コード表

95	外国人留学生（日本政府国費奨学金受給者）
96	外国人留学生（外国政府奨学金受給者）
99	外国人留学生（その他）

○専攻コード表

11	数学専攻
16	基礎物理学専攻
17	物性物理学専攻
13	化学専攻
18	地球惑星科学専攻
19	物質科学専攻
24	材料工学専攻
25	有機・高分子物質専攻
34	応用化学専攻
35	化学工学専攻
46	機械・制御情報系 (機械物理工学専攻・機械制御システム専攻・機械宇宙システム専攻・情報環境学専攻(機械系)の総称)
54	電気電子工学専攻・電子物理工学専攻
56	通信情報工学専攻
61	土木工学専攻
62	建築学専攻
70	国際開発工学専攻
71	原子核工学専攻
78	分子生命科学専攻
81	生体システム専攻
72	生命情報専攻
82	生物プロセス専攻
79	生体分子機能工学専攻
97	物質科学創造専攻
95	物質電子化学専攻
96	材料物理科学専攻
98	環境理工学創造専攻
92	人間環境システム専攻
93	創造エネルギー専攻
87	化学環境学専攻
88	物理電子・物理情報 〔・物理電子システム創造専攻 ・物理情報システム専攻〕
83	メカノマイクロ工学専攻
94	知能システム科学専攻
75	数理・計算科学専攻
76	計算工学専攻
77	情報環境学専攻 (社会・環境系)
65	人間行動システム専攻
66	価値システム専攻
67	経営工学専攻
68	社会工学専攻
57	技術経営専攻

○専門科目コード表

専門科目①		
コード	専門科目名称	出題専攻
01	数学試験Ⅰ	数学専攻
03	物理学（午前）	基礎物理学専攻・ 物性物理学専攻
05	化学	化学専攻
06	地球惑星科学	地球惑星科学専攻
07	物質科学	物質科学専攻
12	材料工学A（金属材料系）	材料工学専攻
13	材料工学B（無機材料系）	材料工学専攻
14	有機・高分子物質	有機・高分子物質専攻
15	応用化学	応用化学専攻
16	化学工学	化学工学専攻
17	機械・制御情報系	機械・制御情報系 (機械物理学専攻・機械制 御システム専攻・機械宇宙 システム専攻・情報環境学 専攻(機械系))
20	電気電子工学・電子物理工学	電気電子工学専攻・ 電子物理工学専攻
21	情報工学	通信情報工学専攻・ 計算工学専攻
22	土木工学	土木工学専攻
23	建築学（共通・建築学コース）	建築学専攻
24	建築学（共通・建築デザインコース）	建築学専攻
25	国際開発工学	国際開発工学専攻
26	原子核工学	原子核工学専攻
27	分子生命科学	分子生命科学専攻
28	生体システム	生体システム専攻
29	生命情報	生命情報専攻
30	生物プロセス	生物プロセス専攻
31	生体分子機能工学	生体分子機能工学専攻
32	物質科学創造（金属材料系）	物質科学創造専攻
33	物質科学創造（無機材料系）	物質科学創造専攻
34	物質科学創造（化学系）	物質科学創造専攻
60	物質科学創造（物理系）	物質科学創造専攻
35	物質電子化学	物質電子化学専攻
36	材料物理科学（物理系）	材料物理科学専攻
37	材料物理科学（金属材料系）	材料物理科学専攻
38	材料物理科学（無機材料系）	材料物理科学専攻
39	材料物理科学（化学系）	材料物理科学専攻
40	環境理工学A	環境理工学創造専攻
48	環境理工学B	環境理工学創造専攻
41	人間環境システム	人間環境システム専攻
42	創造エネルギー	創造エネルギー専攻
43	化学環境学	化学環境学専攻
44	物理電子・物理情報	物理電子システム創造専攻・ 物理情報システム専攻
45	メカノマイクロ工学	メカノマイクロ工学専攻
46	知能システム科学	知能システム科学専攻
47	数理・計算科学	数理・計算科学専攻
49	情報環境学（社会・環境系）	情報環境学専攻 (社会・環境系)
50	人間行動システム	人間行動システム専攻
51	価値システム	価値システム専攻
52	経営工学（Aコース）	経営工学専攻
53	経営工学（Bコース）	経営工学専攻
55	社会工学	社会工学専攻
65	技術経営	技術経営専攻

専門科目②		
コード	専門科目名称	出題専攻
02	数学試験Ⅱ	数学専攻
04	物理学（午後）	基礎物理学専攻・ 物性物理学専攻

Ⅱ 専攻案内・試験実施内容・

指導教員及びその研究分野一覧

全専攻共通事項

【取得できる学位】:各専攻に記載のほか、学際領域等の分野を専攻した者で、当該研究科が適当と認めるときは、学位に付記する専攻分野の名称を学術とすることができる。ただし、技術経営専攻を除きます。

理 工 学 研 究 科

数学専攻

専攻の概要についてはこちらをご覧ください。 http://www.math.titech.ac.jp/page_02.html

【取得できる学位】

修士（理学）

【併願】

本専攻を第1志望としたときに他の専攻と併願して出願することはできません。

【志望理由書のテーマ等】

下記のアンケートに答えること。なお、設問も含めて用紙に記入してください。

用紙を <http://www.math.titech.ac.jp/~jimu/Graduate/enquet.pdf> からダウンロードして提出してもよい。

1. 卒業（見込み）年度：
2. 学部4年次のセミナーの指導教員名：
3. セミナーのテキスト名：
4. セミナーの参加学生数：
5. あなたが発表する頻度と時間：（ ）週に一回，（ ）時間
6. あなたが発表しているとき，質問されて答えられなかったらどのようにしますか？
7. 1回の発表のために勉強する時間はトータルで何時間ですか？
8. これまで読んだ数学書の中で興味を持ったものの題名とその理由を挙げてください。
9. これまでの数学の勉強で心に残った理論やその定理とその理由を書いてください。
10. 将来の希望を書いてください。

【出願にあたっての注意】

志願票の志望教員欄には志望教員ではなく志望分野を記入しても構いません。

【試験実施日程等】

試験区分			試験日	試験内容等	備考
A日程	口述試験		実施しません。		
B日程	筆答試験	外国語科目	英語	8月19日（水） 15:30～16:30 筆答試験を実施します（科学論文，記事等の読解，作文等）。下記の基準を満たす英語外部テストのスコアシートを提出したものについては英語試験を免除し，英語試験は合格として取り扱います。 TOEIC 550点以上 TOEFL-PBT 490点以上 TOEFL-iBT 57点以上	辞書持ち込み可 （電子辞書は不可）
			日本語	実施しません。	
	専門科目	数学試験Ⅰ		8月19日（水） 9:00～11:30	専門科目は数学試験Ⅰ，数学試験Ⅱの両方を受験してください。
		数学試験Ⅱ		8月19日（水） 13:00～15:00	
	口頭試問		8月20日（木）		口頭試問Ⅰにより実施

【外部テストのスコアシートの取扱い】

スコアシートは原本を出願時に提出してください。出願受付締切後の提出は一切認めません。一度提出したスコアシートの差し替えは一切認めません。また，スコアシートは返却しません。

【専門科目】

専門科目名：数学試験Ⅰ，数学試験Ⅱ

専門科目は数学試験Ⅰ，数学試験Ⅱの両方を受験してください。

【口頭試問受験資格者の発表】

口頭試問受験資格者発表は，8月19日（水）18時頃，本学（大岡山キャンパス内）数学事務室（本館3F32号室）前の掲示板に掲示します。

【過去の筆答試験問題の公表】

ホームページで公表 http://www.math.titech.ac.jp/page_02.html

【記載内容に関する問い合わせ先】

〒152-8550 東京都目黒区大岡山2-12-1

数学事務室（大岡山キャンパス本館3F32号室）（TEL 03-5734-2205）

指導教員及びその研究分野一覧

数学専攻

本専攻で指導教員となれる教員一覧

指 導 教 員		研 究 分 野	備 考
教 授	芥川 和雄	微分幾何, 幾何解析・大域解析	
教 授	遠藤 久顕	位相幾何学	
教 授	加藤 文元	代数幾何, 数論幾何	
教 授	志賀 啓成	複素解析	
教 授	利根川 吉廣	偏微分方程式, 幾何学的測度論	
教 授	内藤 聡	表現論	
教 授	本多 宣博	複素幾何, 微分幾何	
教 授	柳田 英二	偏微分方程式	
教 授	山田 光太郎	微分幾何学	
准教授	磯部 健志	幾何解析と変分問題	
准教授	カールマン タマシユ	位相幾何学	
准教授	川平 友規	複素力学系, 複素解析	
准教授	栗田 和正	確率論, 確率解析	
准教授	鈴木 正俊	解析的整数論	
准教授	服部 俊昭	幾何学	
准教授	馬 昭平	代数幾何	
准教授	水本 信一郎	保型関数論	
准教授	米田 剛	偏微分方程式, 数理流体力学	
教 授	○斉藤 秀司	数論幾何学, 代数幾何学	理学研究流動機構
教 授	○梅原 雅顕	微分幾何学	数理・計算科学専攻
教 授	○小島 定吉	トポロジー, 幾何学, 実験数学	数理・計算科学専攻
教 授	○西畑 伸也	偏微分方程式論, 非線形双曲型保存則, 流体の方程式	数理・計算科学専攻
准教授	○寺嶋 郁二	微分位相幾何学, 数理物理, 数論的位相幾何学	数理・計算科学専攻
准教授	○三浦 英之	偏微分方程式論	数理・計算科学専攻

1. ○印を付してある指導教員は, 備考欄の専攻等を本務とする併任教員ですが, 他の教員と同様に志望できます。

本専攻では指導教員となれない教員一覧 (他専攻が本務の併任教員, 定年・海外出張など)

指 導 教 員		研 究 分 野	備 考
教 授	※黒川 信重	解析的整数論	平成29年3月定年
准教授	※村山 光孝	位相幾何学	平成29年3月定年

1. ※印を付してある指導教員は, 定年, 海外出張等のため今回は志望できません。

基礎物理学専攻

専攻の概要についてはこちらをご覧ください。 <http://www.phys.titech.ac.jp/>

【取得できる学位】

修士（理学）

【併願】

本専攻を第1志望としたときに併願できる専攻の組み合わせについては下記のとおりです。

（第1志望：基礎物理学，第2志望：物性物理学）

【志望理由書のテーマ等】

志望研究室・研究分野に対する志望理由を，1，000字程度（A4判2枚）にまとめた作文（自分の特技等アピールできるものがあればそれも含む）。

【出願にあたっての注意】

入学志願票に記載された志望専攻および志望する指導教員の順位に従って判定を行います。

【試験実施日程等】

試験区分			試験日	試験内容等	備考
A日程	口述試験		実施しません。		
B日程	筆答試験	外国語科目	英語	筆答試験を実施しません。	本学の指定する英語外部テストのスコアシートを利用します。スコアシートは筆答試験当日に持参のこと。筆答試験時に提出がない場合は不合格となります。
			日本語	実施しません。	詳細は【外部テストのスコアシートの取扱い】参照
	専門科目	物理学（午前）		8月18日（火） 10:00～12:00	物理数学，力学，電磁気学，量子力学，熱・統計力学，物理実験 物性物理学専攻と共通
		物理学（午後）		8月18日（火） 13:30～15:30	
	口頭試問		8月25日（火）＊		口頭試問Ⅰにより実施 詳細は受験票の発送時に通知します（口頭試問は，9時頃から19時頃までかかる可能性があります）。

＊口頭試問の試験日は，物性物理学専攻の口頭試問試験日とは異なっていますので注意してください。

【外部テストのスコアシートの取扱い】

スコアシートは出願時に提出しないで下さい。提出は以下の通りとします。

①提出方法について

スコアシートは必ず原本を提出してください。コピーの提出は認めません。

②提出時期について

スコアシートは出願時に提出せず，筆答試験当日に持参してください。筆答試験時に提出がない場合は不合格となります。

③その他

一度提出したスコアシートの差し替えは一切認めません。

【専門科目】

専門科目名：物理学（午前），物理学（午後）

専門科目は物理学（午前），物理学（午後）の両方を受験してください。

【口頭試問受験資格者の発表】

口頭試問受験資格者発表は，8月21日（金）16時頃大岡山キャンパス本館1階物理学科掲示板で掲示により発表します。

また，同日専攻ホームページ <http://www.phys.titech.ac.jp/>（News & Information）にも掲載します。

【過去の筆答試験問題の公表】

ホームページで公表 <http://www.phys.titech.ac.jp/>

【記載内容に関する問い合わせ先】

〒152-8551 東京都目黒区大岡山2-12-1 H-38

東京工業大学 基礎物理学専攻事務室

TEL 03-5734-2364

指導教員及びその研究分野一覧

基礎物理学専攻

本専攻で指導教員となる教員一覧

指 導 教 員		研 究 分 野	備 考
教 授	岡 眞	原子核・ハドロン物理理論（強い相互作用，エキゾチックハドロン，ストレンジネス核物理）	
教 授	伊藤 克司	素粒子論（超弦理論，超対称ゲージ理論，共形場理論）	
准教授	今村 洋介	素粒子論（弦理論と超対称ゲージ理論およびそれらの間の双対性）	
教 授	山口 昌英	宇宙論（素粒子的宇宙論，インフレーション宇宙，物質の起源，宇宙の相転移，重力理論）	
教 授	柴田 利明	素粒子物理学の実験（陽子の中の反クォーク，陽子とクォークとグルーオンのスピン，陽子のスピンの謎の解明，量子色力学（QCD）の実験）	
准教授	久世 正弘	高エネルギー物理学（加速器および非加速器素粒子実験；粒子の内部構造，レプトンとクォークの物理，ニュートリノ振動）	
教 授	河合 誠之	宇宙物理学実験，X線・ γ 線・光学天文学（ γ 線バースト，ブラックホール等の衛星と地上からの観測，天体観測装置の開発）	
教 授	中村 隆司	原子核物理実験（不安定核ビームを用いた中性子過剰なエキゾチック核構造の研究，および天体核反応の研究）	
准教授	陣内 修	高エネルギー素粒子物理実験（CERN LHC-ATLAS 実験を用いたヒッグス粒子と超対称性粒子の研究）	
連携教授	堂谷 忠靖	X線天文学（X線衛星を用いた，中性子星や白色矮星，ブラックホールの観測的研究，衛星搭載用X線 CCD カメラの開発研究）	宇宙航空研究開発機構
連携教授	松原 英雄	赤外線天文学（星間物質，観測的宇宙論，銀河進化，衛星搭載用赤外線天体観測装置開発）	宇宙航空研究開発機構
准教授	宗宮健太郎	重力波望遠鏡KAGRAの設計と次世代型光干渉計の要素技術開発	
連携准教授	肥山詠美子	原子核理論（厳密量子力学的3体・4体計算法を用いた原子核，ハイペロンを含む原子核の構造の研究）	理化学研究所

物性物理学専攻

専攻の概要についてはこちらをご覧ください。 <http://www.phys.titech.ac.jp/>

【取得できる学位】

修士（理学）

【併願】

本専攻を第1志望としたときに併願できる専攻の組み合わせについては下記のとおりです。

（第1志望：物性物理学，第2志望：基礎物理学）

【志望理由書のテーマ等】

志望研究室・研究分野に対する志望理由を、1,000字程度（A4判2枚）にまとめた作文（自分の特技等アピールできるものがあればそれも含む）。

【出願にあたっての注意】

入学志願票に記載された志望専攻および志望する指導教員の順位に従って判定を行います。

【試験実施日程等】

試 験 区 分			試験日	試験内容等	備考	
A日程	口 述 試 験			実施しません。		
B日程	筆答試験	外国語科目	英 語	筆答試験を実施しません。	本学の指定する英語外部テストのスコアシートを利用します。 スコアシートは筆答試験当日に持参のこと。筆答試験時に提出がない場合は不合格となります。	詳細は【外部テストのスコアシートの取扱い】参照
			日 本 語	実施しません。		
		専門科目	物理学（午前）	8月18日（火） 10:00～12:00	物理数学，力学，電磁気学，量子力学，熱・統計力学，物理実験	基礎物理学専攻と共通
			物理学（午後）	8月18日（火） 13:30～15:30		
	口 頭 試 問			8月24日（月）＊		口頭試問Ⅰにより実施 詳細は受験票の発送時に通知します（口頭試問は、9時頃から19時頃までかかる可能性があります）。

＊口頭試問の試験日は、基礎物理学専攻の口頭試問試験日とは異なっていますので注意してください。

【外部テストのスコアシートの取扱い】

スコアシートは出願時に提出しないで下さい。提出は以下の通りとします。

①提出方法について

スコアシートは必ず原本を提出してください。コピーの提出は認めません。

②提出時期について

スコアシートは出願時に提出せず、筆答試験当日に持参してください。筆答試験時に提出がない場合は不合格となります。

③その他

一度提出したスコアシートの差し替えは一切認めません。

【専門科目】

専門科目名：物理学（午前），物理学（午後）

専門科目は物理学（午前），物理学（午後）の両方を受験してください。

【口頭試問受験資格者の発表】

口頭試問受験資格者発表は、8月21日（金）16時頃大岡山キャンパス本館1階物理学科掲示板で掲示により発表します。

また、同日専攻ホームページ <http://www.phys.titech.ac.jp/>（News & Information）にも掲載します。

【過去の筆答試験問題の公表】

ホームページで公表 <http://www.phys.titech.ac.jp/>

【記載内容に関する問い合わせ先】

〒152-8551 東京都目黒区大岡山2-12-1 H-53

東京工業大学 物性物理学専攻事務室

TEL 03-5734-2147

指導教員及びその研究分野一覧

物性物理学専攻

本専攻で指導教員となる教員一覧

指導教員		研究分野	備考
准教授	相川 清隆	物性実験（原子・分子物理学，量子光学，レーザー冷却）	
教授	井澤 公一	物性実験（異方的超伝導（超伝導対称性，準粒子励起構造，渦糸状態）量子限界点近傍の電子状態，低次元スピン系の熱輸送）	
教授	大熊 哲	物性実験（低温物理，超伝導と電子局在，磁束状態，非平衡現象，低次元電子系，メゾスコピック系における量子物理現象の研究）	
准教授	金森 英人	物性実験（分子分光，分子の空間捕捉と冷却，レーザーやマイクロ波を用いた量子コヒーレンス分光，励起状態分子のダイナミクス）	創造エネルギー専攻兼任
教授	上妻 幹旺	物性実験（レーザー冷却，中性原子気体のボース凝縮・フェルミ縮退，光格子中の冷却原子を使った量子シミュレーション）	
准教授	古賀 昌久	物性理論（強相関係／光格子冷却原子系，強相関電子系，低次元量子スピン系）	
教授	斎藤 晋	物性理論（固体の電子構造，密度汎関数法と励起状態，クラスター，フラーレン，ナノチューブ，グラフェン）	
准教授	笹本 智弘	物性理論（統計物理学および数値物理学，特に非平衡統計力学，低次元輸送現象，ランダム系，厳密解等の解析的手法の開発）	
准教授	竹内 一将	物性実験（非平衡系の臨界現象と動力学，液晶乱流）	
教授	田中 秀数	物性実験（磁気相転移，量子磁気現象，低次元磁性，磁気励起，磁気共鳴，新物質開拓）	
准教授	西田 祐介	理論物理（主に冷却原子における量子多体系や少数系の物理，場の理論的手法の応用）	
教授	西森 秀稔	物性理論（統計力学および量子力学の応用，特にスピングラス，相転移と臨界現象，量子アニーリングによる量子情報処理）	
准教授	平原 徹	物性実験（表面物理，ナノサイエンス，スピン物性，ディラック電子の物理，新奇な極薄物質の開拓）	
教授	藤澤 利正	物性実験（半導体ナノサイエンス，電子・スピンのダイナミクス，メゾスコピック系の量子相関現象・量子情報素子）	
准教授	松下 道雄	物性実験（単一分子分光によるタンパク質の構造・機能相関の研究，発光を用いた単一スピンの観測と制御）	
教授	村上 修一	物性理論（スピントロニクス，スピン輸送，トポロジカル相，幾何学的位相，量子物性）	
教授	吉野 淳二	物性実験（半導体量子物性，半導体スピン物性，スピンエレクトロニクスの基礎，物質形成における表面ダイナミクス）	
連携教授	橋詰 富博	物性実験（走査トンネル顕微鏡（STM）や走査プローブ顕微鏡（SPM）を用いたナノスケールデバイスの界面評価，生体材料計測，ナノスケール量子計測）	連携（日立中央研究所）
連携教授	納富 雅也	物性実験（フォトリソナノ構造（フォトリソ結晶，プラズモニクス，メタマテリアル）における光物質相互作用制御の研究）	連携（NTT物性科学基礎研究所）
教授	○平山 博之	物性実験（固体表面・界面に局在する2次元電子系，表面ナノ構造への量子閉じ込め）	材料物理学専攻
教授	○宗片比呂夫	物性実験（光スピントロニクス，結晶成長，デバイス作製，磁性，光物性）	像情報工学研究所

1. ○印を付してある指導教員は，備考欄の専攻等を本務とする併任教員ですが，他の教員と同様に志望できます。

本専攻では指導教員となれない教員一覧（他専攻が本務の併任教員，定年・海外出張など）

指導教員		研究分野	備考
准教授	※江間 健司	物性実験（ソフトマター，主に液晶，生体膜など，精密熱測定，誘電測定，構造観察，相転移と臨界現象）	平成29年3月定年

1. ※印を付してある指導教員は，定年，海外出張等のため今回は志望できません。

化学専攻

専攻の概要についてはこちらをご覧ください。 <http://www.chemistry.titech.ac.jp/>

【取得できる学位】

修士（理学）

【併願】

本専攻を第1志望としたときに併願できる専攻の組み合わせについては下記の通りです。

（第1志望：化学、第2志望：物質科学）

【志望理由書のテーマ等】

志望研究室・研究分野など本専攻に対する志望理由を1,000字程度にまとめたもの

【出願にあたっての注意】

本専攻志願者は、必ず志望する指導教員に相談してから出願すること。

【試験実施日程等】

試験区分				試験日	試験内容等	備考
A日程	口述試験			7月29日（水） ～8月5日（水）	化学の知識および学士論文研究などを問います。	面接試験および成績証明書、志望理由書などを総合的に評価します。 試験実施日は、受験票発送時に通知します。
	B日程	筆答試験	外国語科目 英語	筆答試験を実施しません。	本学の指定する英語外部テストのスコアシートを利用します。 配点：200点	詳細は【外部テストのスコアシートの取扱い】参照
			日本語	実施しません。		
		専門科目	化学	8月19日（水） 基礎：9:30～11:30 専門：13:30～15:30	基礎：基本的問題を全問解答 配点：300点 専門：専門的問題の中から選択解答 配点：300点	筆答試験、口頭試問および成績証明書、志望理由書などを総合的に評価します。
			口頭試問	9月1日（火） ～9月3日（木）	化学の知識および学士論文研究などを問います。	

【外部テストのスコアシートの取扱い】

スコアシートは原本を必ず出願時に提出してください。出願受付締切後の提出は一切認めません。

【専門科目】

専門科目名：化学

【口頭試問受験資格者の発表】

8月28日（金）12時頃大岡山キャンパス「なごみの広場」（附属図書館の先）で掲示により発表します。また、同日13時頃より、本学ホームページ（新着入試情報）にも掲載します。

【過去の筆答試験問題の公表】

ホームページで公表 <http://www.chemistry.titech.ac.jp/exam.html>

【記載内容に関する問い合わせ先】

〒152-8551 東京都目黒区大岡山2-12-1 H-58

東京工業大学 理工学研究科 化学専攻事務室

MAIL office@chem.titech.ac.jp

指導教員及びその研究分野一覧

化学専攻

本専攻で指導教員となる教員一覧

指 導 教 員		研 究 分 野	備 考
教 授	石谷 治	光反応化学, 錯体化学 (光触媒, 人工光合成, 光機能分子)	
准教授	前田 和彦	光エネルギー変換化学 (半導体光触媒, 人工光合成, ナノ材料, 無機固体化学, 光電気化学)	
教 授	川口 博之	無機合成化学 (錯体化学, 有機金属化学, 金属クラスター)	
教 授	木口 学	物理化学 (単分子化学, 表面化学, 分子エレクトロニクス)	
教 授	大島 康裕	物理化学 (フェムト秒化学, 強レーザー場化学, 分子分光学, 分子運動のコヒーレント制御)	
准教授	河合 明雄	物理化学 (反応のレーザー観測, イオン液体, 光化学, スピン化学)	
教 授	河内 宣之	物理化学 (多電子過程, 非断熱過程および量子もつれ原子ペアの崩壊ダイナミックス, 高エネルギー光子・分子衝突, 電子・分子衝突)	
准教授	北島 昌史	物理化学 (真空紫外, 軟X線, および低エネルギー電子による原子・分子科学, 気相反応素過程)	
教 授	鈴木 啓介	有機合成化学 (精密合成反応の開発, 天然有機化合物の全合成)	
准教授	大森 建	有機合成化学 (天然物の全合成, 新規合成手法の開発)	
教 授	岩澤 伸治	有機合成化学 (有機金属化学, 有機合成反応, 機能性分子の合成)	
准教授	鷹谷 絢	有機金属化学, 有機合成化学, 錯体化学	
教 授	後藤 敬	有機化学 (機能性ナノサイズ分子の開発, 有機元素化学, 超分子化学)	
教 授	岡田 哲男	分析化学 (分離, 溶液・界面化学)	
准教授	火原 彰秀	分析化学 (分光分析, Lab on Chip, 界面化学)	
准教授	伊原 学	エネルギー変換化学, 電気化学 (燃料電池, 太陽電池)	
准教授	工藤 史貴	天然物有機化学, 生物有機化学, 生合成化学, 酵素化学, 放射菌などの微生物化学	
教 授	野上 健治	地球化学 (火山化学, 火山噴火予知)	
講 師	寺田 暁彦	火山熱学 (火山浅部熱水系, 噴煙, 火口湖, リモートセンシング)	

本専攻で指導教員となる教員一覧 (ただし, 第1志望教員にはなれません。)

指 導 教 員		研 究 分 野	備 考
教 授	☆江口 正	天然物有機化学, 生物有機化学, 生化学 (天然生理活性物質の探索と構造, 合成と生合成および作用機作, 酵素反応機構の精密解析)	物質科学専攻
教 授	☆小松 隆之	触媒化学 (金属間化合物および多孔性物質の触媒作用)	物質科学専攻
教 授	☆八島 正知	エネルギー変換/貯蔵材料 (燃料電池, 光触媒), 電子材料, 環境触媒, 生体材料等の中性子/X線結晶構造解析, 新物質探索と構造物性	物質科学専攻
教 授	☆豊田 真司	構造有機化学, 物理有機化学, 有機立体化学 (パイ共役系化合物の合成と構造・機能制御)	物質科学専攻
准教授	☆植草 秀裕	有機結晶化学 (結晶構造に基づく機能性有機結晶の設計と機能や反応の解析)	物質科学専攻
教 授	☆腰原 伸也	光物性化学 (有機無機半導体光物性, 相転移ダイナミックス)	物質科学専攻
准教授	☆沖本 洋一	光物性化学 (強相関物質の光学的性質)	物質科学専攻

1. ☆印を付してある指導教員を第1志望とするものは, 備考欄に記載されている専攻で出願してください。
2. ☆印を付してある指導教員を, 第2, 第3志望に含めることはできます。

地球惑星科学専攻

専攻の詳細についてはこちらをご覧ください。 <http://www.geo.titech.ac.jp/>

【取得できる学位】

修士（理学）

【併願】

本専攻を第1志望としたときに他の専攻と併願して出願することはできません。

【志望理由書のテーマ等】

志望研究室・研究分野など本専攻に対する志望理由を1,000字程度にまとめたもの

【出願にあたっての注意】

教育上の配慮から、教員あたりの合格者数が制限される場合があります。また、可否および指導教員の決定にあたっては、筆答試験と口頭試問により総合的に判断します。

【試験実施日程等】

試 験 区 分				試験日	試験内容等	備考
A日程	口 述 試 験			実施しません。		
B日程	筆答試験	外国語科目	英 語	筆答試験を実施しません。	本学の指定する英語外部テストのスコアシートを利用します。	詳細は【外部テストのスコアシート of の取扱い】参照
			日 本 語	実施しません。		
		専門科目	地球惑星科学	8月19日（水） 9:30～12:00 13:30～16:00	地球惑星科学専門 〔数学（微積分学，線形代数学，物理学（解析力学，電磁気学，量子力学，熱統計物理学，流体力学等），化学（物理化学，無機化学，分析化学等），地球科学（地質学，岩石・鉱物学，地球惑星物理学，宇宙地球化学等）から出題，複数選択回答〕	
			口 頭 試 問			8月25日（火） 9:00～

【外部テストのスコアシートの取扱い】

スコアシートは原本を必ず出願時に提出してください。出願受付締切後の提出は一切認めません。

【専門科目】

専門科目名：地球惑星科学

【口頭試問受験資格者の発表】

筆答試験受験者は全員口頭試問を受験してください。8月25日（火）8時45分到大岡山キャンパス石川台2号館318室に集合してください。

【過去の筆答試験問題の公表】

ホームページで公表 <http://www.geo.titech.ac.jp/>

【記載内容に関する問い合わせ先】

東京工業大学地球惑星科学専攻事務室（TEL 03-5734-2333）

指導教員及びその研究分野一覧

地球惑星科学専攻

本専攻で指導教員となれる教員一覧

指 導 教 員		研 究 分 野	備 考
教 授	中本 泰史	惑星系形成論, 理論天文学	
教 授	長井 嗣信	宇宙空間物理学	
教 授	綱川 秀夫	地球惑星電磁気学, 月・惑星探査	
准教授	横山 哲也	地球化学, 宇宙化学	
准教授	上野 雄一郎	生物地球化学, 地球史	
准教授	佐藤 文衛	観測天文学, 系外惑星学	
准教授	野村 英子	惑星系形成理論, 星間物理・化学	
講 師	太田 健二	地球深部科学, 高圧鉱物物理学	
連 携 教 授	岩森 光	地球内部ダイナミクス	連携 (海洋研究開発機構)
連携准教授	北村 良実	電波・赤外線天文学	連携 (宇宙航空研究開発機構)
教 授	○廣瀬 敬	地球惑星深部物質学, 超高压高温実験	地球生命研究所
教 授	○井田 茂	惑星形成論, 生命惑星学	地球生命研究所
教 授	○小川 康雄	地球内部電磁誘導, 火山物理学, 地震学	火山流体研究センター
准教授	○神田 径	火山物理学, 地球内部電磁気学	火山流体研究センター

1. ○印を付してある指導教員は、備考欄の専攻等を本務とする併任教員ですが、他の教員と同様に志望できます。

物質科学専攻

専攻の詳細についてはこちらをご覧ください。 <http://www.cms.titech.ac.jp/>

【取得できる学位】

修士（理学又は工学）

【併願】

本専攻を第1志望としたときに併願できる専攻の組み合わせについては下記の通りです。

（第1志望：物質科学専攻，第2志望：化学専攻）

（第1志望：物質科学専攻，第2志望：材料工学専攻）

（第1志望：物質科学専攻，第2志望：有機・高分子物質専攻）

（第1志望：物質科学専攻，第2志望：応用化学専攻）

【志望理由書のテーマ等】

志望研究室・研究分野など本専攻に対する志望理由を1,000字程度にまとめてください。

【出願にあたっての注意】

- ・受験する試験問題や第2，第3志望の指導教員に関する条件があるため，第1志望の指導教員と必ず予め相談してから出願してください。

【試験実施日程等】

試験区分				試験日	試験内容等	備考
A 日程	口述試験			7月29日（水）～ 8月5日（水）	専門的知識および学士論文研究の内容などについての試問	試験実施日は，受験票発送時に通知します。 英語外部テストのスコアシートを利用します。詳細は【外部テストのスコアシートの取扱い】参照
	B 日程	筆 答 試 験	外国語科目 英 語	筆答試験を実施しません。	本学の指定する英語外部テストのスコアシートを利用します。 配点：200点	詳細は【外部テストのスコアシートの取扱い】参照
			日 本 語	実施しません。		
		専 門 科 目	物 質 科 学	8月19日（水） 基礎：9:30～11:00 専門：13:30～15:00	基礎：基本的問題のうちから選択回答 配点：360点 専門：専門的問題のうちから選択回答 配点：240点	
			口 頭 試 問	9月3日（木）	専門的知識および学士論文研究の内容などについての試問	口頭試問Ⅱにより実施

【外部テストのスコアシートの取扱い】

スコアシートは原本を必ず出願時に提出してください。出願受付締切後の提出は一切認めません。

【専門科目】

専門科目名：物質科学

なお，これに代えて，第一志望の指導教員が兼任する専攻の出題する専門科目（下記のうちいずれか）を受験することができます。教員の兼任先については，次ページの表を参照してください。

化学，応用化学，有機・高分子物質，材料工学A（金属材料系），材料工学B（無機材料系）

【口頭試問受験資格者の発表】

8月28日（金）12時頃大岡山キャンパス「なごみの広場」（附属図書館の先）で掲示により発表します。また，同日13時頃より，本学ホームページ（新着入試情報）にも掲載します。

【過去の筆答試験問題の公表】

専攻事務室（下記）にて配布

【記載内容に関する問い合わせ先】

物質科学専攻事務室 〒152-8550 東京都目黒区大岡山 2-12-1 H-74

MAIL: chief@cms.titech.ac.jp

指導教員及びその研究分野一覧

物質科学専攻

本専攻で指導教員となれる教員一覧

指 導 教 員		研 究 分 野	備 考
教 授	八島 正知	エネルギー変換/貯蔵材料(燃料電池, 光触媒), 電子材料, 環境触媒, 生体材料等の中性子/X線結晶構造解析, 新物質探索と構造物性	併任先: 化学専攻
教 授	小松 隆之	触媒化学 (金属間化合物および多孔性物質の触媒作用)	併任先: 化学専攻
准教授	植草 秀裕	有機結晶化学 (結晶構造に基づく機能性有機結晶の設計と機能や反応の解析)	併任先: 化学専攻
教 授	江口 正	天然物有機化学, 生物有機化学, 生化学 (天然生理活性物質の探索と構造, 合成と生合成および作用機作, 酵素反応機構の精密解析)	併任先: 化学専攻
教 授	豊田 真司	構造有機化学, 物理有機化学, 有機立体化学 (パイ共役系化合物の合成と構造・機能制御)	併任先: 化学専攻
教 授	腰原 伸也	光物性化学 (有機無機半導体光物性, 相転移ダイナミックス)	併任先: 化学専攻
准教授	沖本 洋一	光物性化学 (強相関物質の光学的性質)	併任先: 化学専攻
教 授	山中 一郎	電気化学(電解合成, 燃料電池), 触媒化学 (酸化反応, エネルギー)	併任先: 応用化学専攻
教 授	安藤 慎治	機能性高分子の構造と物性, 高分子固体の分光光学, 有機・無機ナノハイブリッド材料	併任先: 有機・高分子物質専攻
准教授	佐藤 満	高分子/水系の物理化学 (溶液・ゲル・分散系の物性に及ぼす溶媒効果と親・疎水性制御による機能材料開発)	併任先: 有機・高分子物質専攻
教 授	扇澤 敏明	ポリマーハイブリッド材料, 有機高分子材料基礎物性	併任先: 有機・高分子物質専攻
准教授	浅井 茂雄	有機高分子材料の構造と物性	併任先: 有機・高分子物質専攻
教 授	矢野 哲司	ガラスの基礎科学と応用, イオン交換による機能性ガラスの作製, 光機能性ガラスデバイスの開発	併任先: 材料工学専攻 (無機材料系)
教 授	西方 篤	金属電気化学, 腐食科学, 燃料電池材料	併任先: 材料工学専攻 (金属材料系)
准教授	多田 英司	腐食防食工学, 表面工学, 金属材料の環境劣化	併任先: 材料工学専攻 (金属材料系)

1. 備考欄に指導教員の併任先の専攻を記載しています。

材料工学専攻

専攻の詳細についてはこちらをご覧ください。 <http://www.macs.titech.ac.jp/>

【取得できる学位】

修士（工学）

【併願】

本専攻を第1志望としたとき、併願できる専攻は物質科学専攻のみです。

（第1志望：材料工学専攻，第2志望専攻：物質科学専攻）

その際、物質科学専攻の指導教員として選択できる教員は、次ページ“指導教員及びその研究分野一覧”に記載されている◎を付した教員に限ります。

【志望理由書のテーマ等】

志望研究室・研究分野に対する志望理由を、A4用紙に300字以内で記述すること。

【出願にあたっての注意】

・受験する試験問題や併願先に条件があるため、志願者は、出願の前に第1志望の指導教員と予め相談してから出願すること。

【試験実施日程等】

試 験 区 分			試験日	試験内容等	備考	
A日程	口 述 試 験			7月29日（水）～ 8月5日（水）	A：金属材料またはB：無機材料に関する学力および適性などに関する試問	英語外部テストのスコアシートを利用します。詳細は【外部テストのスコアシートの取扱い】参照。 試験実施日は、受験票発送時に通知します。
B日程	筆 答 試 験	外国語科目	英 語	筆答試験を実施しません。	本学の指定する英語外部テストのスコアシートを利用します。	詳細は【外部テストのスコアシートの取扱い】参照
			日 本 語	8月18日（火） 15:30～16:30		留学生のみに適用
		専門科目	材料工学A （金属材料系）	8月19日（水） 9:30～12:00 13:30～16:00	午前：材料工学A，B共通問題 数学・物理・化学分野に関する基礎的問題 午後：材料工学A 金属材料に関する問題 材料工学B 無機材料に関する問題	
			材料工学B （無機材料系）			
		口 頭 試 問			8月20日（木）	基礎知識・専門知識についての試問 （英語能力を問う場合もあり）

【外部テストのスコアシートの取扱い】

スコアシートは原本を必ず出願時に提出してください。出願受付締切後の提出は一切認めません。

また、一度提出したスコアシートの差し替えは一切認めません。

【専門科目】

専門科目名：材料工学A（金属材料系），材料工学B（無機材料系）

専門科目は上記いずれかを出願時に選択し、受験してください。

【口頭試問受験資格者の発表】

筆答試験受験者は全員口頭試問を受験してください。

筆答試験受験者は、8月20日（木），材料工学Aを受験したものは8時45分到大岡山キャンパス南8号館101号室に，材料工学Bを受験したものは9時15分到大岡山キャンパス南7号館110号室にそれぞれ集合してください。

【過去の筆答試験問題の公表】

専攻ホームページトップ <http://www.macs.titech.ac.jp/> ⇒専攻入学案内から請求願います。

【記載内容に関する問い合わせ先】

〒152-8552 東京都目黒区大岡山2-12-1 S7-22

東京工業大学 大学院理工学研究科 材料工学専攻事務室（TEL 03-5734-2466）

指導教員及びその研究分野一覧

材料工学専攻

本専攻で指導教員となる教員一覧

指 導 教 員		研 究 分 野	備 考
教 授	中村 吉男	回折結晶学, 結晶評価, 材料物性	A
教 授	史 蹟	薄膜工学 (物性・構造解析)	A
教 授	藤居 俊之	金属材料の組織評価と力学特性解析	A
教 授	須佐 匡裕	材料物理化学, 材料物性	A
教 授	竹山 雅夫	鉄鋼材料学, 高温材料のプロセスと強度学, 金属間化合物	A
教 授	熊井 真次	軽金属材料, 異種金属接合, 凝固組織制御, 強度・信頼性評価	A
准教授	河村 憲一	固体イオニクス, 高温物理化学	A
准教授	上田 光敏	金属材料の高温酸化, 高温物理化学	A
准教授	林 幸	高温材料物理化学, 高温プロセス工学	A
准教授	村石 信二	構造材料, 機能性薄膜, 結晶工学	A
准教授	小林 郁夫	非鉄金属材料学, 生体材料学, 相安定性	A
講 師	小林 覚	金属組織学, 鉄鋼材料学, 耐熱鋼・合金	A
教 授	鶴見 敬章	誘電体・強誘電体材料, セラミックス人工超格子	B
教 授	坂井 悦郎	建設材料, 複合材料, 資源循環	B
教 授	中島 章	表面機能材料	B
教 授	篠崎 和夫	セラミックプロセッシング, セラミックス薄膜工学	B
准教授	生駒 俊之	生体材料, 表面・界面解析, 診断用デバイス	B
准教授	武田 博明	結晶成長, 結晶化学	B
准教授	宮内 雅浩	無機粒子合成, 光機能性材料	B
准教授	松下 祥子	ナノテクノロジー, コロイド界面	B
准教授	安田 公一	セラミックス複合材料の作製と力学的性質の評価	B
連携教授	瀬川 浩代	ガラス材料科学, 表面機能性制御	B 外部連携

1. 研究分野のAは金属材料系, Bは無機材料系の研究を主体とする教員です。志望指導教員を記入する際, 受験する専門科目と一致するAまたはB群どちらか一方の教員から選択してください。
2. 連携教授を志望するものは, 予め入試委員 (教授 中島章, 電話: 03-5734-2524) に相談してください。

材料工学専攻を第1志望専攻とし第2志望専攻を物質科学専攻とする場合に, 第2志望専攻の指導教員となる教員一覧

指 導 教 員		研 究 分 野	備 考
教 授	◎西方 篤	金属電気化学, 腐食科学, 燃料電池材料	A 物質科学専攻
准教授	◎多田 英司	腐食防食, 材料電気化学, 材料の環境劣化	A 物質科学専攻
教 授	◎矢野 哲司	ガラスの基礎科学と応用, イオン交換による機能性ガラス創製	B 物質科学専攻

本専攻では指導教員となれない教員一覧 (他専攻が本務の併任教員, 定年・海外出張など)

指 導 教 員		研 究 分 野	備 考
教 授	※小林 能直	高温反応熱力学, 金属製精錬, リサイクルプロセス	A 平成27年4月異動
准教授	※林 重成	合金の高温酸化, 耐酸化性コーティング	A 平成29年4月転出
准教授	※櫻井 修	セラミックス粉末および電子セラミックスのプロセッシング	B 平成28年3月定年
連携教授	※島 裕和	セメント製造技術, シミュレーションによるプロセス改善技術	B 研究上の理由
連携教授	※John D. Baniecki	セラミック薄膜工学, 酸化物エネルギー材料, 界面輸送現象	B 研究上の都合

1. ※印を付してある指導教員は, 定年, 海外出張等のため今回は志望できません。

有機・高分子物質専攻

専攻の概要についてはこちらをご覧ください。 <http://www.op.titech.ac.jp/>

【取得できる学位】

修士（工学）

【併願】

本専攻を第1志望としたときに併願できる専攻の組み合わせについては下記の通りです。

（第1志望：有機・高分子物質，第2志望：物質科学）

（第1志望：有機・高分子物質，第2志望：物理電子システム創造）

【志望理由書のテーマ等】

志望研究室・研究分野など本専攻に対する志望理由を1,000字程度にまとめたもの。

【試験実施日程等】

試験区分			試験日	試験内容等	備考
A日程	口述試験		7月29日（水） ～8月5日（水）	専門的知識および学士論文研究の内容についての試問	試験実施日は、受験票発送時に通知します。
B日程	筆答試験	外国語科目	英語	8月18日（火） 14:00～15:00	筆答試験（科学記事等の読解と作文）の成績または、英語外部テストのスコアシートによる評価。配点：100点 ・筆答試験の成績と英語外部テストのスコアのいずれかよい方を採用します。いずれか一方だけで受験することも可能です。 ・英語外部テストのスコアは、一定の基準で筆答試験の成績と同レベルに換算されます。換算の目安は上記の専攻ホームページを参照してください。
			日本語	実施しません。	
		専門科目	有機・高分子物質	8月19日（水） 9:30～12:30	
	口頭試問		9月1日（火）	学士論文研究の内容、志望分野、及び適性などに関する試問	口頭試問Ⅱにより実施

【外部テストのスコアシートの取扱い】

スコアシートは原本を必ず出願時に提出してください。出願受付締切後の提出は一切認めません。

また、一度提出したスコアシートの差し替えは一切認めません。

【専門科目】

専門科目名：有機・高分子物質

【口頭試問受験資格者の発表】

8月28日（金）12時頃大岡山キャンパス内「なごみの広場」（附属図書館の先）で掲示により発表します。また、同日13時頃より、本学ホームページ（新着入試情報）にも掲載します。

【過去の筆答試験問題の公表】

ホームページで公表 <http://www.op.titech.ac.jp/>

【記載内容に関する問い合わせ先】

専攻長 森 健彦 mori.t.ae@m.titech.ac.jp

指導教員及びその研究分野一覧

有機・高分子物質専攻

本専攻で指導教員となる教員一覧

指 導 教 員		研 究 分 野	備 考
教 授	石曾根 隆	新規高分子の精密合成, 機能性高分子, 有機合成	
教 授	大内 幸雄	物理化学, イオン液体, 有機機能性界面の構造と電子構造	
教 授	大塚 英幸	高分子反応, 機能性高分子材料設計, 高分子合成	
教 授	柿本 雅明	高分子合成化学, 高分子薄膜, 機能性高分子	
教 授	鞠谷 雄士	繊維・高分子成形工学, 高分子の構造と物性	
教 授	芹澤 武	生体高分子の特性解明, 生体機能模倣材料	
教 授	高田十志和	高分子合成 (新高分子), 超分子化学, 有機合成	
教 授	手塚 育志	高分子合成化学 (高分子トポロジー化学)	
教 授	野島 修一	高分子の自己組織化ダイナミクス, バイオベースポリマーの構造	
教 授	バツハ マチン	有機材料光物性, 単一分子分光	
教 授	森 健彦	物性物理化学, 有機エレクトロニクス, 有機超伝導	
教 授	森川 淳子	高分子成形工学, 有機材料熱物性	
准教授	石川 謙	有機材料物性, 分子集合体の光, 電気物性	
准教授	川内 進	有機高分子物質のコンピュータシミュレーション	
准教授	小西 玄一	高分子合成 (機能性高分子), 光化学	
准教授	斎藤 礼子	高分子合成 (複合材料), 高分子反応, エネルギー材料設計	
准教授	塩谷 正俊	複合材料, 炭素材料の構造と物性	
准教授	戸木田雅利	高分子の構造とダイナミクス, 高分子液晶	
准教授	早川 晃鏡	高分子合成, 高分子薄膜, 自己組織化材料	
准教授	早水 裕平	有機材料物理, バイオ・ナノ界面, ナノ材料	
准教授	古屋 秀峰	高分子の構造と物性, 高分子シミュレーション	
准教授	松本 英俊	ナノ・マイクロ加工, 高分子物性, エネルギー変換材料	
准教授	道信 剛志	高分子合成, 有機半導体, 機能性有機材料	

本専攻では指導教員となれない教員一覧 (他専攻が本務の併任教員, 定年・海外出張など)

指 導 教 員		研 究 分 野	備 考
教 授	☆安藤 慎治	機能性高分子の構造と物性, 高分子固体の分光学	物質科学専攻
教 授	☆扇澤 敏明	多成分系高分子材料, 有機材料物性	物質科学専攻
准教授	☆浅井 茂雄	有機高分子材料の構造と物性	物質科学専攻
准教授	☆佐藤 満	高分子物理化学	物質科学専攻

1. ☆印を付してある指導教員を志望するものは, 備考欄に記載されている専攻で出願してください。

応用化学専攻

専攻の詳細についてはこちらをご覧ください。 <http://www.apc.titech.ac.jp/>

【取得できる学位】

修士（工学）

【併願】

本専攻を第1志望としたときに併願できる専攻の組み合わせについては下記の通りです。

- （第1志望：応用化学，第2志望：物質科学）
- （第1志望：応用化学，第2志望：化学工学）
- （第1志望：応用化学，第2志望：原子核工学）
- （第1志望：応用化学，第2志望：物質電子化学）
- （第1志望：応用化学，第2志望：化学環境学）
- （第1志望：応用化学，第2志望：物理電子システム創造）

【志望理由書のテーマ等】

特段のテーマは設けません。

【出願にあたっての注意】

教育上の配慮から、教員あたりの合格者数が制限される場合があります。また、指導教員の決定に当たっては、成績が優先されます。

【試験実施日程等】

試験区分				試験日	試験内容等	備考
A日程	口述試験			7月29日（水）～ 8月5日（水）	専門的知識及び学士論文研究の内容等 についての試問	英語外部テストのスコアシートを利用します。詳細は【外部テストのスコアシートの取扱い】参照 試験実施日は、受験票発送時に通知します。
B日程	筆 答 試 験	外国語科目	英 語	筆答試験を実施しません。	本学の指定する英語外部テストのスコアシートを利用します。配点：200点	詳細は【外部テストのスコアシートの取扱い】参照
			日 本 語	実施しません。		
		専門科目	応 用 化 学	8月19日（水） 専門科目1： 9:30～11:00 専門科目2： 13:30～15:00 専門科目3： 15:30～17:00	専門科目1，2，3： 専門科目3分野（物理化学，無機化学，有機化学）から2題ずつ，計6題出題し，全問に解答（一題150点，300点満点×3分野）	
	口 頭 試 問			8月20日（木）	100点満点 専門的知識及び学士論文研究の内容等 についての試問	口頭試問Iにより実施 口頭試問の結果によっては， 筆答試験の成績にかかわらず 不合格となる場合があります。

【外部テストのスコアシートの取扱い】

スコアシートは原本を出願時に提出してください。提出できない場合は、以下の通りとします。

A日程口述試験当日又はB日程筆答試験（専門科目）当日にスコアシートを提出してください。なお、出願時にスコアシートを提出した後に新たに取得したスコアシートを提出したい場合も同様に、A日程口述試験当日又はB日程筆答試験（専門科目）当日にスコアシートを提出してください。

【専門科目】

専門科目名：応用化学

【口頭試問受験資格者の発表】

筆答試験受験資格者は全員口頭試問を受験してください。該当者は、8月20日（木）9時に大岡山キャンパス南1号館523ゼミ室に集合してください。

【過去の筆答試験問題の公表】

ホームページで公表 <http://www.apc.titech.ac.jp/>

【記載内容に関する問い合わせ先】

応用化学専攻事務室 〒152-8552 目黒区大岡山2-12-1-S1-15

TEL:03-5734-2149 FAX:03-5734-2149 MAIL:chairman@apc.titech.ac.jp

指導教員及びその研究分野一覧

応用化学専攻

本専攻で指導教員となれる教員一覧

指 導 教 員		研 究 分 野	備 考
教 授	田中 健	有機合成化学, 不斉合成化学, 有機金属化学	
教 授	大友 明	無機固体化学, 結晶工学, デバイス工学, コンビナトリアル無機化学	
教 授	三上 幸一	合成有機化学, 機能性材料・天然物合成, 有機フッ素化学	
教 授	村橋 哲郎	有機金属化学, 錯体化学	
教 授	和田 雄二	物理化学 (光電変換素子・ナノ材料化学・マイクロ波化学)	
准教授	田中 浩士	有機化学, 天然物化学, 糖質化学	
准教授	岡本 昌樹	触媒化学, 材料科学	
准教授	桑田 繁樹	錯体化学, 均一系触媒化学	
准教授	伊藤 繁和	物性有機化学, 有機合成化学, 計算化学	
准教授	高尾 俊郎	錯体・有機金属化学	
准教授	鈴木 榮一	触媒化学	

本専攻では指導教員となれない教員一覧 (他専攻が本務の併任教員, 定年・海外出張など)

指 導 教 員		研 究 分 野	備 考
教 授	☆山中 一郎	電気化学, 触媒化学	物質科学専攻

1. ☆印を付してある指導教員を志望するものは, 備考欄に記載されている専攻で出願してください。

化学工学専攻

専攻の詳細についてはこちらをご覧ください。 <http://www.chemeng.titech.ac.jp/index.htm>

【取得できる学位】

修士（工学）

【併願】

本専攻を第1志望としたときに併願できる専攻の組み合わせについては下記の通りです。

（第1志望：化学工学，第2志望：応用化学）

（第1志望：化学工学，第2志望：原子核工学）

（第1志望：化学工学，第2志望：化学環境学）

【志望理由書のテーマ等】

特段のテーマは設けません。

【出願にあたっての注意】

教育上の配慮から、教員あたりの合格者数が制限される場合があります。また、指導教員の決定に当たっては、成績が優先されます。志願者は、志望する指導教員に相談してから出願してください。

【試験実施日程等】

試験区分				試験日	試験内容等	備考
A 日程	口述試験			7月29日（水）～ 8月5日（水）	化学工学の基礎知識および学士論文研究の内容等	試験実施日は、受験票発送時に通知します。
	B 日程	筆 答 試 験	外国語科目 英 語	筆答試験を実施しません。	本学の指定する英語外部テストのスコアシートを利用します。英語外部テストのスコアは100点満点に換算します。	詳細は【外部テストのスコアシートの取扱い】参照
			日 本 語	実施しません。		
		専門科目	化 学 工 学	8月19日（水） 13:30～16:00	・熱力学 ・反応速度，反応工学 ・プロセスの化学・量論 ・プロセスの収支・単位操作 ・移動現象論 の5つの分野から1分野1題を出題 満点は各100点，合計500点	
			口頭試問	8月20日（木）	学士論文研究の内容等 満点は100点	口頭試問Ⅰにより実施

【外部テストのスコアシートの取扱い】

スコアシートは原本を必ず出願時に提出してください。出願受付締切後の提出は一切認めません。

【専門科目】

専門科目名：化学工学

なお、これに代えて、下記のいずれかの専門科目を受験することができます。

化学，材料工学A（金属材料系），材料工学B（無機材料系），有機・高分子物質，応用化学，機械・制御情報系，

経営工学（Aコース）

【口頭試問受験資格者の発表】

筆答試験を受けた者は全員8月20日（木）の口頭試問を受験してください。集合時間及び場所等は8月19日（水）の筆答試験会場で指示します。

【過去の筆答試験問題の公表】

ホームページで公表 <http://www.chemeng.titech.ac.jp/index.htm>

【記載内容に関する問い合わせ先】

東京工業大学 理工学研究科 化学工学専攻事務室

TEL:03-5734-2475

MAIL:chair_adm@chemeng.titech.ac.jp

指導教員及びその研究分野一覧

化学工学専攻

本専攻で指導教員となれる教員一覧

指 導 教 員		研 究 分 野	備 考
教 授	大河内 美奈	生物化学工学, ペプチド工学, バイオセンシング	
准教授	谷口 泉	エアロゾル工学, 微粒子工学, エネルギー変換・貯蔵材料, ナノ構造材料, 移動現象解析, リチウム二次電池	
准教授	渕野 哲郎	プロセスシステム工学, ライフサイクルエンジニアリング	
教 授	多湖 輝興	反応工学, 触媒反応工学, 触媒, 資源化学プロセス	
准教授	森 伸介	プラズマCVD, 反応分離, 熱流体工学	
教 授	伊東 章	化学工学, 膜分離工学	
教 授	久保内 昌敏	化学装置材料, プラスチックリサイクル, グリーンコンポジット, スマート構造	
教 授	関口 秀俊	プラズマプロセッシング, 特殊場反応工学, 環境化学工学	
准教授	下山 裕介	超臨界流体技術, 平衡物性, 物質移動	
准教授	吉川 史郎	移動現象論, 膜分離操作, 混合操作	
准教授	青木 才子	トライボロジー, 表面改質	
准教授	大川原 真一	マイクロ移動現象・反応操作, CFD, 機械的操作	

機械物理工学専攻，機械制御システム専攻，機械宇宙システム専攻

専攻の詳細についてはこちらをご覧ください。 <http://www.3mech.titech.ac.jp>

【取得できる学位】

修士（工学）

【併願】

本専攻を第1志望としたときに併願できる専攻の組み合わせについては下記の通りです。

（第1志望：機械・制御情報系，第2志望：人間行動システム）

【志望理由書のテーマ等】

特段のテーマは設けません。

【出願にあたっての注意】

- ・機械物理工学専攻・機械制御システム専攻・機械宇宙システム専攻・情報環境学専攻（機械系）は、「**機械・制御情報系**」という**1専攻の体制で入試を実施します**ので、機械物理工学専攻・機械制御システム専攻・機械宇宙システム専攻・情報環境学専攻（機械系）を志望する出願者は、**各書類の志望専攻欄に「機械・制御情報系」と記入してください**。志望する指導教員名欄には、これらの専攻の教員名を記入してください。このとき、1つの専攻の教員名のみでも、複数の専攻の教員名を含んでも構いません。詳細については、36～38，96ページに掲載されている指導教員及びその研究分野一覧を参照してください。
- ・受験票送付時に、志願票に記載した第1～第3志望の指導教員の他に第4志望以降の指導教員を調査するための補足調査票を同封しますので、志望を記入の上、A日程受験者は口述試験当日に、B日程受験者は筆答試験当日に試験会場まで持参してください。

【試験実施日程等】

試 験 区 分				試験日	試験内容等	備考
A日程	口 述 試 験			7月29日（水） ～8月5日（水）	学力ならびに適性に関する試問	A日程受験資格者は、学部3年次までの成績及び英語外部テストのスコアによって決定します。 試験実施日は、受験票発送時に通知します。
B日程	筆答試験	外国語科目	英 語	筆答試験を実施しません。	本学の指定する英語外部テストのスコアシートを利用します。 配点：200点（英語外部テストのスコアに基づいて評価します。）	詳細は【外部テストのスコアシートの取扱い】参照
			日 本 語	実施しません。		
		専門科目	機械・ 制御情報系	8月19日（水） 9:30～10:30	・数学（1時間） 線形代数，微積分学，微分方程式など ・物理（1時間） 力学を中心として ・選択専門科目（3時間） 以下の8分野の問題より4つを選択 1)材料・加工 2)材料力学 3)機構運動・機械力学 4)流体力学 5)熱力学・伝熱工学 6)制御理論 7)信号処理 8)電気回路 配点：数学200点，物理200点，選択専門科目600点（各問題150点） 選択専門科目については、各問題間に難易差に基づくものとみられる平均点差が生じた場合には得点調整を行います。	
				10:45～11:45		
13:30～16:30						
口 頭 試 問			8月25日（火）	研究能力ならびに適性に関する試問	口頭試問Ⅰにより実施	

【外部テストのスコアシートの取扱い】

スコアシートは原本を必ず出願時に提出してください。出願受付締切後の提出は一切認めません。

【専門科目】

専門科目名：機械・制御情報系

【口頭試問受験資格者の発表】

8月21日（金）17時頃大岡山キャンパス，石川台地区，石川台1号館1階ロビーで掲示により発表します。また，同日18時頃より，ホームページ<http://www.3mech.titech.ac.jp/admission.html>にも掲載します。

【過去の筆答試験問題の公表】

ホームページ<http://www.3mech.titech.ac.jp/admission.html>で公表します。

【記載内容に関する問い合わせ先】

機械・制御情報系入試担当 京極 啓史，E-mail：kyogokuk@mep.titech.ac.jp

指導教員及びその研究分野一覧

機械物理工学専攻

本専攻で指導教員となれる教員一覧

指 導 教 員		研 究 分 野	備 考
教 授	野崎 智洋	【熱物理工学】プラズマ工学, ナノマテリアル, 太陽電池, 燃料改質, 反応工学, 熱工学	
准教授	大河 誠司	【熱物理工学】熱工学, 熱伝導, 固液相変化伝熱, 過冷却現象, 熱物性値測定, 氷蓄熱, 食品冷凍	
准教授	大島 修造	【流体物理工学】流体工学 (圧縮性流体, 電磁流体, 磁性流体, 電気粘性流体, 生体流体力学)	
教 授	井上 剛良	【マイクロ輸送学】熱工学, マイクロスケール熱工学, 化学反応を伴う熱物質輸送, 燃料電池, 宇宙熱流体工学	
准教授	村上 陽一	【エネルギー科学】エネルギー変換, 分子熱工学, 光変換応用, 輸送現象, イオン液体, 分子間スピン移動制御, 熱電変換	
教 授	岩附 信行	【人間調和工学】超多自由度ロボットの機構と制御, サイレント工学, 知能化レーザー計測	
准教授	岡田 昌史	【人間調和工学】非線形力学系の軌道アトラクタ制御, ロボットの機構設計・制御, 人間の行動誘導, アメニティ空間設計	
教 授	高原 弘樹	【構造ダイナミクス】機械力学, 振動学, 流体関連振動, 非線形振動, 不確定系の振動	
准教授	中野 寛	【構造ダイナミクス】振動工学, 機械力学, 自励振動, 摩擦振動, 制振	
教 授	武田 行生	【機能システム学】ロボット・メカトロニクス機器・福祉機械の機構・機械要素・制御, 機械運動系の解析・総合	
教 授	大竹 尚登	【創形力学】加工物理化学, 塑性・成形加工学, ナノ・マイクロ加工, 炭素系材料の合成, 評価および機械的・電気的・生体医療応用	
准教授	赤坂 大樹	【創形力学】高機能セラミックス材料・無機炭素系材料の合成と評価, 機能材料化学, 薄膜工学, 材料分析学, 電子物性学	
教 授	平田 敦	【機能創出】表面工学, 薄膜工学, トライボロジー, 材料加工, ナノカーボン材料	
教 授	岸本喜久雄	【構造物理】材料力学, 計算力学, 破壊力学, 界面の力学, 材料評価, 逆問題解析, 不均質体の力学, 輸送・移動機器の安全設計	
准教授	因幡 和晃	【構造物理】連続体力学, 材料力学, 計算工学, 衝撃工学, 燃焼工学, 流体構造連成問題, マルチフィジックス	
教 授	轟 章	【構造制御】痛覚をもつ新しい構造の開発 (スマート構造), 航空宇宙機器複合材料構造の最適設計, 複合材料, 材料力学, 破壊力学, 破壊制御	
准教授	水谷 義弘	【構造制御】先進非破壊検査手法の開発, 複合材料, 材料力学, 破壊力学, 信号処理, 材料環境学	
准教授	Celine MOUGENOT (セリス・ムージュ)	【メカノインフラデザイン】設計工学, 感性工学, デザイン認知, 創造的設計	
准教授	葭田 貴子	【メカノインフラ感性】応用脳科学, 心理物理学的手法による感性の計測と応用, 視覚/触覚/マルチモーダル知覚過程, マンマシンインターフェース	
教 授	菊池 雅男	【コマツ建機革新技術共同研究講座】材料工学 (金属・複合材料, ミクロ組織・構造と特性, 強度評価), トライボロジー	
准教授	田中 真二	【コマツ建機革新技術共同研究講座】トライボロジー, 機械要素, 摺動部の可視化・計測	

機械制御システム専攻

本専攻で指導教員となれる教員一覧

指 導 教 員		研 究 分 野	備 考
教 授	中村 春夫	【集積機械学】破壊力学, 構造健全性保証, 計算力学, 逆問題解析, 変位・応力の画像処理解析	
准教授	吉岡 勇人	【マイクロ・ナノ加工学】超精密機械要素, 工作機械工学, ナノ加工, ナノ計測	
教 授	吉野 雅彦	【極限加工システム】ナノ・マイクロ加工, 機能表面, 機能材料の開発, 極限環境の加工	
准教授	山本貴富喜	【極限加工システム】超微細加工, ナノバイオテクノロジー, ナノ流体システム, 再生医療デバイス, 分子バイオロボティクス	
教 授	井上 裕嗣	【固体システム】材料力学 (非破壊検査, 応力ひずみ測定, 逆問題解析, 衝撃問題, 接触問題)	
准教授	阪口 基己	【固体システム】材料力学, 高温材料強度学, 破壊力学, マイクロメカニクス, 耐熱材料の最適設計	
准教授	伏信 一慶	【エネルギー事象】エネルギー工学, 熱工学 (燃料電池, レーザ応用, 電子機器・デバイス実装)	
教 授	佐藤 勲	【エネルギー利用】エネルギー有効利用技術, 生産プロセスの伝熱制御, 計測工学	
准教授	齊藤 卓志	【エネルギー利用】材料加工の熱工学, レーザー援用工学, マイクロスケール熱加工	
教 授	山浦 弘	【機械運動システム学】メカトロニクス機器, 自動車, 宇宙機, ロボットなどにおける動力学, 制御およびトライボロジー	
教 授	伊能 教夫	【生体システム学】バイオメカニクス, 医歯工学, ロボティクス	
教 授	蜂屋 弘之	【計測科学】波動応用計測, 超音波医用計測, 水中音響計測	
准教授	大山 真司	【計測科学】計測工学, 知的センシング, センサネットワーク	
教 授	奥富 正敏	【機械情報システム】コンピュータビジョン, 画像処理, 画像計測, 画像認識	
准教授	田中 正行	【機械情報システム】コンピュータショナルフォトグラフィ, 統計画像処理, 動画画像処理	
教 授	倉林 大輔	【制御機器システム】自律分散システム, 動作計画, 生物規範システム	
准准教授	塚越 秀行	【制御機器システム】レスキューロボット, 医療用アクチュエータ, 流体制御	
准教授	山北 昌毅	【制御機器システム】制御工学, ロボット工学, 適応・学習制御理論	
教 授	三平 満司	【制御理論】非線形制御理論, ノンホロノミックシステム, 劣駆動系	
教 授	藤田 政之	【知能ロボット】ロボティックネットワーク, ビジュアルフィードバック, 環境・エネルギーのためのシステム制御	
准教授	畑中 健志	【知能ロボット】ネットワーク化ロボティクス, 分散協調制御/推定, 人間・視覚・ロボットネットワーク	
教 授	平井秀一郎	【地球環境調和】CO ₂ 地球温暖化対策技術, 燃料電池の計測・高性能化技術開発, CO ₂ 地中隔離制御技術, 石油増進回収CO ₂ 貯留, 次世代リチウム空気電池, ソーラーエネルギー高度利用	
教 授	花村 克悟	【環境熱工学】バイオマス工学, 触媒反応, 近接場光学, 電磁波工学	

機械宇宙システム専攻

本専攻で指導教員となる教員一覧

指 導 教 員		研 究 分 野	備 考
教 授	店橋 護	【反応性気体力学】乱流及び乱流燃焼の高精度数値シミュレーションと多次元多変量レーザー計測, 低環境負荷燃焼技術, 乱流燃焼機構の解明とモデル開発, 燃焼に関連する環境・エネルギー工学	
准教授	志村 祐康	【反応性気体力学】乱流燃焼機構と燃焼不安定現象の解明, 燃焼制御法の研究開発, 環境・エネルギー工学, 複合レーザー計測, 数値シミュレーション	
教 授	小酒 英範	【熱エネルギー変換】環境にやさしい高効率内燃機関に関する研究, レーザー計測による燃焼機構の解明, 燃焼制御の基礎研究	
准教授	佐藤 進	【熱エネルギー変換】交通システムにおける環境負荷低減に関する研究, 高効率排気後処理装置の制御法確立, 代替燃料の次世代内燃機関への適用性に関する研究	
准教授	堀内 潔	【宇宙工学】乱流の数値シミュレーションによる解析, 高分子添加溶液における乱流抵抗削減機構の解明	
教 授	大熊 政明	【動設計学】機械の高性能化に必須の振動騒音問題解決をめざす構造動力学, 実験計測法, モデル化同定法, 最適設計法, 制御技術及び機能的応用技術の研究	
准教授	坂本 啓	【動設計学】先進的な軽量宇宙構造物の動力学解析と制御, 宇宙実証を通じた宇宙システムの設計・検証スキーム構築	
准教授	山崎 敬久	【応用材料物性】宇宙環境材料と宇宙機部品の信頼性, 結晶学に基づいた接合工学, 表面物性と分析機器, ナノ材料による新機能材料の創成	
教 授	京極 啓史	【機械要素】トライボロジー (摩擦・摩耗・潤滑) に関する基礎的研究, 表面科学, トライボロジーを応用した機械要素の開発・高性能化 (高効率化, 省エネルギー化, 長寿命化)	
准教授	齋藤 滋規	【機械要素】機械力学, 材料力学, 微細作業工学, マイクロロボティクス, マイクロアセンブリ, マイクロメカニクス, マイクロ物理	
教 授	鈴森 康一	【ロボット創造学】ニューアークチュエータの開発とロボット応用, ソフトロボティクス, 人工筋肉と生体模倣ロボット機構, 特殊環境ロボット	
准教授	遠藤 玄	【ロボット創造学】ロボット, メカトロニクス, 移動ロボット, 支援福祉機器開発, 脚型ロボット, 軽量マニピュレータ, ワイヤ駆動機構	
連携教授	松永 三郎*	【宇宙機械システム学】将来型宇宙システムの概念創造, 革新的宇宙システム技術の研究, 超小型衛星の開発・打上・運用	宇宙航空研究開発機構／宇宙科学研究所
連携准教授	野田 篤司*	【宇宙機械システム学】システムエンジニアリング, 宇宙機システムの設計, 小型衛星, 情報システム	宇宙航空研究開発機構

1. *印を付してある指導教員を志望する場合は, 必ず事前に専攻長あるいは指導教員に連絡してください。連絡先については専攻ホームページを参照してください。

本専攻では指導教員となれない教員一覧 (他専攻が本務の併任教員, 定年・海外出張など)

指 導 教 員		研 究 分 野	備 考
教 授	※小田 光茂	【宇宙工学】これまでなかった新しい宇宙ミッション, 宇宙機システム等を実現するための宇宙ミッション, 宇宙機システム, 宇宙ロボット, 宇宙工学等の技術研究, 及び実際の宇宙環境での技術実証実験実施	定年

1. ※印を付してある指導教員は, 定年, 海外出張等のため今回は志望できません。

電気電子工学専攻・電子物理工学専攻

専攻の詳細についてはこちらをご覧ください。 <http://www.ee.titech.ac.jp/>

【取得できる学位】

修士（工学）

【併願】

本専攻を第1志望としたときに併願できる専攻の組み合わせについては下記の通りです。

（第1志望：電気電子工学・電子物理工学、第2志望：人間行動システム）

【志望理由書のテーマ等】

現在の卒業研究のテーマに関して、指導教員名とテーマを述べ、その後で、志望研究室・研究分野に対する志望理由を1,000字以内で記入してください。

【出願にあたっての注意】

- ・電気電子工学専攻及び電子物理工学専攻は、「電気電子工学・電子物理工学」という1専攻の体制で募集しますので、電気電子工学専攻及び電子物理工学専攻を志望する志願者は、各書類の志望専攻欄に「電気電子工学・電子物理工学」と記入してください。
- ・受験票送付時に志願票に記載した志望指導教員（第1～第3志望）の他に第4志望以降の志望指導教員名を調査するための調査票を同封するので、志望を記入して、A日程受験者は口述試験当日、B日程受験者は筆答試験（専門科目）当日に試験会場まで持参してください。

【試験実施日程等】

試 験 区 分				試験日	試験内容等	備考
A日程	口 述 試 験			7月29日（水） ～8月5日（水）	基礎・専門学力及び適性などに関する試問	・試験実施日は、受験票発送時に通知します。 ・出身大学等の成績証明書から判断し、学部3年次相当までの成績上位者を口述試験受験資格者として実施します。
B日程	筆答試験	外国語科目	英 語	筆答試験を実施しません。	100点満点 本学の指定する英語外部テストのスコアシートを利用します。	詳細は【外部テストのスコアシートの取扱い】参照
			日 本 語	実施しません。		
		専門科目	電気電子工学 ・電子物理工学	8月19日（水） 午前：9:30～11:00 午後1：13:30～15:00 午後2：15:30～17:00	600点満点 午前：電気数学（微分方程式、複素関数、ラプラス変換、フーリエ変換、確率統計、ベクトル解析など） 午後1：電気回路（交流回路、分布定数回路、回路解析、回路の諸定理、電子回路など） 午後2：電磁気学（静電界、静磁界、電磁誘導、電磁界の法則など）	
口 頭 試 問			8月20日（木）	志望分野および適性などに関する試問	口頭試問Ⅰにより実施 筆答試験を受験した者を対象に口頭試問を行います。	

【外部テストのスコアシートの取扱い】

スコアシートは出願時に提出しないでください。

B日程筆答試験（専門科目）当日にスコアシートの原本とコピーを持参してください。原本は筆答試験会場で確認した後その場で返却してコピーのみ回収します。

【専門科目】

専門科目名：電気電子工学・電子物理工学

【口頭試問受験資格者】

口頭試問受験資格者は、8月19日（水）に筆答試験の全科目を受験した者とします。

【B日程における合否判定について】

筆頭試験成績および志望する研究分野ならびに指導教員、適性などにより合否を判定します。合否判定にあたり口述試験受験資格の有無、口述試験成績は考慮しません。

【過去の筆答試験問題の公表】

ホームページで公表 <http://www.ee.titech.ac.jp/>

【記載内容に関する問い合わせ先】

東京工業大学電気電子工学・電子物理工学専攻事務室

MAIL: inquiry-dept@ee.titech.ac.jp

指導教員及びその研究分野一覧

電気電子工学専攻・電子物理工学専攻

本専攻で指導教員となれる教員一覧

指 導 教 員		研 究 分 野	備 考
教 授	赤木 泰文	パワーエレクトロニクス, 電力工学	電気電子工学専攻
准教授	萩原 誠	パワーエレクトロニクス	〃
准教授	藤田 英明	パワーエレクトロニクス, 電気機器学	〃
連携教授	中出 雅彦	電力ケーブル技術, 劣化診断技術, 電力工学	〃
教 授	安岡 康一	プラズマ工学, パルスパワー工学, 電力工学	〃
講 師	竹内 希	プラズマ工学, 静電気工学	〃
教 授	七原 俊也	電力工学, 再生可能エネルギー発電	〃
教 授	千葉 明	ドライブレレクトロニクス, パワーメカトロニクス, インテリジェントドライブ	〃
教 授	安藤 真	アンテナ, 無線通信, 電磁波工学, 散乱回折理論	〃
准教授	廣川 二郎	電磁波工学, アンテナ, 電磁波回路	〃
准教授	阪口 啓	無線ネットワーク, MIMO通信方式, コグニティブ無線	〃
教 授	水本 哲弥	光通信工学, 光波回路, 光制御光機能素子, 光波信号処理	〃
准教授	庄司 雄哉	光通信工学, 光エレクトロニクス, 磁気光学デバイス	〃
教 授	荒井 滋久	光・量子電子工学, 光通信工学, 量子効果光デバイス	〃
准教授	西山 伸彦	光電子集積回路, 半導体光デバイス, 光伝送システム	〃
教 授	山田 明	太陽電池, 化合物薄膜太陽電池, 半導体物性	電子物理工学専攻
准教授	宮島 晋介	半導体物性, 太陽電池	〃
教 授	岩本 光正	誘電体物性, 有機エレクトロニクス, 有機分子素子, 液晶・分子膜	〃
准教授	間中 孝彰	有機デバイス, 有機光物性, 誘電体物性	〃
教 授	宮本 恭幸	超高速化合物半導体デバイス, 半導体ナノ構造形成	〃
連携教授	福田 浩一	半導体デバイスシミュレーション及びモデリング	〃
准教授	鈴木 左文	超高速電子デバイス, テラヘルツ無線通信	〃
教 授	小田 俊理	ナノエレクトロニクス, 量子効果デバイス, 単電子デバイス	〃
准教授	河野 行雄	ナノエレクトロニクス, 量子効果デバイス	〃
教 授	波多野睦子	パワーデバイス, センサデバイス	〃
准教授	小寺 哲夫	パワーデバイス, センサデバイス, 量子技術	〃
教 授	中川 茂樹	磁気記録デバイス工学, スピントロニクス, 磁性薄膜工学	〃
准教授	PHAM NAM HAI	半導体スピントロニクス材料, 強磁性半導体, スピントロニクス	〃
教 授	松澤 昭	アナログ・デジタル混在システム, 回路および集積回路設計	〃
准教授	岡田 健一	アナログ・高周波集積回路設計, 無線システム・回路設計	〃
准教授	○西方 敦博	環境電磁工学 (電波吸収, 生体) , 電磁気材料測定, 聴覚情報処理	人間行動システム専攻

1. ○印を付してある指導教員は, 備考欄の専攻等を本務とする併任教員ですが, 他の教員と同様に志望できます。
2. ◆印を付してある指導教員は, 他の教員と同様に志望できますが, 主指導教員にはなれません。

本専攻では指導教員となれない教員一覧 (他専攻が本務の併任教員, 定年・海外出張など)

指 導 教 員		研 究 分 野	備 考
教 授	※堀田 栄喜	プラズマ理工学, パルスパワー工学, X線レーザ, 核融合	平成28年3月定年
連携教授	※古谷 之綱	国際標準化, 無線通信, 移動体通信	
連携教授	※渡邊 朝紀	国際標準化, 鉄道技術, 電気鉄道工学	
教 授	☆亀井 宏行	遺跡探査 (地中レーダ, 電磁探査) , 考古情報学 (DB, G I S等)	計算工学専攻
教 授	☆中本 高道	センサシステム, ヒューマンインターフェース, L S I 設計	知能システム科学専攻

1. ☆印を付してある指導教員を志望するものは, 備考欄に記載されている専攻で出願してください。
2. ※印を付してある指導教員は, 定年, 海外出張等のため今回は志望できません。

通信情報工学専攻

専攻の詳細についてはこちらをご覧ください。 <http://www.ce.titech.ac.jp/index-j.html>

【取得できる学位】

修士（工学）

【併願】

本専攻を第1志望としたときに併願できる専攻の組み合わせについては下記の通りです。

- （第1志望：通信情報工学，第2志望：計算工学）
- （第1志望：通信情報工学，第2志望：計算工学，第3志望：物理情報システム）
- （第1志望：通信情報工学，第2志望：計算工学，第3志望：人間行動システム）
- （第1志望：通信情報工学，第2志望：物理情報システム）
- （第1志望：通信情報工学，第2志望：人間行動システム）

【志望理由書のテーマ等】

志望研究室・研究分野に対する志望理由を300字程度にまとめる。

【試験実施日程等】

試 験 区 分			試験日	試験内容等	備考	
A日程	口 述 試 験		7月29日（水） ～8月5日（水）	出身大学学部学業成績上位者をA日程受験資格者とし、卒論、志望する研究分野等に関する専門的知識の試問を行います。	・試験実施日は、受験票発送時に通知します。 ・A日程試験の可否は口述試験および出願書類を総合的に評価し決定します。 ・A日程試験が不合格となった場合はB日程試験を受験してください。	
	B日程	筆答試験	外国語科目	英語	筆答試験を実施しません。	本学の指定する英語外部テストのスコアシートを利用します。
専門科目			日本語	実施しません。		
			情報工学	8月19日（水） 9:30～12:30	下記より5問程度を出題します。全問を解答してください。 微分積分学，線形代数学，フーリエ解析・ラプラス変換，確率・統計，組み合わせ理論，数理論理学，オートマトンと形式言語理論，情報理論，通信方式，ディジタル電子回路，論理回路，計算機論理設計，計算機構成，データ構造とアルゴリズム，プログラミング言語	
口 頭 試 問		8月21日（金） 14:00～	筆答試験成績上位者を口頭試問受験資格者とし、筆答試験成績及び志望する研究分野、志望する指導教員により可否を判定します。可否判定にあたり口述試験受験資格の有無、口述試験成績は考慮しません。	口頭試問Ⅰにより実施		

【口述試験について】

通信情報工学専攻，計算工学専攻の2専攻はA日程試験の口述試験を合同で行います。これら2専攻を併願している口述試験受験者は，第1志望専攻または第2志望専攻のいずれかに合格する可能性があります。

【外部テストのスコアシートの取扱い】

- （1） スコアシートは原本を出願時に提出してください。コピーの提出は認めません。
- （2） やむをえない理由により提出が間に合わない場合は，外部テスト受験票の写しと理由書（A4で1頁，様式随意）を出願時に提出した上で，受験日程に応じて（2-1）もしくは（2-2）の方法でスコアシートを提出してください。
 - （2-1） A日程受験資格者は，スコアシートの原本をA日程試験当日に持参してください。持参できない場合は，A日程の試験は受験できず，自動的にB日程受験資格者となります。
 - （2-2） B日程受験資格者は，スコアシートの原本を，「スコアシート在中」と朱書した封筒に入れ，下記の＜＜スコアシート提出先＞＞まで簡易書留郵便にて8月10日（月）必着で郵送してください。この期日までに届かなかった場合は，B日程試験の受験資格は失われます。ただし，口述試験でスコアシートを提出したA日程試験受験者がB日程試験を受験する場合は，郵送による提出を無断で省略することができ，この場合は口述試験で提出したスコアシートが自動的に利用されます。

【専門科目】

専門科目名：情報工学

【口頭試問受験資格者の発表】

8月21日（金）13時に大岡山キャンパス西8号館E棟10階1001号室（情報理工学研究科大会議室）にて掲示します。

【過去の筆答試験問題の公表】

ホームページで公表 <http://www.ce.titech.ac.jp/>

【記載内容に関する問い合わせ先】

府川和彦教授（MAIL：inquiry15@ce.titech.ac.jp）

<<スコアシート提出先>>（B日程試験受験者の場合）

〒152-8550 東京都目黒区大岡山2-12-1 S3-39 東京工業大学工学系研究教育支援第1グループ（電気系）通信情報工学専攻担当

指導教員及びその研究分野一覧

通信情報工学専攻

本専攻で指導教員となれる教員一覧

指 導 教 員		研 究 分 野	備 考
教 授	一色 剛	システム・オン・チップ設計技術，メディアプロセッサ設計	学術国際情報センター
教 授	上野 修一	並列・VLSI計算論，量子・ナノ計算論	
教 授	植松 友彦	情報理論，符号理論，通信理論	
教 授	〇尾形 わかは	暗号理論，暗号プロトコル，情報セキュリティ	技術経営専攻
准教授	笠井 健太	符号理論，LDPC符号，空間結合符号	
教 授	高木 茂孝	集積回路，回路網理論	
教 授	高橋 篤司	VLSIレイアウト設計，同期回路	
准教授	原 祐子	ハードウェア・ソフトウェア協調設計，高信頼組み込みシステム	
教 授	府川 和彦	移動通信，信号処理，無線ネットワーク	
准教授	松本 隆太郎	誤り訂正符号，情報理論，無線通信，量子通信	
准教授	山岡 克式	情報通信ネットワーク，インターネット	
教 授	山田 功	信号処理工学，最適化工学，逆問題	

1. 〇印を付してある指導教員は，備考欄の専攻等を本務とする併任教員ですが，他の教員と同様に志望できます。

本専攻では指導教員となれない教員一覧（他専攻が本務の併任教員，定年・海外出張など）

指 導 教 員		研 究 分 野	備 考
准教授	※飯田 勝吉	ネットワークシステム工学	学術国際情報センター
連携教授	※井上 淳樹	大規模集積回路設計技術，高速・低電力回路技術	
教 授	※國枝 博昭	VLSI設計，マルチメディアLSI，LSI・CAD，指紋認証	
客員教授	※久保田 誠之	情報通信における研究開発政策及び標準化	
教 授	※西原 明法	多次元／適応／並列などの信号処理，マルチメディア，教育工学	人間行動システム専攻

1. ※印を付してある指導教員は，定年，海外出張等のため今回は志望できません。

土木工学専攻

専攻の詳細についてはこちらをご覧ください。 <http://www.cv.titech.ac.jp/>

【取得できる学位】

修士（工学）

【併願】

本専攻を第1志望としたときに併願できる専攻の組み合わせについては下記の通りです。

（第1志望：土木工学，第2志望：環境理工学創造）

（第1志望：土木工学，第2志望：人間環境システム）

（第1志望：土木工学，第2志望：情報環境学（社会・環境系））

【志望理由書のテーマ等】

特段のテーマは設けません。

【出願にあたっての注意】

A日程口述試験は、出願者の中から、提出された成績証明書を基に成績優秀者（出身学科における上位20%以内を目安とする）を選定し実施する。なお、出身学科における順位が成績証明書に記載されていない場合には、それが明らかとなる書類等（出身学科における順位を記載した学科長からの手紙など）を出願書類に加えても構いません。

【試験実施日程等】

試験区分				試験日	試験内容等	備考
A日程	口 述 試 験			7月29日（水） ～8月5日（水）	小論文ならびに筆答試験の工学基礎科目に準ずる筆記試験の他、面接（課せられた小論文に関しての試問を含む）を行います。	試験実施日は、受験票発送時に通知します。
B日程	外国語科目	英 語	筆答試験を実施しません。	本学の指定する英語外部テストのスコアシートを利用します。 英語外部テストのスコアは100点満点に換算します。	詳細は【外部テストのスコアシート の取扱い】参照	
		日 本 語	実施しません。			
	筆答試験	専門科目	土 木 工 学	8月19日（水） 9:30～11:00 13:30～16:30	工学基礎科目（100点満点、90分）と土木専門科目（250点満点、180分）の試験を行います。 工学基礎科目は （1）常微分方程式（2）確率統計解析（3）偏微分方程式（4）線形代数の範囲から出題し、全問解答とします。 土木専門科目は （1）構造力学（2）水理学（3）土質力学（4）コンクリート工学（5）土木計画の範囲から各2題の計10題出題し、任意の5題を選択解答とします。	貸与する電卓のみ使用可能
			口 頭 試 問		8月21日（金） 10:00～	本試問は志望動機や学習意欲を確認するもので、細かい知識を問うものではありませんが、これまでの学習内容について尋ねることはあります。

【外部テストのスコアシートの取扱い】

スコアシートは原本を必ず出願時に提出してください。出願受付締切後の提出は一切認めません。

【専門科目】

専門科目名：土木工学

【口頭試問受験資格者の発表】

口頭試問受験資格者発表は、8月20日（木）18時に大岡山キャンパス緑が丘1号館1階掲示板において掲示により発表します。遠隔地で学外からの受験資格者に対しては、専攻から電話で連絡します。

【過去の筆答試験問題の公表】

ホームページで公表 <http://www.cv.titech.ac.jp/>

【記載内容に関する問い合わせ先】

土木工学専攻・入試委員（北詰昌樹 Tel：03-5734-2798，E-mail：kitazume.m.aa@m.titech.ac.jp）

指導教員及びその研究分野一覧

土木工学専攻

本専攻で指導教員となる教員一覧

指 導 教 員		研 究 分 野	備 考
教 授	二羽淳一郎	コンクリート構造, コンクリート工学	
教 授	朝倉 康夫	交通工学, 交通現象分析, 交通システム運用	
教 授	北詰 昌樹	地盤工学, 地盤改良, 軟弱地盤対策	
教 授	岩波 光保	マルチスケールデザイン, 維持管理工学, 海洋構造工学	
教 授	鼎 信次郎	水循環・水資源, 水災害, 河川計画, 地球環境変動	
教 授	高橋 章浩	地盤工学, 地盤防災	
准教授	Anil C. W.	地震工学, 構造工学, 固体力学	
准教授	竹村 次朗	土質基礎工学, 土質力学, 都市防災, 地盤環境	
准教授	福田 大輔	土木計画, 交通計画, 交通行動分析, 交通経済学	
准教授	吉村 千洋	水環境工学, 水質工学, 応用生態工学, 生物地球化学	
准教授	佐々木栄一	構造工学, 耐震, 維持管理工学, 構造モニタリング	
特任准教授	Oliver C. S. V.	地球水環境, 地球水資源学	
連携教授	栗山 善昭	海岸工学, 海岸浸食, 海岸土砂移動	
連携教授	長谷川 専	土木計画学, 建設マネジメント, 制度設計論, 事業評価	
連携准教授	小林 裕介	橋梁工学, 鋼構造学, 維持管理工学	
教 授	○灘岡 和夫	水圏環境学, 生態系保全学, 生態環境モデリング・モニタリング, 海岸・海洋工学, 統合沿岸管理計画	情報環境学専攻
教 授	○廣瀬 壮一	応用力学, 計算力学, 弾性波動論, 定量的非破壊評価	情報環境学専攻
講 師	○中村 隆志	生態系モデリング, 生物地球化学, 沿岸生態学, 物質循環	情報環境学専攻
教 授	○屋井 鉄雄	交通計画, 交通工学, 交通政策	人間環境システム専攻
教 授	○盛川 仁	地震工学	人間環境システム専攻
准教授	○室町 泰徳	都市計画, 交通計画, 交通と環境	人間環境システム専攻
教 授	○木内 豪	水工水理学, 気象・海洋物理・陸水学	環境理工学創造専攻
准教授	○中村 恭志	地盤計算力学, 数値解析手法, 数値混相流解析	環境理工学創造専攻
教 授	○神田 学	環境気象学, 環境水文学	国際開発工学専攻

1. ○印を付してある指導教員は、備考欄の専攻等を本務とする併任教員ですが、他の教員と同様に志望できます。

建築学専攻

専攻の概要についてはこちらをご覧ください。 <http://www.arch.titech.ac.jp/>

【取得できる学位】

修士（工学）

【併願】

本専攻を第1志望としたときに併願できる専攻の組み合わせについては下記の通りです。

（第1志望：建築学，第2志望：人間環境システム）

（第1志望：建築学，第2志望：情報環境学（社会・環境系））

（第1志望：建築学，第2志望：環境理工学創造）

【志望理由書のテーマ】

特定のテーマは設けません。

【出願にあたっての注意】

- ・出願時に、D：建築デザインコースか、E：建築学コースのどちらかを選択し、志望専攻欄に専攻名及びコース名（カッコ書き）を記入すること。

（記入例：D：建築学（建築デザインコース），E：建築学（建築学コース））

- ・第一志望の指導教員には、選択したコースの教員を選ぶこと。

【試験実施日程等】

試験区分				試験日	試験内容等	備考
A日程	口 述 試 験			7月29日（水） ～8月5日（水）	専門的知識ならびに大学院における研究計画，持参した設計製図の作品等についての試問	試験実施日は，受験票発送時に通知します。 設計製図の作品（図面）を持参すること
B日程	筆答試験	外国語科目	英 語	筆答試験は実施しません。	本学の指定する英語外部テストのスコアシートを利用します。	詳細は【外部テストのスコアシート の取扱い】参照
			日 本 語	実施しません。		
		専門科目	D：建築学 （共通・建築デザインコース）	8月19日（水） 共通： 9:00～10:30 建築デザインコース： 11:00～12:00 13:30～17:30	共通：建築学一般に関する試問 建築デザインコース：午前／小論文 午後／即日設計	即日設計に，定規，筆記用具（カラー可）を持参すること
			E：建築学 （共通・建築学コース）	8月19日（水） 共通： 9:00～10:30 建築学コース： 13:30～15:30	建築学コース：希望する専門分野に関する試問	
	口 頭 試 問			9月1日（火）	専門的知識ならびに大学院における研究計画，持参した設計製図の作品等についての試問	口頭試問Ⅱにより実施 設計製図の作品（図面）を持参すること

【外部テストのスコアシートの取扱い】

- ・スコアシートは原本を出願時に提出してください。提出できない場合は，7月28日（火）必着で下記の専攻問合せ先まで簡易書留郵便にて郵送してください。
- ・スコアシートは原則として返却しませんが，特に希望があれば返却の対応をします。希望する場合は，原本とコピーの両方及び簡易書留の返信用封筒（切手貼付）を下記の専攻問合せ先まで送付してください。

【専門科目】

専門科目名：D：建築学（共通・建築デザインコース），E：建築学（共通・建築学コース）

本専攻の専門科目は志望するコース毎に異なります。志願者は選択したコースの問題について解答してください。

【口頭試問受験資格者の発表】

8月28日（金）12時頃大岡山キャンパス「なごみの広場」（附属図書館の先）で掲示により発表します。また，同日13時頃より，本学ホームページ（新着入試情報）にも掲載します。

【過去の筆答試験問題の公表】

ホームページで公表 <http://www.arch.titech.ac.jp/>

【記載内容に関する問い合わせ先】

〒152-8550 東京都目黒区大岡山 2-12-1 M1-29

東京工業大学大学院 理工学研究科 建築学専攻長 竹内 徹（MAIL：g-chair@arch.titech.ac.jp）

指導教員及びその研究分野一覧

建築学専攻

本専攻で指導教員となる教員一覧（建築デザインコース）

指 導 教 員		研 究 分 野	備 考
准教授	山崎 鯛介	建築史	D
准教授	村田 涼	環境建築, 建築設計, 建築計画	D
教 授	奥山 信一	建築意匠, 建築設計, 図学, 建築論	D
教 授	塚本 由晴	建築意匠, 建築設計	D
教 授	安田 幸一	建築意匠, 建築設計, 建築計画	D

本専攻で指導教員となる教員一覧（建築学コース）

指 導 教 員		研 究 分 野	備 考
教 授	藤井 晴行	建築計画, 建築環境	E
教 授	時松 孝次	地盤地震工学, 建築基礎構造, 地震防災	E
准教授	田村 修次	建築基礎構造, 地盤地震工学	E
教 授	竹内 徹	建築構造設計, 鋼構造, 構造デザイン	E
准教授	堀田 久人	建築構造	E
准教授	五十嵐 規矩夫	建築構造, 鋼構造	E
教 授	坂田 弘安	鉄筋コンクリート構造, 木質構造	E
准教授	湯浅 和博	建築設備, 環境工学, エネルギー	E
教 授	横山 裕	建築材料, 構法	E
教 授	宮本 文人	建築計画	E
准教授	斎尾 直子	建築計画, 都市計画, 農村計画	E
准教授	○鍵 直樹	建築環境	E 情報環境学専攻
教 授	○大佛 俊泰	建築計画, 都市計画	E 情報環境学専攻
准教授	○三上 貴正	建築材料, 構法	E 情報環境学専攻

1. ○印を付してある指導教員は、備考欄の専攻等を本務とする併任教員ですが、他の教員と同様に志望できます。

国際開発工学専攻

専攻の詳細についてはこちらをご覧ください。 <http://www.ide.titech.ac.jp/ja/>

【取得できる学位】

修士（工学又は学術）

【併願】

本専攻を第1志望としたときに他の専攻と併願して出願することはできません。

【志望理由書のテーマ等】

志望研究室・研究分野など本専攻に対する志望理由を1,000字程度にまとめたもの。

【出願にあたっての注意】

教育上の配慮から、教員あたりの合格者数が制限される場合があります。

【試験実施日程等】

試験区分			試験日	試験内容等	備考	
A日程	口述試験		7月29日(水) ～8月5日(水)	学力ならびに適性に関する試問	試験実施日は、受験票発送時に通知します。	
B日程	筆答試験	外国語科目	英語	筆答試験を実施しません。	本学の指定する英語外部テストのスコアシートを利用します。	詳細は【外部テストのスコアシート】の取扱い】参照
			日本語	実施しません。		
		専門科目	国際開発工学	8月19日(水) 9:30～12:30	下記より4問の選択 1. 国際開発に関する基礎知識 2. 微分積分学 3. 線形代数学 4. 確率・統計 5. 力学 6. 電気磁気学 7. 熱力学	
	口頭試問		8月26日(水) 9:00～	志望分野および適性に関する試問	口頭試問Ⅰにより実施	

【外部テストのスコアシートの取扱い】

- ・スコアシートは原本を出願時に提出してください。提出できない場合は、7月8日（水）までに下記の専攻問合せ先まで簡易書留郵便にて郵送してください。（必着）
- ・一度提出したスコアシートの差し替えは一切認めません。
- ・スコアシートの原本は、コピーを取った後、返却いたします。

【専門科目】

専門科目名：国際開発工学

【口頭試問受験資格者の発表】

8月24日（月）12時頃大岡山キャンパス内石川台4号館入口に掲示により発表します。また、同日13時頃より、本専攻ホームページ（<http://www.ide.titech.ac.jp/ja/>）にも掲載します。

【過去の筆答試験問題の公表】

ホームページで公表 <http://www.ide.titech.ac.jp/ja/>

【記載内容に関する問い合わせ先】

〒152-8550 東京都目黒区大岡山2-12-1-I4-2 東京工業大学大学院理工学研究科国際開発工学専攻 中崎清彦
TEL 03-5734-3169, FAX 03-5734-3169, E-MAIL nakasaki@ide.titech.ac.jp

指導教員及びその研究分野一覧

国際開発工学専攻

本専攻で指導教員となれる教員一覧

指 導 教 員		研 究 分 野	備 考
教 授	日野出 洋文	固体無機化学, 環境触媒工学	
准教授	花岡 伸也	交通計画学, 開発途上国プロジェクト	
准教授	阿部 直也	環境経済学, 開発経済学	
連携教授	佐々木 正和	化学工学物性, プロセス合成	連携講座 ((株)東洋エンジニアリング)
連携教授	松川 圭輔	プロジェクトマネジメント, 建設材料	連携講座 ((株)千代田化工建設)
教 授	神田 学	都市気象学, 大気環境学	
准教授	高木 泰士	海岸工学, 防災工学	
教 授	高田 潤一	無線通信工学, 電磁波工学, ICTと開発	
准教授	山下 幸彦	画像認識, パターン認識, 情報処理と開発	
教 授	中崎 清彦	環境生物工学, 生物化学工学	
准教授	江頭 竜一	分離・精製工学	
教 授	高橋 邦夫	物性理論, 材料科学, 加工プロセス	
准教授	秋田 大輔	航空宇宙システム, 流体力学	
教 授	山口 しのぶ	教育とIT, 国際開発と協力, 世界文化遺産地域開発	協力講座 (学術国際情報センター)

本専攻で指導教員となれない教員一覧 (他専攻が本務の併任教員, 定年・海外出張など)

指 導 教 員		研 究 分 野	備 考
連携教授	※角田 学	国際開発・国際協力 (高等教育・技術教育・科学技術), 土木工学	連携講座 ((独)国際協力機構)

1. ※印を付してある指導教員は、本務先の都合で志願できません。

原子核工学専攻

専攻の詳細についてはこちらをご覧ください。 <http://www.ne.titech.ac.jp/>

【取得できる学位】

修士（工学又は学術）

【併願】

本専攻を第1志望としたときに併願できる専攻の組み合わせについては下記の通りです。

（第1志望：原子核工学，第2志望：応用化学）

（第1志望：原子核工学，第2志望：化学工学）

（第1志望：原子核工学，第2志望：環境理工学創造）

（第1志望：原子核工学，第2志望：創造エネルギー）

【志望理由書のテーマ等】

本専攻を志望した理由，本専攻で学びたいこと，指導教員と行いたい研究分野についての志望理由を1，000字程度にまとめたもの。

【出願にあたっての注意】

本専攻の入学試験では原子核工学を学ぶに十分な基礎的学力と勉学意欲を考查する。具体的には、

- ・A日程については、志願者の応募書類により学業成績を総合評価し、優れていると判断される受験者に対して、口述試験により基礎知識、卒業研究やゼミについての発表と適性や勉学意欲の評価を加えて総合評価する。
- ・B日程については、学力の確認を目的とするが、原子核工学が理学・工学に広く基礎をおく工学であること、ならびに本学学部に原子力関連学科がなく受験生の出身学科が多岐にわたることから、全ての受験生が自ら得意とする分野を選ぶように多数の問題を出題して受験者に選択・解答させる。また、他専攻の出題する専門科目から、出身または所属学科の分野に近い専門科目を受験しても構わない。なお、異なる専門科目を受験した受験者については各専門科目受験者の母集団の中での相対評価を基本とし、受験者数、得点分布なども考慮して判定する。筆答試験の学力上位者に対して口頭試問により卒業研究やゼミについての発表と適性や勉学意欲の評価を加えて総合評価する。
- ・合否判定にあたってはA日程、B日程のいずれの場合でも総合評価結果が基本であるが、受験者が希望する分野の収容能力も考慮して判定する。

【試験実施日程等】

試験区分				試験日	試験内容等	備考
A日程	口述試験			7月29日（水） ～8月5日（水）	基礎知識、卒業研究やゼミの内容、適性や勉学意欲などに関する試問	英語外部テストのスコアシートを利用します。詳細は【外部テストのスコアシートの取扱い】参照 試験実施日は、受験票発送時に通知します。
	B日程	筆答試験	外国語科目 英語	筆答試験を実施しません。	本学の指定する英語外部テストのスコアシートを利用します。	詳細は【外部テストのスコアシートの取扱い】参照
			日本語	実施しません。		
		筆答試験	専門科目 原子核工学	8月19日（水） 9:30～11:00 13:30～15:00	午前：数学、物理学、化学の基礎的な問題3問から1問選択解答 午後：原子核工学、物理学、化学、機械工学、電気電子工学、化学工学、材料工学の7問から1問選択解答	
			口頭試問	9月3日（木）	卒業研究やゼミの内容、適性や勉学意欲などに関する試問	口頭試問Ⅱにより実施

【外部テストのスコアシートの取扱い】

スコアシートは原本を必ず出願時に提出してください。出願受付締切後の提出は一切認めません。なお、原本は返却しません。

【専門科目】

専門科目名：原子核工学

なお、これに代えて、下記のいずれかの専門科目を受験することができます。

化学、化学工学、電気電子工学・電子物理学、化学環境学、創造エネルギー

【口頭試問受験資格者の発表】

8月28日（金）12時頃大岡山キャンパス「なごみの広場」（附属図書館の先）で掲示により発表し、同日13時頃より、本学ホームページ（新着入試情報）にも掲載します。また、口頭試問受験資格者への案内を本専攻ホームページに掲載します。

【過去の筆答試験問題の公表】

ホームページで公表 <http://www.ne.titech.ac.jp/>

【記載内容に関する問い合わせ先】

〒152-8550 東京都目黒区大岡山 2-12-1-N1-8

東京工業大学大学院理工学研究科 原子核工学専攻事務 TEL：03-5734-3054

指導教員及びその研究分野一覧

原子核工学専攻

本専攻で指導教員となれる教員一覧

指 導 教 員		研 究 分 野	備 考
准教授	○赤塚 洋	プラズマ理工学, プラズマ分光学, プラズマ内の原子分子過程, 希薄流体工学	創造エネルギー専攻専任
准教授	○飯尾 俊二	プラズマ理工学, レーザー計測, 核融合学, プラズマ計測, トカマク実験, 応用電磁気学	創造エネルギー専攻専任
教 授	井頭 政之	中性子物理学, 原子核物理学, 物質変換工学, 放射性核種利用システム設計	
教 授	○小栗 慶之	重イオン慣性核融合に関連するビーム・プラズマ相互作用と加速器工学, イオンビームの環境科学・材料科学・医用工学への応用	創造エネルギー専攻専任
教 授	小原 徹	革新的原子炉概念 (小型原子炉, 高温ガス炉, 鉛冷却高速炉, CANDLE 炉), 原子炉の受動安全, 臨界安全過渡解析, 原子炉物理学	
准教授	○加藤 之貴	エネルギーシステム, エネルギー工学, エネルギー変換・貯蔵・輸送, ケミカルヒートポンプ, 水素エネルギー, 燃料電池, 炭素循環型エネルギーシステム	環境理工学創造専攻専任
准教授	木倉 宏成	原子力安全工学, 計測工学, 原子炉診断工学, 原子炉プロセス制御, 革新的軽水炉システム及び高速増殖炉システムの安全機能	
教 授	小林 能直	原子炉安全金属工学, 相安定性, 炉心材料劣化, 廃棄物処理	
准教授	相楽 洋	核不拡散・核セキュリティ・核安全(3S), 核拡散抵抗性の高い原子力システム, 核のゴミ低減を目指した原子炉(核変換工学), 核物質の非破壊測定手法の研究(放射線工学), 原子炉物理, 数値解析	
准教授	鷹尾 康一郎	核燃料サイクル, アクチノイド化学, イオン液体, 放射性廃棄物処理・処分, 除染, 錯体触媒, 核種分離, 原子炉水化学	
教 授	高橋 実	高速炉工学 (鉛冷却炉), 原子炉熱工学 (沸騰, 二相流, 数値解析), 液体金属工学 (Li, Pb 合金), 原子炉材料, 核融合炉ブランケット工学	
教 授	○竹下 健二	核燃料サイクル工学 (同位体分離, 再処理, 廃棄物処理), 分離工学 (抽出, イオン交換), 機能性材料工学, 環境・リサイクル工学 (貴金属回収, LCA)	環境理工学創造専攻専任
教 授	千葉 敏	核反応基礎工学, 核反応利用システムとしての原子力および関連分野, 核反応機構, 核反応シミュレーション, 粒子線輸送シミュレーション, 核データ, 宇宙核物理学	
准教授	塚原 剛彦	核燃料サイクル, レアアース・アクチノイド化学, 放射性廃棄物地層処分, マイクロ・ナノ化学, 機能性高分子, 極微量分析, 極限環境下の溶液化学 (超臨界, 過冷却, ナノ間隙)	
准教授	筒井 広明	プラズマ物理 (平衡, 安定性, 輸送), 核融合工学 (磁場設計, 制御), 超伝導磁気エネルギー貯蔵	
准教授	林崎 規託	加速器物理学, 高周波電磁気学, ビームシミュレーション, がん治療用・環境用加速器, ホウ素中性子捕捉がん治療 (BNCT) システム	
准教授	○松本 義久	放射線生物学, 分子生物学・生化学, がん放射線治療, 放射線感受性, DNA損傷 (二重鎖切断), DNA修復, 低線量・低線量率放射線	創造エネルギー専攻専任
教 授	矢野 豊彦	耐苛酷環境材料科学, セラミックスの中性子照射損傷, 格子欠陥と固体物性, セラミックス基複合材料, ナノコンポジット	材料工学専攻併任
連携教授	船坂 英之	次世代型燃料サイクル工学 (先進湿式再処理技術, 簡素化燃料製造技術), MA 分離工学 (溶媒抽出法, 抽出クロマトグラフィ法)	
連携教授	原田 秀郎	核データ, 核変換, 放射線計測, ガンマ線分光, 応用核物理, 核燃料計量技術	
連携教授	小山 真一	核燃料工学, 放射化学, 分析化学, アクチノイド分析, 照射後試験技術, 先進オリエンタサイクル	
連携教授	石原 正博	材料工学, 黒鉛および耐熱セラミックスの照射挙動, 材料挙動のモデリング, 原子炉構造工学, 高温ガス炉, 革新炉	
連携准教授	竹内 正行	核燃料サイクル, 再処理工学, 腐食科学, 材料工学, 分析化学	

1. ○印を付してある指導教員は、備考欄の専攻等を本務とする併任教員ですが、他の教員と同様に志望できます。

本専攻では指導教員となれない教員一覧 (他専攻が本務の併任教員, 定年・海外出張など)

指 導 教 員		研 究 分 野	備 考
教 授	*池田 泰久	アクチノイド化学, 核燃料サイクル関連化学 (再処理, 核種分離), グリーン媒体 (超臨界流体, イオン液体) の放射性廃棄物処理への応用研究, マイクロ・ナノ場分離化学, 放射性廃棄物地層処分	平成 28 年 3 月定年
教 授	*小澤 正基	核燃料サイクル, PUREX 再処理工学, プルトニウム・放射分離化学, 元素変換・分離・利用工学, 原子力レアメタル, 核・資源地政学, 核セキュリティ	平成 28 年 3 月定年

1. ※印を付してある指導教員は、定年、海外出張等のため今回は志望できません。

(このページは落丁ではありません。)

生命理工学研究科

分子生命科学専攻

専攻の詳細についてはこちらをご覧ください。 <http://www.bio.titech.ac.jp/grad/specialty/ls/index.html>

【取得できる学位】

修士（理学）

【併願】

本専攻を第1志望としたときに併願できる専攻の組み合わせについては下記の通りです。

（第1志望：分子生命科学，第2志望：生体システム）

（第1志望：分子生命科学，第2志望：生命情報）

（第1志望：分子生命科学，第2志望：生物プロセス）

（第1志望：分子生命科学，第2志望：生体分子機能工学）

【志望理由書のテーマ等】

志望研究室・研究分野など本専攻に対する志望理由を1,000字程度にまとめてください。

【出願にあたっての注意】

- ・出願に際しては、事前に志望指導教員に必ず連絡してください。
- ・教育上の配慮から教員あたりの合格者数を制限する場合があります。また、最終的な可否及び指導教員の決定にあたっては、口述試験または筆答試験成績と口頭試問により総合的に判断します。

【試験実施日程等】

試 験 区 分				試験日	試験内容等	備考
A日程	口 述 試 験			7月29日（水） ～8月5日（水）	専門的知識の試問（英語力に関しての試問を含む），学士論文内容及び修士課程での研究計画についての試問	試験実施日は，受験票発送時に通知します。
B日程	筆 答 試 験	外国語科目	英 語	筆答試験を実施しません。	本学の指定する英語外部テストのスコアシートを利用します。	詳細は【外部テストのスコアシートの取扱い】参照
			日 本 語	実施しません。		
		専門科目	分子生命科学	8月19日（水） 13:30～16:00	専門分野1）物理化学，2）有機化学，3）生化学と分子生物学の3分野から各2題出題し，このうち4題を選択解答	
	口 頭 試 問			8月24日（月）	学士論文研究等の内容及び修士課程での研究計画を中心とした試問	口頭試問Ⅰにより実施

【外部テストのスコアシートの取扱い】

スコアシートは出願時に提出しないで下さい。提出は以下の通りとします。

①提出時期について

- 1）8月18日（火）必着にてスコアシートのコピーまたは原本を，下記の問い合わせ先に簡易書留で郵送すること。
- 2）1）が不可能な場合は，8月19日（水）の筆答試験の際にスコアシートのコピーまたは原本を持参し，試験開始前に試験監督者に提出すること。
- 3）1）または2）でスコアシートのコピーを提出した場合には，原本は8月24日（月）に実施する口頭試問の際に持参し，試験開始前に面接担当者に提出すること。

②その他

- ・一度提出したスコアシートの差し替えは一切認めません。
- ・B日程の場合，いかなる理由でもスコアシートを提出できなかった場合は合格者にはなりません。
- ・提出したスコアシートは，確認したうえ口頭試問終了時に返却します。

【専門科目】

専門科目名：分子生命科学

【口頭試問受験資格者の発表】

筆答試験受験者全員に口頭試問を行います。本専攻を第1志望とする受験者は，口頭試問当日の9時00分までに，本学すずかけ台キャンパスB2棟2階225講義室に集合してください。なお，本専攻を第2志望とする受験者は14時30分までに，B2棟2階225講義室に集合してください。

【過去の筆答試験問題の公表】

ホームページで公表しています。 <http://www.bio.titech.ac.jp/exam/grad/ls.html>

【記載内容に関する問い合わせ先】

〒226-8501 横浜市緑区長津田町 4259-B-70
東京工業大学大学院・生命理工学研究科
生命事務グループ・分子生命科学専攻事務
TEL：045-924-5943

指導教員及びその研究分野一覧

分子生命科学専攻

本専攻で指導教員となれる教員一覧

指 導 教 員		研 究 分 野	備 考
教 授	一瀬 宏	分子神経生物学 (モノアミンニューロンの分化・発達・老化の分子機構および病態との関連)	
教 授	村上 聡	蛋白質結晶学, 構造生物学 (膜輸送体の構造と機能, 膜タンパク質の結晶化と構造解析および構造に基づく機能解析)	
教 授	湯浅 英哉	生物有機化学, 発光イメージングとセンサー, 光線力学治療	
教 授	梶原 将	分子微生物学 (病原微生物の感染機構解明と分子診断, 微生物による未利用資源の再生)	
准教授	長田 俊哉	バイオナノサイエンス (細胞生物学, 匂いやフェロモンの化学受容, 神経細胞の発生と再生)	
准教授	清尾 康志	生物有機化学 (DNA 合成技術の開発, ゲノム診断技術の開発, 核酸の分子認識)	
准教授	林 宣宏	生物物理学, 分子生物学 (疾患プロテオミクス, 細胞の刺激応答のメカニズムの解明, 抗体をプロトタイプとして用いる機能分子の開発)	
准教授	大窪 章寛	生物有機化学 (転写およびスプライシング過程を制御・観察する新規薬剤やイメージング分子の開発)	
教 授	○久堀 徹	植物生化学 (生体膜とエネルギー変換系, 光合成装置の活性調節と分子機構)	化学環境学専攻
准教授	○若林 憲一	細胞生理学, 生化学 (真核生物鞭毛の運動調節, 緑藻類の走光性調節の分子機構)	化学環境学専攻
講 師	○相澤 康則	ヒト細胞ゲノム科学 (レトロポゾンやノンコーディング遺伝子の機能解析, ゲノムワイドな遺伝子機能解析の新規方法論の創成)	バイオ研究基盤支援総合センター

1. ○印を付してある指導教員は、備考欄の専攻等を本務とする併任教員ですが、他の教員と同様に志望できます。

本専攻では指導教員となれない教員一覧 (他専攻が本務の併任教員, 定年・海外出張など)

指 導 教 員		研 究 分 野	備 考
連携教授	※平尾 一郎	合成生物学, 分子生物化学 (遺伝情報の拡張システム, 核酸創薬, 機能性核酸の開発)	平成 28 年 3 月任期満了 (理化学研究所所属)

1. ※印を付してある指導教員は、定年、海外出張等のため今回は志望できません。

生体システム専攻

専攻の詳細についてはこちらをご覧ください。 <http://www.bio.titech.ac.jp/grad/specialty/bs/index.html>

【取得できる学位】

修士（理学）

【併願】

本専攻を第1志望としたときに併願できる専攻の組み合わせについては下記の通りです。

（第1志望：生体システム，第2志望：分子生命科学）

（第1志望：生体システム，第2志望：生命情報）

（第1志望：生体システム，第2志望：生物プロセス）

（第1志望：生体システム，第2志望：生体分子機能工学）

【志望理由書のテーマ等】

現在進めている研究あるいは興味を持っている問題について1,000字程度でわかりやすく記述すること。

【出願にあたっての注意】

出願に際しては、事前に志望指導教員に必ず連絡すること。

【試験実施日程等】

試 験 区 分				試験日	試験内容等	備考
A日程	口 述 試 験			7月29日（水）～ 8月5日（水）	専門的知識，学士論文内容，または興味をもっているテーマ及び修士課程での研究計画について試問 英語力は外部テストのスコアシートで判断	・試験実施日は，受験票発送時に通知します。 ・詳細は【外部テストのスコアシートの取扱い】参照
B日程	筆答試験	外国語科目	英 語	筆答試験を実施しません。	本学の指定する英語外部テストのスコアシートを利用します。 英語外部テストのスコアは200点満点に換算します。	詳細は【外部テストのスコアシートの取扱い】参照
			日 本 語	実施しません。		
		専門科目	生体システム	8月19日（水） 13:30～16:30	専門分野（500点満点） 生化学・分子生物学・生物学から5題， 物理化学から1題，有機化学から1題のうち5題を選択解答	
			口 頭 試 問			8月24日（月）

【外部テストのスコアシートの取扱い】

- ・スコアシートは原本を出願時に提出してください。出願時に提出できない場合，A日程受験者は口述試験当日，B日程受験者は筆答試験（専門科目）当日，それぞれ試験開始前までにスコアシートの原本を提出してください。
- ・一度提出されたスコアシートの差し替えは一切認めません。
- ・提出されたスコアシート（原本）は返却しません。

【専門科目】

専門科目名：生体システム

【口頭試問受験資格者の発表】

筆答試験受験者全員に口頭試問を行います。本専攻を第1志望とする受験者は，口頭試問当日の9時00分までに，本学すずかけ台キャンパスB2棟2階221講義室に集合してください。なお，本専攻を第2志望とする受験者は14時30分までに，B2棟2階221講義室に集合してください。

【過去の筆答試験問題の公表】

ホームページで公表 <http://www.bio.titech.ac.jp/exam/grad/bs.html>

【記載内容に関する問い合わせ先】

東京工業大学生命理工事務グループ（TEL：045-924-5944）

指導教員及びその研究分野一覧

生体システム専攻

本専攻で指導教員となる教員一覧

指 導 教 員		研 究 分 野	備 考
教 授	駒田 雅之	細胞生物学・疾患分子生物学 (タンパク質ユビキチン化による細胞機能の制御とその破綻による疾患発症の分子機構)	
准教授	中村 信大	分子生物学・細胞生物学 (心臓や腎臓の構造形成や維持に働く情報伝達機構, ユビキチン化を介した細胞小器官の機能調節)	
教 授	岩崎 博史	分子遺伝学・分子生物学 (ゲノム情報の安定維持に関わる分子メカニズム, 特に相同組換えやDNA修復の分子機構)	
准教授	中戸川 仁	分子細胞生物学・生化学 (細胞内大規模分解・リサイクルシステム<オートファジー>における膜新生および標的認識の分子メカニズム)	
教 授	木村 宏	エピジェネティクス・細胞生物学 (クロマチン修飾と遺伝子発現制御, 染色体・細胞核の機能と構造)	
講 師	梶川 正樹	分子生物学・細胞生物学 (転移因子とゲノム進化に関する研究)	
教授	本郷 裕一	分子生態学 (動物と微生物, または微生物間の共生の分子生物学, 環境微生物群集のゲノム科学)	
准教授	二階堂 雅人	分子進化生物学 (脊椎動物の進化多様性を生み出す分子メカニズムの研究)	
教 授	太田 啓之	植物生理学・植物生化学・植物分子生物学 (葉緑体の形成, 機能, 進化, 植物・藻類のゲノム情報を駆使したホルモン情報伝達機構解明, 油脂生産制御)	
准教授	下嶋 美恵	植物分子生物学・植物生化学 (環境ストレスに応答した植物脂質転換メカニズムの解明, 植物油脂生産)	
准教授	田中 幹子	発生生物学 (脊椎動物のボディプランとその進化及び制御機構)	
准教授	○増田 真二	植物分子生物学・光生物学・生物物理学 (光合成反応の調節機構, 光合成生物の環境適応の分子機構, 光受容体のシグナル伝達機構)	バイオ研究基盤支援総合センター
准教授	○鈴木 崇之	神経生物学・発生生物学 (神経回路網形成とシナプス結合特異性の分子メカニズムの解明)	共通バイオフロンティア講座
教 授	○田中 寛	細胞生物学 (葉緑体・ミトコンドリアー核相互作用, 光合成機能統御, 細胞周期), 植物分子生物学, 微生物学 (バクテリアの細胞統御機構)	資源化学研究所

1. ○印を付してある指導教員は, 備考欄の専攻等を本務とする併任教員ですが, 他の教員と同様に志望できます。

生命情報専攻

専攻の詳細についてはこちらをご覧ください。 <http://www.bio.titech.ac.jp/grad/specialty/bi/index.html>

【取得できる学位】

修士（理学又は工学）

【併願】

本専攻を第1志望としたときに併願できる専攻の組み合わせについては下記のとおりです。

（第1志望：生命情報専攻，第2志望：分子生命科学専攻）

（第1志望：生命情報専攻，第2志望：生体システム専攻）

（第1志望：生命情報専攻，第2志望：生物プロセス専攻）

（第1志望：生命情報専攻，第2志望：生体分子機能工学専攻）

【志望理由書のテーマ等】

志望研究室・研究分野など本専攻に対する志望理由を1，000字程度にまとめたもの。

【出願にあたっての注意】

・出願に際しては，事前に志望指導教員に必ず連絡すること。

【試験実施日程等】

試験区分				試験日	試験内容等	備考
A日程	口述試験			7月29日（水）～ 8月5日（水）	専門的知識，学士論文研究等の内容， 及び修士課程での研究計画についての 試問	試験実施日は，受験票発送時 に通知します。 英語外部テストのスコアシ ートを利用します。詳細は 【外部テストのスコアシ ートの取扱い】参照
	B日程	筆 答 試 験	外国語科目 英 語	筆答試験を実施しま せん。	本学の指定する英語外部テストのスコ アシートを利用します。	詳細は【外部テストのスコ アシートの取扱い】参照
			日 本 語	実施しません。		
		専門科目	生 命 情 報	8月19日（水） 13:30～16:00	生化学・分子生物学・生物学から4題， 物理化学から2題，バイオインフォマ ティクスから2題の合計8題出題し， このうち4題を選択解答 400点満点	
			口 頭 試 問	8月24日（月）	学士論文研究等の内容及び修士課程で の研究計画を中心とした試問	口頭試問Ⅰにより実施

【外部テストのスコアシートの取扱い】

スコアシートは原本を出願時に提出してください。提出できない場合は，以下の通りとします。

A日程口述試験当日又はB日程筆答試験（専門科目）当日にスコアシートの原本を持参してください。

【専門科目】

専門科目名：生命情報

【口頭試問受験資格者の発表】

筆答試験受験者全員に口頭試問を行います。本専攻を第1志望とする受験者は，口頭試問当日の9時00分までに，本学すずかけ台キャンパスB2棟5階生命科学科セミナー室（525号室）に集合してください。なお，第2志望とする受験者は14時30分までに，本学すずかけ台キャンパスB2棟5階生命科学科セミナー室（525号室）に集合してください。

【過去の筆答試験問題の公表】

ホームページで公表 <http://www.bio.titech.ac.jp/exam/grad/bi.html>

【記載内容に関する問い合わせ先】

〒226-8503 横浜市緑区長津田町 4259 B-70

東京工業大学生命理工事務グループ

生命情報専攻事務担当（TEL：045-924-5944）

指導教員及びその研究分野一覧

生命情報専攻

本専攻で指導教員となれる教員一覧

指 導 教 員		研 究 分 野	備 考
教 授	条 昭苑	再生医学, 創薬, 幹細胞生物学, 発生生物学, 分子生物学, 代謝制御, アミノ酸代謝, ヒト iPS 細胞, 試験管内再構成, 細胞工学	
講 師	小寺 正明	ケモインフォマティクス, バイオインフォマティクス	
准教授	立花 和則	動物学, 分子生物学 (幹細胞からの卵形成, 生殖関連の時間生物学)	
教 授	山口 雄輝	生化学, 遺伝学, 分子生物学 (ゲノム情報発現機構, RNA代謝, エピジェネティクス)	
准教授	白木 伸明	ES/iPS 細胞分化, レギュラトリーサイエンス, 代謝制御, アミノ酸代謝	
准教授	川上 厚志	発生遺伝学, 再生生物学 (小型魚類をモデルとした発生, 組織再生, 組織ホメオスタシスの分子的な制御機構)	
教 授	伊藤 武彦	ゲノム情報学 (主に高等真核生物を対象としたゲノム情報学), バイオインフォマティクス (ゲノムからの遺伝子予測などの知識発見)	
教 授	黒川 顕	ゲノム科学, メタゲノム科学 (ヒトメタゲノム解析および環境メタゲノム解析), ゲノム微生物学, バイオインフォマティクス, ゲノムなどの生命情報解析による新規知識発見	
准教授	中島 信孝	細菌の代謝工学, RNA工学, 合成生物学	
講 師	山田 拓司	ゲノム/メタゲノムデータ解析, 代謝パスウェイ解析, バイオインフォマティクス	
教 授	徳永 万喜洋	生物物理学, 細胞を観る・計る・創る, 1 分子イメージングと計測, 分子システム生物学: 細胞の in silico 再現, 免疫細胞の活性化機構	

本専攻で指導教員となれない教員一覧 (他専攻が本務の併任教員, 定年・海外出張など)

指 導 教 員		研 究 分 野	備 考
教 授	☆小島 英理	超タンパク質材料工学, 細胞機能制御タンパク質, バイオ計測タンパク質, 細胞・組織工学, バイオセンシングシステム, 生物工学	化学環境学専攻
教 授	※工藤 明	細胞生物学 (メカニカルストレスの制御機構, 骨形成の制御機構), 発生生物学 (魚類をモデルとした器官形成と再生)	平成 29 年 3 月定年
准教授	※十川 久美子	生物物理学, 分子生物学 (シグナル伝達の細胞内蛍光 1 分子イメージング)	平成 29 年 3 月定年
連携准教授	※田中 元雅	神経科学, 構造生物学, 遺伝学 (神経変性・精神疾患の病態解明と治療薬の開発)	平成 28 年 3 月任期満了 理化学研究所
連携准教授	※村山 正宜	脳科学, 神経生理学	平成 28 年 3 月任期満了 理化学研究所

1. ☆印を付してある指導教員を志望するものは, 備考欄に記載されている専攻で出願してください。
2. ※印を付してある指導教員は, 定年, 海外出張等のため今回は志望できません。

生物プロセス専攻

専攻の詳細についてはこちらをご覧ください。 <http://www.bio.titech.ac.jp/out/information/grad/b/index.html>

【取得できる学位】

修士（工学）

【併願】

本専攻を第1志望としたときに併願できる専攻の組み合わせについては下記の通りです。

（第1志望：生物プロセス，第2志望：分子生命科学）

（第1志望：生物プロセス，第2志望：生体システム）

（第1志望：生物プロセス，第2志望：生命情報）

（第1志望：生物プロセス，第2志望：生体分子機能工学）

【志望理由書のテーマ】

志望研究室・研究分野など本専攻に対する志望理由を1,000字程度にまとめたもの。

【出願に当たっての注意】

- ・出願に際しては、事前に志望指導教員に必ず連絡すること。
- ・教育上の配慮から、教員あたりの合格者数が制限される場合があります。また、可否及び指導教員の決定に当たっては、口述試験または筆答試験成績と口頭試問により総合的に判定します。

【試験実施日程等】

試 験 区 分				試験日	試験内容等	備考
A 日 程	口述試験			7月29日（水） ～8月5日（水）	専門的知識，学士論文研究等の内容及び 修士課程での研究計画についての試問	試験実施日は，受験票発送時に 通知します。
	B 日 程	筆 答 試 験	外 国 語 科 目	英 語	8月18日（火） 14:00～15:00	筆答試験を実施します。（科学論文等の 読解，作文）
			日 本 語	実施しません。		
		専 門 科 目	生 物 プ ロ セ ス	8月19日（水） 9:30～11:00 13:30～15:00	午前：専門科目 1 物理化学，有機化学の2分野から 出題し，全問解答 午後：専門科目 2 生物化学，生物工学の2分野から 出題し，全問解答	
口 頭 試 問				8月24日（月）	学士論文研究等の内容及び修士課程で の研究計画を中心とした試問	口頭試問Ⅰにより実施

【専門科目】

専門科目名：生物プロセス

【口頭試問受験資格者の発表】

筆答試験受験者全員に口頭試問を行います。本専攻を第1志望とする受験者は，口頭試問当日の9時00分までに，本学すずかけ台キャンパスB2棟4階426大会議室に集合してください。

なお，本専攻を第2志望とする受験者は14時30分までに，本学すずかけ台キャンパスB2棟4階426大会議室に集合してください。

【過去の筆答試験問題の公表】

専門科目のみホームページで公表 <http://www.bio.titech.ac.jp/out/information/exam/exm-b.html>

【記載内容に関する問い合わせ先】

東京工業大学生命理工事務グループ（TEL：045-924-5946）

指導教員及びその研究分野一覧

生物プロセス専攻

本専攻で指導教員となれる教員一覧

指 導 教 員		研 究 分 野	備 考
教 授	中村 聡	タンパク質工学, 遺伝子工学, 進化分子工学, 極限環境微生物, 極限酵素, ゲノム解析とゲノム情報の利用, タンパク質の極限環境適応機構	
教 授	福居 俊昭	遺伝子工学, ゲノム工学, 代謝工学, 応用微生物学, 極限環境微生物, 超好熱菌の特性と高温環境適応, 環境低負荷型素材の微生物生産	
教 授	和地 正明	応用微生物学, 細菌の細胞分裂機構の研究, 新規抗生物質の探索, コリネ型細菌を使った物質生産	
准教授	平沢 敬	代謝工学, 微生物学, 微生物細胞を利用した有用物質生産, オミクス解析や合成生物学を活用した微生物育種	
教 授	三原 久和	生物有機化学, ペプチド化学, ペプチド工学, 人工タンパク質, ペプチドライブラリ, ファージ提示ペプチド, バイオチップ	
講 師	松田 知子	生物有機化学, グリーンケミストリー, 超臨界流体工学, 酵素工学, 二酸化炭素の有効利用, 環境にやさしい有機合成, 不斉合成	
教 授	小林 雄一	有機合成化学, 生理活性化合物の合成デザイン, キラル炭素の構築, 高級不飽和脂肪酸の代謝産物, アルカロイド, テルペン, 高極性化合物	
講 師	朝倉 則行	生物物理化学, 生物電気化学, タンパク質電子移動反応, 光エネルギー変換, ボルフィリン類を利用した光励起電子移動反応	
教 授	丹治 保典	生物化学工学, 環境生物工学, バクテリオファージの工学的利用, 排水処理と汚泥の減容化/有効利用, 微生物による金属の腐食	
准教授	蒲池 利章	生物無機化学, 生物工学, 金属タンパク質を利用した有用物質生産, 金属タンパク質の光機能化	
准教授	小倉 俊一郎	分子生物学, 細胞生理工学, がんの代替治療法の開発, がんの診断法の開発, 代謝工学, バイオマーカー, 網羅解析	共通講座
准教授	○廣田 順二	細胞生物工学, 分子神経科学, マウス遺伝子工学・発生工学, 嗅神経系, 神経発生・分化, 分子認識, 人工ゲノムベクターを用いた遺伝子工学	バイオ研究基盤支援総合センター

1. ○印を付してある指導教員は、備考欄の専攻等を本務とする併任教員ですが、他の教員と同様に志望できます。

本専攻では指導教員となれない教員一覧（他専攻が本務の併任教員、定年・海外出張など）

指 導 教 員		研 究 分 野	備 考
連携教授	児島 宏之	発酵生産, バイオ生産プロセスの開発, バイオプロセス基盤技術開発	連携（(株)味の素バイオファイン研究所）

生体分子機能工学専攻

専攻の詳細についてはこちらをご覧ください。 <http://www.bio.titech.ac.jp/out/information/grad/be/index.html>

【取得できる学位】

修士（工学）

【併願】

本専攻を第1志望としたときに併願できる専攻の組み合わせについては下記の通りです。

（第1志望：生体分子機能工学，第2志望：分子生命科学）

（第1志望：生体分子機能工学，第2志望：生体システム）

（第1志望：生体分子機能工学，第2志望：生命情報）

（第1志望：生体分子機能工学，第2志望：生物プロセス）

【志望理由書のテーマ等】

志望研究室・研究分野など本専攻に対する志望理由を1，000字程度にまとめたもの。

【出願にあたっての注意】

- ・出願に際しては，事前に志望指導教員に必ず連絡すること。
- ・教育上の配慮から，教員あたりの合格者数が制限される場合があります。また，可否及び指導教員の決定に当たっては，口述試験，筆答試験成績と口頭試問により総合的に判定します。

【試験実施日程等】

試 験 区 分				試験日	試験内容等	備考
A日程	口 述 試 験			7月29日（水） ～8月5日（水）	専門的知識，学士論文研究等の内容及び修士課程での研究計画についての試問	試験実施日は，受験票発送時に通知します。
B日程	筆 答 試 験	外国語科目	英 語	筆答試験を実施しません。	本学の指定する英語外部テストのスコアシートを利用します。	詳細は【外部テストのスコアシートの手配】参照
			日 本 語	実施しません。		
		専門科目	生体分子機能工学	8月19日（水） 9:30～11:00 13:30～15:30	午前：専門分野Ⅰ（物理化学，有機化学，生物化学）の各分野から1題ずつ，計3題出題し，全題に解答 午後：専門分野Ⅱ（物理化学，有機化学，生物化学）の各分野から1題ずつ，計3題出題し，全題に解答	
			口 頭 試 問			8月24日（月）

【外部テストのスコアシートの取扱い】

- ・スコアシートの原本は，出願時に提出するのではなく，8月18日（火）必着にて下記住所に簡易書留で郵送してください。
- ・一度提出されたスコアシートの差し替えは一切認めません。
- ・提出されたスコアシートは返却しません。

【専門科目】

専門科目名：生体分子機能工学

【口頭試問受験資格者の発表】

筆答試験受験者全員に口頭試問を行います。本専攻を第1志望とする受験者は，口頭試問当日の9時00分までに，本学すずかけ台キャンパスB2棟6階B626会議室に集合してください。

本専攻を第2志望とする受験者は14時30分までに，本学すずかけ台キャンパスB2棟6階B626会議室に集合して下さい。

【過去の筆答試験問題の公表】

ホームページで公表 <http://www.bio.titech.ac.jp/out/information/exam/exm-be.html>

【記載内容に関する問い合わせ先】

生体分子機能工学専攻 専攻長 丸山 厚（TEL：045-924-5840）

《スコアシート送付先》

〒226-8501 横浜市緑区長津田町 4259-B-70

東京工業大学生命理工事務グループ

生体分子機能工学専攻事務（TEL：045-924-5943）

指導教員及びその研究分野一覧

生体分子機能工学専攻

本専攻で指導教員となれる教員一覧

指 導 教 員		研 究 分 野	備 考
教 授	○櫻井 実	生物物理化学, 生体関連化合物の量子化学及び計算機シミュレーション	バイオ研究基盤支援総合センター
教 授	上野 隆史	生物無機化学, 構造生物学, タンパク質結晶化学, タンパク質集合体, ナノバイオ材料	
教 授	田口 英樹	生化学, 分子生物学, 生物物理学, タンパク質の作用機構, 細胞内蛋白質科学, 蛋白質工学	
教 授	丸山 厚	生体機能性材料, ナノバイオテクノロジー, 薬物・遺伝子デリバリーシステム, 遺伝子診断	
准教授	田川 陽一	臓器発生, 再生工学, 発生工学	
教 授	近藤 科江	分子生物学, 細胞生物学, 分子腫瘍学, 生体分子光イメージング, 分子標的・環境標的薬剤開発	
教 授	占部 弘和	医薬, 薬剤, 及び生物活性物質の合成と方法論, 有機化学, 不斉合成, 触媒反応, 環境保全型合成	
准教授	秦 猛志	医薬, 薬剤, 及び生物活性物質の合成と方法論, 有機化学, 不斉合成, 触媒反応, 環境保全型合成	
教 授	金原 数	超分子化学, 生物模倣, ケミカルバイオロジー, タンパク質複合材料, 機能物質化学	
准教授	森 俊明	生物有機化学, 酵素工学, 糖鎖工学, ナノ材料, 超臨界流体中での反応	

1. ○印を付してある指導教員は、備考欄の専攻等を本務とする併任教員ですが、他の教員と同様に志望できます。

本専攻で指導教員となれない教員一覧（他専攻が本務の併任教員、定年・海外出張など）

指 導 教 員		研 究 分 野	備 考
准教授	※大谷 弘之	生物物理化学, 生体系の光化学	平成 29 年 3 月定年
連携教授	※栗原 正明	有機合成化学, 薬品化学	国立医薬品食品衛生研究所 平成 28 年 3 月任期満了

1. ※印を付してある指導教員は、定年、海外出張等のため今回は志望できません。

(このページは落丁ではありません。)

総合理工学研究科

物質科学創造専攻

専攻の詳細についてはこちらをご覧ください。 <http://www.iem.titech.ac.jp/>

【取得できる学位】

修士（理学又は工学）

【併願】

本専攻を第1志望としたときに他の専攻と併願して出願することはできません。

【志望理由書のテーマ等】

次の3つの項目について、それぞれ記述すること（全体で合計1,000字程度）。

1. 大学院への進学動機（400字程度）
2. 志望する教員と研究分野の志望理由（400字程度）
3. 他大学併願の有無（予定も含む）と本専攻の志望順位

【出願にあたっての注意】

教育上の配慮から、教員あたりの指導学生数に制限を設けております。指導教員への配属は、口述試験または筆答試験成績及び口頭試問の結果、並びに本人の希望を考慮して決定されます。

【試験実施日程等】

試 験 区 分				試験日	試験内容等	備考
A日程	口 述 試 験			7月29日（水）～ 8月5日（水）	学力、および適性等	試験実施日は、受験票発送時に通知します。
B日程	筆答試験	外国語科目	英 語	筆答試験を実施しません	本学の指定する英語外部テストのスコアシートを利用します。	詳細は【外部テストのスコアシート の取扱い】参照
			日 本 語	実施しません。		
		専門科目	物質科学創造 （金属材料系）	8月19日（水） 9:30～12:00 13:30～16:00	試験内容等は専攻ホームページの過去問を参照	
			物質科学創造 （無機材料系）			
			物質科学創造 （物理系）			
			物質科学創造 （化学系）	8月19日（水） 9:30～12:30		
		口 頭 試 問			9月1日（火）～ 9月3日（木）	適性等に関する試問

【外部テストのスコアシートの取扱い】

- ・スコアシートは原本を出願時に提出してください。提出できない場合は、8月20日（木）（必着）までに下記の専攻連絡先まで、簡易書留、宅配便等、配達記録が残る形にて送付してください。
- ・スコアシートは原本のみでコピーの提出は認めません。
- ・スコアシートを後日専攻連絡先まで送付する際には、連絡先（E-mail アドレス及び電話番号）を書いた紙を同封し、外部からわかるように「スコアシート在中」と朱書きしてください。
- ・一度スコアシートを提出した後に新たに取得したスコアシートを提出したい場合は、上記の方法で8月20日（木）（必着）までに下記の専攻連絡先まで送付してください。

【専門科目】

専門科目名：物質科学創造（金属材料系）、物質科学創造（無機材料系）、物質科学創造（化学系）、物質科学創造（物理系）

なお、これらに代えて、下記のいずれかの専門科目を受験することができます。

分子生命科学、生体システム、生命情報、生物プロセス、生体分子機能工学、物理電子・物理情報、メカノマイクロ工学

【口頭試問受験資格者の発表】

8月28日（金）12時頃大岡山キャンパス「なごみの広場」（附属図書館の先）で掲示により発表します。また、同日13時頃より、本学ホームページ（新着入試情報）にも掲載します。

【過去の筆答試験問題の公表】

ホームページで公表 <http://www.iem.titech.ac.jp/>

【記載内容に関する問い合わせ先】

〒226-8502 神奈川県横浜市緑区長津田町 4259 J2-50

東京工業大学大学院総合理工学研究科物質科学創造専攻 専攻事務室

TEL: 045-924-5448, FAX: 045-924-5448, E-mail: entrance_exam@iem.titech.ac.jp

指導教員及びその研究分野一覧

物質科学創造専攻

本専攻で指導教員となる教員一覧

指 導 教 員		研 究 分 野	備 考
教 授	吉本 護	薄膜太陽電池・熱発電用の基幹材料，ポリマーのナノ表面機能化とバイオ・電子応用，紫外発光材料開発	
講 師	松田 晃史	ガラスや結晶材料のナノ・原子スケール合成と、構造・形態・挙動の観察評価による次世代電子・エネルギー材料，デバイス応用の探索	
准教授	柘植 丈治	微生物産生ポリエステル，生分解性プラスチックなどの新しいバイオ高分子材料の創製	
教 授	北本 仁孝	磁性ナノ粒子・ナノ構造の作製，スピントロニクスデバイス，ナノバイオデバイスと医療への応用	
准教授	和田 裕之	光学材料／プロセス，光学ナノ粒子の合成・評価・応用，レーザプロセス，バイオマテリアル，がん治療，太陽電池，白色LED	
教 授	舟窪 浩	環境適応無機機能薄膜，熱電材料，振動発電材料，薄膜燃料電池，ナノ構造薄膜の創生とデバイス応用，ナノ構造ダイナミクス	
講 師	三宮 工	プラズモニク材料，光学・磁気機能性金属ナノ材料，バイオセンサ材料の創製，透過型電子顕微鏡手法の開発	
教 授	原 亨和	バイオマス変換触媒，環境低負荷触媒，太陽エネルギー変換材料，太陽電池	
准教授	鎌田 慶吾	高機能固体触媒の設計・合成，環境調和型な実用的化学変換プロセスの創出	
教 授	神谷 利夫	半導体新材料，光電子デバイス（トランジスタ，太陽電池，発光素子），計算材料科学（第一原理計算，デバイスシミュレーション）	
准教授	笹川 崇男	精密試料合成/単結晶・先端量子計測・第一原理計算による超機能の探索・理解・応用（高温超伝導，スピントロニクス，ナノダイヤモンド）	
教 授	細田 秀樹	原子レベルの材料設計による材料開発（形状記憶合金，磁性デバイス，水素吸蔵合金，生体材料，環境・エネルギー材料等）	
准教授	稲邑 朋也	生体用，高温用，磁場駆動用の新しい形状記憶・超弾性材料の設計と高性能化，金属材料の組織評価，結晶学，熱力学的性質の解析	
教 授	東 正樹	磁性・強誘電性・超伝導性などを示す機能性酸化物の設計・合成・機能発現機構解明と，環境調和型材料の開発	
准教授	中村 一隆	レーザ分光，光・プラズマと物質との相互作用，フェムト秒レーザ応用，炭素系（フラーレン等）の反応過程，半導体表面反応	
准教授	長井 圭治	エネルギー変換材料，可視光応答有機光触媒，エアロゲル，低密度材料，カプセル，水処理，レーザ核融合，量子線発生	
准教授	北野 政明	希少元素を用いない触媒材料の開発，アンモニア合成触媒，固体酸塩基触媒	
准教授	多田 朋史	分子デバイス，量子情報，燃料電池，機能性固体材料，計算材料科学（第一原理計算，モンテカルロ計算）	
連携教授	☆近藤 道雄	ナノ結晶，アモルファス・ナノ複合構造などの薄膜シリコン・ゲルマニウム系材料を用いた太陽電池材料の開発とデバイス開発	外部連携 (産業技術総合研究所)
連携教授	☆阿部 英喜	生分解性高分子材料の表面改質による高性能・高機能化技術の開発，新規生分解性高分子素材の合成と評価	外部連携 (理化学研究所)
連携教授	☆山口 孝夫	宇宙での安全性設計・評価技術，宇宙服素材設計及び機能・性能評価	外部連携 (宇宙航空研究開発機構)
連携教授	☆坂田 修身	高輝度シンクロトン X 線の活用，原子配列構造や電子構造の評価，ナノスケール材料，エネルギー変換薄膜材料	外部連携 (物質材料研究機構)
連携教授	☆梶野 勉	光エネルギー変換材料・システムの開発・評価および生体模倣材料	外部連携 (豊田中央研究所)
連携教授	☆田中 拓男	メタマテリアル，プラズモニクスを中心としたナノフォトニクス技術を利用した光計測，光加工，光記録技術の開発	外部連携 (理化学研究所)

1. ☆印を付してある指導教員は，主に博士後期課程の学生を指導対象としているため，志望する場合は必ず出願前に専攻長（舟窪浩教授：funakubo.h.aa@m.titech.ac.jp）に相談してください。
2. 志望教員選択の際の留意事項や詳細な教員情報は，専攻ホームページ（<http://www.iem.titech.ac.jp>）の中の入試案内コーナー及び教員・研究室紹介ページに記載されていますので参考にしてください。

物質電子化学専攻

専攻の詳細についてはこちらをご覧ください。 <http://www.echem.titech.ac.jp/index.html>

【取得できる学位】

修士（理学，工学又は学術）

【併願】

本専攻を第1志望としたときに他の専攻と併願して出願することはできません。

【志望理由書のテーマ等】

現在進めている研究課題あるいは興味を持っている研究課題に関する内容，および志望研究室・研究分野など本専攻に対する志望理由を1，000字程度にまとめたもの。

【出願にあたっての注意】

本専攻は広い分野を含んでいますので，志望する指導教員（複数可）と研究内容を予め相談してから出願することを勧めます。また，教育上の配慮から，教員あたりの指導学生数に制限を設けております。指導教員への配属は，口述試験または筆答試験成績及び口頭試験の結果，並びに本人の希望を考慮して決定されます。

【試験実施日程等】

試験区分				試験日	試験内容等	備考
A日程	口 述 試 験			7月29日（水）～ 8月5日（水）	基礎知識，学士論文研究等の内容及び 修士課程で希望する研究について試 問	試験実施日は，受験票発送時 に通知します。
B日程	筆答試験	外国語科目	英 語	筆答試験を実施しま せん。	本学の指定する英語外部テストのス コアシートを利用します。	詳細は【外部テストのスコ アシート
			日 本 語	実施しません。		の取扱い】参照
		専門科目	物質電子化学	8月19日（水） 9:30～12:30	物理化学（2問）・有機化学（2問） ・無機化学（2問）・生物化学（2問） の合計8問の中から5問選択して解答	
			口 頭 試 問			9月1日（火）～ 9月3日（木）

【外部テストのスコアシートの取扱い】

- ・スコアシートは原本を出願時に提出してください。提出できない場合は，8月20日（木）（必着）までに下記の専攻連絡先まで，簡易書留，宅配便等，配達記録が残る形にて送付してください。
- ・スコアシートは原本のみでコピーの提出は認めません。
- ・スコアシートを後日専攻連絡先まで送付する際には，連絡先（E-mail アドレス及び電話番号）を書いた紙を同封し，外部からわかるように「スコアシート在中」と朱書きしてください。
- ・一度スコアシートを提出した後に新たに取得したスコアシートを提出したい場合は，上記の方法で8月20日（木）（必着）までに下記の専攻連絡先まで送付してください。

【専門科目】

専門科目名：物質電子化学

なお，これに代えて，下記のいずれかの専門科目を受験することができます。

材料物理学（物理系），生体システム

【口頭試験受験資格者の発表】

8月28日（金）12時頃大岡山キャンパス「なごみの広場」（附属図書館の先）で掲示により発表します。また，同日13時頃より，本学ホームページ（新着入試情報）にも掲載します。

【過去の筆答試験問題の公表】

ホームページで公表 <http://www.echem.titech.ac.jp/index.html>

【記載内容に関する問い合わせ先】

〒226-8502 横浜市緑区長津田町 4259 G1-9

東京工業大学大学院総合理工学研究科 物質電子化学専攻長 富田育義

TEL：045-924-5413 / FAX：045-924-5489 / MAIL：tomita@echem.titech.ac.jp

指導教員及びその研究分野一覧

物質電子化学専攻

本専攻で指導教員となる教員一覧

指 導 教 員		研 究 分 野	備 考
教 授	富田 育義	高分子合成（精密重合手法の開拓，高分子反応，元素ブロック高分子，電子機能性 π 共役高分子）	
教 授	菅野 了次	固体化学，固体電気化学，エネルギー変換材料の創製・物質設計，リチウム電池，燃料電池	
准教授	平山 雅章	無機固体化学，二次電池，電気/化学エネルギー変換，ナノ界面設計	
准教授	稲木 信介	有機電気化学，機能性高分子（レドックス活性高分子，導電性高分子，含フッ素高分子），電極触媒	
准教授	北村 房男	物理化学（電気化学，「その場」分光測定法），希土類元素等を用いた機能性電極の創製，燃料電池	
教 授	原 正彦	物質化学（自己組織化，表面界面反応），走査型プローブ顕微鏡，ナノフォトニクス，バイオインターフェース，生命の起源と化学進化実験	
准教授	林 智広	ナノバイオサイエンス，ナノ構造体の創製，表面・界面科学，走査型プローブ顕微鏡，ナノフォトニクス，精密計測	
教 授	福島 孝典	有機機能物質化学， π 電子系化学，典型元素化学，分子集合体，ソフトマテリアル，ナノマテリアル	
准教授	小泉 武昭	錯体化学，有機金属化学，錯体電気化学	
准教授	野村 淳子	触媒化学，固体表面反応，赤外分光法，規則性ナノポーラス材料	
教 授	中村 浩之	有機合成化学，創薬化学，ケミカルバイオロジー，ナノメディシン，中性子捕捉療法	
准教授	布施 新一郎	有機合成化学，創薬化学，天然物合成，マイクロフロー合成	
教 授	田中 寛	進化細胞生物学，細胞周期，シグナル伝達，微生物学，細胞共生，オルガネラ，葉緑体，ミトコンドリア，転写制御，植物生理学，光合成	
准教授	今村 壮輔	分子生物学，遺伝子制御学，遺伝子工学，バイオ燃料，藻類バイオマス	
教 授	藤井 正明	分子分光学，クラスター，超解像分光，多光子イオン化分析	
准教授	酒井 誠	分子分光学，レーザー化学，超解像分光，超高速分光	
教 授	川路 均	物性物理化学，固体化学，物質における機能性発現機構，機能性材料設計，熱測定	
准教授	松下 伸広	溶液プロセスの開拓とバイオ/エネルギー/IT 応用（インプラント，バイオセンサー，燃料電池，透明導電膜，ノイズ抑制体）	

本専攻では指導教員となれない教員一覧（他専攻が本務の併任教員，定年・海外出張など）

指 導 教 員		研 究 分 野	備 考
教 授	※大坂 武男	電気化学，電気分析化学，生物電気化学（酸素，活性酸素，生理活性物質），電極触媒，燃料電池，センサ	平成28年3月定年

1. ※印を付してある指導教員は，定年，海外出張等のため今回は志望できません。

材料物理科学専攻

専攻の詳細については、右の URL の専攻 Web ページをご覧ください。 <http://www.materia.titech.ac.jp/>

【取得できる学位】

修士(理学又は工学)

【併願】

本専攻を第1志望として出願する際は、他の専攻を併願することはできません。

【志望理由書のテーマ】

志望研究室・研究分野など本専攻に対する志望理由を 1,000 字程度にまとめたもの。

【試験実施日程等】

試 験 区 分				試験日	試験内容等	備考
A 日程	口 述 試 験			7月29日(水)～ 8月5日(水)	基礎学力、学士論文研究等の内容および修士課程で希望する研究等について試問します。	試験実施日は、受験票発送時に通知します。
B 日程	筆 答 試 験	外国語科目	英 語	筆答試験を実施しません	本学の指定する英語外部テストのスコアシートを利用します。	詳細は【外部テストのスコアシートの取扱い】を参照してください。
			日 本 語	8月18日(火) 15:30～16:30		留学生のみに適用します。
		専門科目	材料物理科学 (物理系)	8月19日(水) 9:30～12:00 13:30～16:00	専攻 Web ページの過去問を参照してください。	
			材料物理科学 (金属材料系)			
			材料物理科学 (無機材料系)			
			材料物理科学 (化学系)	8月19日(水) 9:30～12:30		
		口 頭 試 問			9月1日(火)～ 9月3日(木)	基礎学力、学士論文研究等の内容および修士課程で希望する研究等について試問します。

【外部テストのスコアシートの取扱い】

- ・スコアシートは、原本を出願時に提出してください。出願時に提出できない場合は、8月20日(木) (必着) までに下記の専攻連絡先まで、簡易書留や宅配便等の配達記録が残る方法で送付してください。
- ・スコアシートは原本のみ有効でコピーの提出は認めません。
- ・スコアシートを出願時よりも後に専攻連絡先まで送付する際には、連絡先(E-mail アドレスおよび電話番号)を記載した手紙を同封し、封筒に「スコアシート在中」と朱書してください。
- ・一度スコアシートを提出した後、新たに取得したスコアシートを提出したい場合は、上記の方法で8月20日(木) (必着) までに下記の専攻連絡先まで送付してください。

【専門科目】

専門科目名：材料物理科学(物理系)、材料物理科学(金属材料系)、材料物理科学(無機材料系)、材料物理科学(化学系)

なお、これに代えて、下記のいずれかの専門科目を受験することができます。

地球惑星科学、有機・高分子物質、機械・制御情報系、電気電子工学・電子物理工学、情報工学、原子核工学、分子生命科学、生体システム、生命情報、生物プロセス、生体分子機能工学、創造エネルギー、物理電子・物理情報、メカノマイクロ工学、知能システム科学

【口頭試問受験資格者の発表】

8月28日(金) 12時頃大岡山キャンパス「なごみの広場」(附属図書館の先)で掲示により発表します。また、同日13時頃より、本学 Web ページ(新着入試情報)にも掲載します。

【過去の筆答試験問題の公表】

右の URL の Web ページで公表しています。 <http://www.materia.titech.ac.jp/ent/index.html>

【記載内容に関する専攻連絡先】

〒226-8502 神奈川県横浜市緑区長津田町 4259-J2-64

東京工業大学 総合理工学研究科 材料物理科学専攻 専攻事務室

TEL: 045-924-5565 or 045-924-5955

FAX: 045-924-5857

E-mail: nyushi@materia.titech.ac.jp

指導教員およびその研究分野一覧

材料物理科学専攻

本専攻で指導教員となれる教員一覧

指 導 教 員		研 究 分 野	備 考
教 授	尾中 晋	材料の力学物性とその微視構造依存性, 材料組織における形の物理	
准教授	寺田 芳弘	高温強度学, 高強度耐熱合金, 金属の組織制御	
准教授	中田 伸生	鉄鋼材料の組織制御と機械的性質	
教 授	梶原 正憲	環境に調和する新しい導電性合金や超伝導合金の開発と評価・解析	
准教授	木村 好里	廃熱を電気にー熱電材料の高性能化, より高温へー耐熱合金の強靱化	
教 授	平山 博之	表面二次元系の電子・スピン状態制御, 超薄膜の量子物性	
准教授	中辻 寛	表面物性, 固体表面およびナノ構造の電子物性	
准教授	合田 義弘	第一原理電子状態理論, 表面・界面・ナノ構造の物性予測, 磁性	
教 授	伊藤 満	新規磁性・誘電性・電気伝導性酸化物の設計, 科学および応用	
准教授	谷山 智康	スピントロニクス, マルチフェロイクス, 磁性ヘテロ構造, スピン注入, スピ ンダイナミクス	
准教授	○須崎 友文	酸化物界面の物理: 持続可能社会のためのナノ電子材料開発	
教 授	真島 豊	ボトムアップナノデバイス, ナノ粒子・分子材料の量子物性と機能化	
准教授	平松 秀典	新機能材料の探索, 薄膜成長, 光・電子・磁気物性, デバイス化	
教 授	大場 史康	計算科学に立脚した電子材料の設計・探索	
准教授	○阿藤 敏行	衝撃波が引き起こす超高压化での相転移や化学反応の結晶化学	
准教授	曾根 正人	半導体・MEMS 用超微細金属構造の制御, めっき金属構造制御	
教 授	若井 史博	セラミックス, ナノ材料, 焼結, 高温変形, 超塑性, 微構造	
教 授	細野 秀雄	電子・光機能材料の創出と物質設計(超伝導, 透明半導体, 蛍光体, 触媒など)	
准教授	松石 聡	超伝導および電子機能性材料の探索と電子状態解析	
連携教授	神戸 洋史	自動車用非鉄金属材料, 鋳造技術, 凝固	日産自動車
連携教授	吉永 直樹	自動車用鉄鋼材料に求められる特性と組織制御技術	新日鐵住金
連携教授	蟹澤 聖	半導体電子物性, 結晶成長, 表面物理	NTT
連携准教授	西口 克彦	半導体工学・物理学, ナノテクノロジー, 電子デバイス, トランジスタ	NTT

1. ○印を付してある指導教員は平成 28 年 3 月任期終了ですが, 他の教員との共同指導を希望する学生は受け入れます。
2. 表中の連携教授, 連携准教授は, 主に博士後期課程の学生を指導対象としているため, 志望する場合は必ず出願する前に専攻長(梶原 正憲 教授 kajihara@materia.titech.ac.jp)に相談してください。あるいは, E-mail(nyushi@materia.titech.ac.jp)にお問い合わせください。

本専攻では指導教員となれない教員一覧(他専攻が本務の併任教員, 定年・海外出張など)

指 導 教 員		研 究 分 野	備 考
教 授	※佐々木 聡	回折散乱, 電子磁気状態, 放射光, 結晶構造解析, 超伝導, 価数揺動	平成 29 年 3 月定年
教 授	※加藤 雅治	材料の組織と性質の関係の解明, 力学物性と相変態の基礎研究	平成 28 年 3 月定年
連携教授	※内海 研一	物性理論一般, 光記録材料, 知的財産権制度	工業所有権協力センター 平成 28 年 3 月定年

1. ※印を付してある指導教員は, 定年, 海外出張等のため, 今回は志望できません。

環境理工学創造専攻

専攻の詳細についてはこちらをご覧ください。 <http://www.depe.titech.ac.jp/>

【取得できる学位】

修士（理学、工学又は学術）

【併願】

本専攻を第1志望としたときに併願できる専攻の組み合わせについては下記の通りです。

（第1志望：環境理工学創造、第2志望：土木工学）

（第1志望：環境理工学創造、第2志望：原子核工学）

（第1志望：環境理工学創造、第2志望：人間環境システム）

（第1志望：環境理工学創造、第2志望：建築学）

【志望理由書のテーマ等】

志望研究室・研究分野など本専攻に対する志望理由を1,000字程度にまとめたもの。

【出願にあたっての注意】

教育上の配慮から、教員あたりの合格者数が制限される場合があります。また、本専攻の研究分野は教員毎に異なるため、可否は受験者が志望する分野の収容能力も考慮して判定します。

【試験実施日程等】

試 験 区 分				試験日	試験内容等	備考
A 日程	口 述 試 験			7月29日（水）～ 8月5日（水）	現在の専門分野の基礎知識及び学士論文研究等の内容の試問 希望分野に関する基礎学力及び修士課程での研究計画の試問	英語外部テストのスコアシートを利用します。詳細は【外部テストのスコアシートの取扱い】参照 試験実施日は、受験票発送時に通知します。
B 日程	筆記試験	外国語科目	英 語	筆答試験を実施しません。	本学の指定する英語外部テストのスコアシートを利用します。	詳細は【外部テストのスコアシートの取扱い】参照
			日 本 語	実施しません。		
		専門科目	環境理工学A	8月19日（水） 9:30～11:00 13:30～15:00	午前：環境理工学を学ぶ上で基礎となる知識 および思考力についての問題 午後：小論文・読解	
			環境理工学B		午前：環境理工学を学ぶ上で基礎となる数理的 思考力についての問題 午後：小論文・読解 英語で出題されるので、英語で解答すること。	
	口 頭 試 問			9月1日（火） 9:30～	現在の専門分野の基礎知識及び学士論文研究等の内容の試問 希望分野に関する基礎学力及び修士課程での研究計画の試問	口頭試問Ⅱにより実施

【外部テストのスコアシートの取扱い】

- ・スコアシートは原本を出願時に提出してください。提出できない場合は、8月3日（月）（必着）までに下記の専攻連絡先まで簡易書留郵便にて郵送してください。
- ・スコアシートは原本のみでコピーの提出は認めません。
- ・スコアシートを後日専攻連絡先まで郵送する際には、連絡先（E-mail アドレス及び電話番号）を書いた紙を同封し、封筒に「スコアシート在中」と朱書してください。
- ・一度スコアシートを提出した後に新たに取得したスコアシートを提出したい場合は、8月3日（月）（必着）までに下記の専攻の問合せ先まで簡易書留郵便にて郵送してください。

【専門科目】

専門科目名：環境理工学A、環境理工学B

なお、これに代えて、下記表中のいずれかの専門科目を受験することができます。

併願できる専攻の組み合わせ等により、受験できる専門科目が異なります。また、併願した場合は本専攻が第1志望の場合でも「環境理工学A、環境理工学B」を受験することができません。

環境理工学創造専攻を第2志望とする場合は、第1志望とする専攻の専攻案内ページを参照してください。

併願できる専攻の組み合わせ等	受験できる専門科目
環境理工学創造専攻単願	環境理工学A, 環境理工学B, 地球惑星科学, 機械・制御情報系, 電気電子工学・電子物理工学, 土木工学, 建築学 (共通・建築学コース), 建築学 (共通・建築デザインコース), 原子核工学, 生体システム, 生物プロセス, 創造エネルギー, 化学環境学, 価値システム
(第1志望: 環境理工学創造, 第2志望: 土木工学)	土木工学
(第1志望: 環境理工学創造, 第2志望: 原子核工学)	電気電子工学・電子物理工学, 原子核工学, 創造エネルギー, 化学環境学
(第1志望: 環境理工学創造, 第2志望: 人間環境システム)	機械・制御情報系, 土木工学, 建築学 (共通・建築学コース), 建築学 (共通・建築デザインコース)
(第1志望: 環境理工学創造, 第2志望: 建築学)	建築学 (共通・建築学コース), 建築学 (共通・建築デザインコース)

【口頭試問受験資格者の発表】

8月28日(金) 12時頃大岡山キャンパス「なごみの広場」(附属図書館の先)で掲示により発表します。また、同日13時頃より、本学ホームページ(新着入試情報)にも掲載します。

【過去の筆答試験問題の公表】

ホームページで公表 <http://www.depe.titech.ac.jp/>

【記載内容に関する問い合わせ先】

〒226-8502 神奈川県横浜市緑区長津田町 4259 G5-11
東京工業大学大学院総合理工学研究科環境理工学創造専攻 専攻事務室
TEL: 045-924-5503, FAX: 045-924-5519, E-mail: dest@depe.titech.ac.jp

指導教員及びその研究分野一覧

環境理工学創造専攻

本専攻で指導教員となる教員一覧

指 導 教 員		研 究 分 野	備 考
准教授	中村 恭志	数値環境水理学, コンピュータシミュレーションによる湖沼・河川における流れと環境現象の把握, 高精度シミュレーションモデルの開発	
教 授	山中 浩明	地盤探査工学, 工学地震学, 地盤振動, 地震工学, 弾性波動シミュレーション	
准教授	豊田 栄	環境地球化学, 環境物質循環解析, 微量成分の分析化学	
教 授	田村 哲郎	環境乱流力学, 大気拡散即時予測と避難誘導, 台風・突風リスクアセス, 都市乱流モデリング, 構造物空力制御・制振, 再生可能エネルギー適合評価	
教 授	木内 豪	水文学, 流域・都市の水・物質循環と環境管理, アジアの流域水管理, 氷河後退と水資源評価, 環境中の汚染物質輸送	
准教授	浅輪 貴史	都市・建築環境工学, ヒートアイランド, 熱環境シミュレーション, 都市緑化, 住環境評価, 環境のリモートセンシング	
教 授	村山 武彦	環境政策・計画, リスク評価と管理, 環境・リスクコミュニケーション, 環境アセスメント, 政策対話, 社会的意思決定	
准教授	錦澤 滋雄	環境アセスメント, 市民参加, 合意形成, 参加型会議の設計と運用	
教 授	吉川 邦夫	低環境負荷廃棄物燃焼・資源化, 高効率エネルギー変換, 大気環境工学	
准教授	高橋 史武	付加価値創造型の廃棄物リサイクル, リスク評価, 廃棄物リサイクルの社会心理学, 超臨界流体化学	
准教授	時松 宏治	エネルギー技術, 資源需給, 環境影響, 経済評価, 持続可能な発展	
教 授	竹下 健二	環境化学工学, リサイクル工学, 廃棄物工学, 原子燃料サイクル工学	
教 授	加藤 之貴	高効率エネルギー変換・貯蔵, ケミカルヒートポンプ, 炭素循環型エネルギーシステム, 水素エネルギー, エネルギー有効利用システム	
教 授	山田 哲	鋼構造建築, 耐震工学, 免震・制振構造, 構造実験, 動的解析	
教 授	河野 進	コンクリート系構造物の耐震設計	
准教授	○篠原 保二	建築構造材料, コンクリートのひび割れ挙動と構造性能	平成29年3月定年予定
准教授	吉敷 祥一	耐震技術の高度化(免震・制振構造), 既存建築物への効果的な耐震補強技術の開発と普及, 被災した建築物の損傷評価と早期復旧技術の開発	

次頁へ続く

指 導 教 員		研 究 分 野	備 考
准教授	寒野 善博	構造最適化, 数理設計, 計算固体力学	
教 授	上田 宏	生物化学工学, 蛋白質工学, 抗体工学, 細胞工学, 環境分析化学, 発光生物学, バイオセンサー	
准教授	関 宏也	化学プロセスシステム工学, プロセス制御	
准教授	佐藤 由利子	政策評価, 国際協力, 地域開発, 留学生政策	
連携教授	海江田 秀志	地熱工学, 物理探査学, 微小地震学, 地球物理学	注)
連携教授	井上 徹教	沿岸域水環境, 水圏環境工学	注)
連携教授	加茂 徹	リサイクル工学, 反応工学, 環境工学, 資源循環の最適化	注)
連携教授	青柳 みどり	リスク社会学, 環境社会学, メディアとリスク, 社会調査法	注)
連携教授	永代 成日出	食料生産と環境問題, 自然環境の劣化による農村の貧困	注)
連携准教授	喜々津 仁密	耐風工学, 建築防災	注)
連携准教授	梶谷 史朗	化学工学, 反応工学, 石炭・バイオマスガス化	注)
連携准教授	小林 秀樹	リモートセンシング, 農業気象学	注)

1. ○印を付してある指導教員は, 平成 29 年 3 月定年予定ですが、他の教員との共同指導を希望する学生は受け入れます。
2. 注) 他の教員との共同指導の場合のみ受け入れます。

本専攻では指導教員となれない教員一覧（他専攻が本務の併任教員, 定年・海外出張など）

指 導 教 員		研 究 分 野	備 考
教 授	※石川 忠晴	環境水理学, 湖沼・河川の流れと環境, 気水域の成層流と環境, 流域環境の評価と計画	平成28年3月定年予定
教 授	☆吉田 尚弘	グローバルからミクロな環境における物質循環の解析, 同位体およびアイソトポマーによる環境物質の起源推定, 地球化学	化学環境学
教 授	☆坂田 弘安	コンクリート系構造物, 木質系構造物, 耐震・免震・制振構造	建築学, 人間環境システム

1. ※印を付してある指導教員は, 定年のため今回は志望できません。
2. ☆印を付してある指導教員を志望するものは, 備考欄に記載されている専攻で出願してください。

(このページは落丁ではありません。)

人間環境システム専攻

専攻の詳細についてはこちらをご覧ください。 <http://www.enveng.titech.ac.jp/>

【取得できる学位】

修士（工学又は学術）

【併願】

本専攻を第1志望としたときに併願できる専攻の組み合わせについては下記のとおりです。

（第1志望：人間環境システム，第2志望：土木工学）

（第1志望：人間環境システム，第2志望：建築学）

（第1志望：人間環境システム，第2志望：環境理工学創造）

【志望理由書のテーマ等】

志望研究室・研究分野など本専攻に対する志望理由を1,000字程度にまとめたもの。

【出願にあたっての注意】

- ・第1志望，第2志望を問わず，人間環境システム専攻を希望する受験生は，事前に教員と連絡を取ることを，教育上の配慮から奨励しています。
- ・教育上の配慮から，教員（研究分野）当たりの受け入れ学生数が制限される場合もあります。

【試験実施日程等】

試 験 区 分				試験日	試験内容等	備考
A日程	口 述 試 験			7月29日（水）～ 8月5日（水）	専門的な知識ならびに大学院における 研究計画等についての試問	試験実施日は、受験票発送 時に通知します。
B日程	筆 答 試 験	外国語科目	英 語	筆答試験を実施しません。	本学の指定する英語外部テストのスコ アシートを利用します。	詳細は【外部テストのスコ アシートの取扱い】参照
			日 本 語	実施しません。		
		専門科目	人間環境システム	8月19日（水） 9:30～11:00 13:30～15:30	午前：必須問題 人間環境に関する一般的知識に 関する試験 午後：選択問題 人間環境システムの専門分野に 関連して出題された複数の問題 の中から、進学を希望する分野 の問題を解答してください。	
	口 頭 試 問			9月3日（木）	専門的な知識ならびに大学院における 研究計画等についての試問	口頭試問Ⅱにより実施

【外部テストのスコアシートの取扱い】

- ・スコアシートは原本を出願時に提出してください。提出できない場合は，7月24日（金）必着で次頁の「記載内容に関する問合せ先」まで簡易書留郵便にて郵送してください。なお，B日程を受験する人で7月24日（金）までにスコアシートの送付が間に合わない場合には，7月24日（金）必着で「提出できない理由書」を郵送した上で，スコアシートを8月18日（火）必着で次頁の「記載内容に関する問合せ先」まで簡易書留郵便にて郵送してください。
- ・一度スコアシートを提出した後に，新たに取得したスコアシートを提出したい場合は，7月24日（金）必着で次頁の「記載内容に関する問合せ先」まで簡易書留郵便にて郵送してください。なお，B日程を受験する人で7月24日（金）までに新たに提出するスコアシートの送付が間に合わない場合には，7月24日（金）必着で「提出できない理由書」を送付した上で，スコアシートを8月18日（火）必着で次頁の「記載内容に関する問合せ先」まで簡易書留郵便にて郵送してください。
- ・スコアシートは返却しません。

【専門科目】

専門科目名：人間環境システム

なお，これに代えて，下表に示す専門科目を受験することができます。他専攻を併願する場合は，希望する併願専攻によって受験できる専門科目が異なります。併願の組み合わせによっては本専攻が第1志望の場合でも専門科目「人間環境システム」を受験することができない場合がありますので注意してください。

併願できる専攻の組み合わせ等	受験できる専門科目
人間環境システム専攻単願	人間環境システム，建築学（共通・建築学コース），建築学（共通・建築デザインコース），土木工学，機械・制御情報系，社会工学
（第1志望：人間環境システム，第2志望：土木工学）	土木工学
（第1志望：人間環境システム，第2志望：建築学）	建築学（共通・建築学コース），建築学（共通・建築デザインコース）
（第1志望：人間環境システム，第2志望：環境理工学創造）	建築学（共通・建築学コース），建築学（共通・建築デザインコース），土木工学，機械・制御情報系

【口頭試問受験資格者の発表】

8月28日（金）12時頃大岡山キャンパス「なごみの広場」（附属図書館の先）で掲示により発表します。また、同日13時頃より、本学ホームページ（新着入試情報）にも掲載します。

【過去の筆答試験問題の公表】

ホームページで公表 <http://www.enveng.titech.ac.jp/exam.html>

【記載内容に関する問い合わせ先】

〒226-8502 神奈川県横浜市緑区長津田町 4259 G3-10

東京工業大学大学院総合理工学研究科 人間環境システム専攻 専攻長（MAIL: query@enveng.titech.ac.jp）

指導教員及びその研究分野一覧

人間環境システム専攻

本専攻で指導教員となれる教員一覧

指 導 教 員		研 究 分 野	備 考
教 授	翠川 三郎	サイスミックマイクロゾーニング，強震動予測，地震防災システムの開発	
教 授	元結正次郎	建築非構造部材の耐震性能，シェル構造の座屈及び座屈後挙動，固体の計算力学	
教 授	盛川 仁	地震動特性の確率論的モデル化，深部地盤構造推定，地震波動場の実時間予測	
教 授	屋井 鉄雄	国土・都市計画，環境交通工学	
准教授	佐藤 大樹	地震と風を対象とした制振構造・免震構造に関する研究	
准教授	中村 芳樹	視環境（特に照明，色彩）の評価・計画論，快適性評価，環境心理学（特に環境の認識と評価）	
准教授	那須 聖	建築意匠，建築設計，建築計画，都市景観	
准教授	古谷 寛	膜構造物，宇宙構造物システム工学，複合領域最適化，知的適応システム，展開宇宙構造物	
准教授	松岡 昌志	リモートセンシング，ジオインフォマティクス地震防災，災害情報システム	
准教授	室町 泰徳	都市計画・都市施設計画，都市交通計画・交通行動分析，交通と環境	
連携教授	末松 孝司	シミュレーション技術の防災・環境適用研究	
連携准教授	佐藤 俊明	都市の安心・安全のための空間情報解析，モバイルマッピングシステムを利用した景観解析	
連携准教授	鈴木 敦士	エネルギーシステム，エネルギー政策	
連携准教授	柳澤 潤	建築意匠，建築設計，公共空間・建築論，ランドスケープデザイン	
連携准教授	添田 昌志	環境心理・行動学，建築計画	
教 授	○奥山 信一	建築意匠，建築設計，建築論，都市論	建築学専攻
教 授	○坂田 弘安	RC構造の力学的挙動，木質構造の力学的挙動	建築学専攻
教 授	○大佛 俊泰	建築計画，都市計画	情報環境学専攻
教 授	○宮本 文人	建築計画，環境心理学	建築学専攻
准教授	○福田 大輔	土木計画，交通計画，交通行動分析	土木工学専攻

1. ○印を付してある指導教員は，備考欄の専攻等を本務とする併任教員ですが，他の教員と同様に志望できます。

創造エネルギー専攻

専攻の詳細についてはこちらをご覧ください。 <http://www.es.titech.ac.jp/>

【取得できる学位】

修士（工学、理学又は学術）

【併願】

本専攻を第1志望としたときに併願できる専攻の組み合わせについては下記の通りです。

（第1志望：創造エネルギー、第2志望：原子核工学）

【志望理由書のテーマ等】

志望研究室・研究分野など本専攻に対する志望理由を1,000字程度にまとめたもの。

【出願にあたっての注意】

本専攻の入学試験では、エネルギー科学を学ぶうえで十分な基礎学力と勉学意欲を持っているかについて考查します。

- ・A日程については、志願者の応募書類により学業成績を総合評価し、特に優れていると判断される受験者に対して、口述試験により基礎学力、表現力と勉学意欲の評価を加えて総合評価します。
- ・B日程で実施する筆答試験は基礎学力の確認を目的としており、本専攻が出題する専門科目を受験してください。筆答試験の成績上位者に対して、口頭試問により表現力と勉学意欲の評価を加えて総合評価します。
- ・合否判定にあたってはA日程、B日程のいずれの場合でも総合評価結果が基本ですが、受験者が希望する分野の収容能力も考慮して判定します。
- ・他専攻と併願の受験生については第1志望専攻の評価基準が適用され、これと本専攻単願の受験生の評価を比較しながら、併願専攻間での協議のうえ合否を決定します。

【試験実施日程等】

試験区分				試験日	試験内容等	備考
A日程	口述試験			7月29日（水）～ 8月5日（水）	成績証明書および志望理由書などにより特に優秀と認められる者を有資格者とする。 基礎学力、表現力と勉学意欲の試問	英語外部テストのスコアシートを利用します。詳細は【外部テストのスコアシートの取扱い】参照 試験実施日は、受験票発送時に通知します。
B日程	筆答試験	外国語科目	英語	筆答試験を実施しません。	本学の指定する英語外部テストのスコアシートを利用します。	詳細は【外部テストのスコアシートの取扱い】参照
			日本語	8月18日（火） 15:30～16:30		留学生のみに適用
		専門科目	創造エネルギー	8月19日（水） 9:30～11:00 13:30～15:30	午前：数学、物理学の基礎的な問題2問を解答 午後：力学、原子物理学、物理化学、流体力学、熱力学・伝熱工学、電磁気学、電気電子回路の7問から3問を選択解答	
	口頭試問			8月26日（水）～ 8月31日（月）		口頭試問Ⅰにより実施 口頭試問実施日時は受験票発送時に通知します。

【外部テストのスコアシートの取扱い】

スコアシートは原本を出願時に提出してください。提出できない場合は、7月3日（金）必着で下記の専攻問合わせ先まで簡易書留郵便にて郵送してください。

一度スコアシートを提出した後に新たに取得したスコアシートを提出したい場合は、7月3日（金）必着で下記の専攻問合わせ先まで簡易書留郵便にて郵送してください。

【専門科目の受験】

専門科目名：創造エネルギー

【口頭試問受験資格者の発表】

8月22日（土）12時頃本専攻ホームページ（<http://www.es.titech.ac.jp/>）に掲載します。

【過去の筆答試験問題の公表】

ホームページで公表 <http://www.es.titech.ac.jp/>

【記載内容に関する問合わせ先】

〒226-8502 神奈川県横浜市緑区長津田町 4259 G3-31

東京工業大学 大学院総合理工学研究科 創造エネルギー専攻

入学試験担当教員 末包 哲也 TEL:045-924-5494, あるいは専攻事務室 TEL:045-924-5496

指導教員及びその研究分野一覧

創造エネルギー専攻

本専攻で指導教員となる教員一覧

指 導 教 員		研 究 分 野	備 考
教 授	河野 俊之	重イオンビームの医学利用, 原子核物理, 原子物理, 放射線物理, 放射線計測	
教 授	岡村 哲至	磁気冷凍, 極低温, 冷却, 冷凍, 超電導	
准教授	長崎 孝夫	熱工学, 伝熱学, 熱エネルギー有効利用, 熱輸送デバイス, 相変化現象	
准教授	肖 鋒	数値シミュレーション, 計算流体力学, エネルギー・環境問題のモデリング, 再生可能エネルギー, 災害シミュレーション	
連携教授	藤井 隆	超短パルス高強度レーザー, フィラメントプラズマ, レーザー誘起ブレイクダウン分光, 微量元素のリモート計測, 設備診断・環境計測応用	
連携教授	栗山 透	極低温伝熱/冷凍, 超電導システム	
教 授	奥野 喜裕	エネルギー変換工学, MHD発電, 電磁流体力学応用, 宇宙用電気推進, プラズマ工学	
教 授	末包 哲也	二酸化炭素地下貯留技術, 原油増進回収, クリーンコールエネルギー変換, 化石燃料の高度有効利用, 温暖化防止技術	
准教授	沖野 晃俊	新しい大気圧プラズマ装置の開発, 大気圧プラズマの医療・分析・環境・農業・材料応用	
准教授	脇 慶子	カーボンナノチューブの構造制御, 金属酸化物のナノ構造制御, リチウムイオン電池, 太陽電池, 燃料電池	
准教授	長谷川 純	プラズマ理工学, クラスター・イオンビーム理工学, 慣性核融合, 高エネルギー密度科学, 放射線物理	
講 師	河村 徹	高エネルギー密度プラズマ, レーザー/放電/イオンビーム生成プラズマ, 非平衡プラズマ原子物理, 輻射プラズマ流体力学, プラズマシミュレーション	
連携教授	松藤 成弘	放射線の臨床・生物効果モデル, がん治療用放射線の線質, 医学物理	
教 授	青木 尊之	低エネルギー・スーパーコンピューティング, 大規模数値流体力学, 気象・大気・自然災害シミュレーション, 超並列計算, GPGPU	
教 授	小栗 慶之	イオンビームを用いた核融合, 環境計測, 医療技術	
准教授	松本 義久	放射線, DNA, 分子・細胞生物学, 癌治療	
准教授	飯尾 俊二	磁場閉じ込め核融合, プラズマ物理, レーザー計測, 応用電磁気学	
准教授	赤塚 洋	プラズマ理工学, プラズマ分光, プラズマ内の原子分子過程, 希薄流体工学	
准教授	○金森 英人	分子分光, レーザー分光, 分子冷却, コヒーレント光源, 量子状態の位相制御	物性物理学専攻

1. ○印を付してある指導教員は、備考欄の専攻等を本務とする併任教員ですが、他の教員と同様に志望できます。

本専攻では指導教員となれない教員一覧（他専攻が本務の併任教員、定年・海外出張など）

指 導 教 員		研 究 分 野	備 考
教 授	※堀岡 一彦	高エネルギー密度科学, 重イオン慣性核融合, プラズマ・核融合科学, 大出力粒子加速器, パルスパワー工学, 超高速気体力学	平成29年3月定年
教 授	※堀田 栄喜	パルスパワー技術, 軟X線レーザー/極端紫外光源, 慣性静電閉じ込め核融合中性子/陽子源, 大気圧非熱平衡プラズマによる燃焼支援/滅菌応用, 電子ビームによる気体分解/滅菌応用	平成28年3月定年
連携教授	※長谷川裕夫	エネルギー変換工学, 分散型エネルギーシステム, エネルギーネットワーク	平成28年3月定年
連携教授	※高山 健	加速器, イオンビーム, 誘導加速, シンクロトロン, パルスパワー	平成28年3月定年
連携准教授	※富岡 定毅	高速反応流, ロケット複合エンジン, 将来輸送用エンジン, エンジン試験	連携終了
教 授	☆吉川 邦夫	高効率廃棄物発電, 高温エネルギー変換, 大気環境工学	環境理工学創造専攻
准教授	※實吉 敬二	人や環境にやさしいロボットの開発: 高速立体画像認識(目), 積層型静電アクチュエータ(筋肉), 四脚歩行機構と制御(脚とロボット全体)	基礎物理学専攻 平成29年3月定年

1. ☆印を付してある指導教員を志望するものは、備考欄に記載されている専攻で出願してください。

2. ※印を付してある指導教員は、定年、海外出張等のため今回は志望できません。

化学環境学専攻

専攻の概要についてはこちらをご覧ください。 <http://www.chemenv.titech.ac.jp/>

【取得できる学位】

修士（理学又は工学）

【併願】

本専攻を第1志望としたときに併願できる専攻の組み合わせは下記の通りです。

（第1志望：化学環境学，第2志望：環境理工学創造）

【志望理由書のテーマ】

志望研究室・研究分野など本専攻に対する志望理由を1,000字程度にまとめたもの。

【出願にあたっての注意】

- ・A日程では、志願書類を評価し、特に優れていると判断される志願者に対して、口述試験により基礎学力、表現力と勉学意欲の評価を加えて総合評価します。
- ・B日程では、筆答試験の成績上位者に対して、口頭試問により表現力と勉学意欲の評価を加えて総合評価します。
- ・合否判定は、A日程、B日程のいずれの場合でも総合評価によります。
- ・教育上の配慮から、教員あたりの学生数が制限される場合があります。
- ・志望教員は**第3希望まで必ず記載**して下さい。記入した志望教員の順番は変更できません。

【試験実施日程等】

試験区分				試験日	試験内容等	備考
A日程	口述試験			7月29（水）～ 8月5日（水）	専門的知識の試問。学士論文研究の内容等についての試問。	試験実施日は、受験票発送時に通知します。
B日程	筆答試験	外国語科目	英語	8月18日（火） 14:00～15:00	筆記試験を実施します。 科学論文・記事等の読解，作文 （120点満点）	辞書持込は不可
			日本語	実施しません。		
		専門科目	化学環境学	8月19日（水） 9:30～12:00	専門科目（400点満点） 物理化学，無機化学，有機化学，生物化学，化学工学の5分野の合計9題から4題を選択解答。	
	口頭試問			8月25日（火）	専門的知識等適性に関する試問。	口頭試問Iにより実施 口頭試問実施日時は受験票 発送時に通知します。

【専門科目】

専門科目名：化学環境学

【口頭試問受験資格者の発表】

8月22日（土）17時までに本専攻ホームページで受験資格者を公表します。 <http://www.chemenv.titech.ac.jp/>

【過去の筆答試験問題の公表】

ホームページで公表 <http://www.chemenv.titech.ac.jp/>

【記載内容に関する問い合わせ先】

化学環境学専攻 専攻長 吉田 尚弘
〒226-8502 横浜市緑区長津田町 4259-G1-17
東京工業大学大学院総合理工学研究科
電話：045-924-5506／FAX：045-924-5143
MAIL：chair@chemenv.titech.ac.jp

指導教員及びその研究分野一覧

化学環境学専攻

本専攻で指導教員となる教員一覧

指 導 教 員		研 究 分 野	備 考
教 授	吉田 尚弘	グローバルからミクロな環境における物質循環解析, アイソトポマーによる環境物質・食品の起源推定, 地球化学, 環境化学	
准教授	山田 桂太	有機地球化学, 地球環境化学	
教 授	小畠 英理	超生物機能材料工学, 細胞機能制御タンパク質, バイオ計測工学	
准教授	三重 正和	パイオイノベーション, 細胞機能制御工学	
教 授	馬場 俊秀	省資源で安全な環境を築く触媒・酵素の化学	
講 師	本倉 健	CO ₂ 変換のための触媒設計, 固体表面への触媒機能集積, 有機化学	
教 授	小坂田耕太郎	合成化学, 錯体化学, 超分子化学	
准教授	竹内 大介	高分子合成, 有機金属化学, 有機合成	
教 授	穂田 宗隆	有機金属化学, 錯体化学, 材料化学	
教 授	西山 伸宏	生体材料学, 生体医工学	
准教授	宍戸 厚	高分子機能化学	
教 授	山口 猛央	燃料電池工学, バイオマテリアル工学, 膜工学, 機能性材料化学	
講 師	田巻 孝敬	エネルギー材料工学, 生体材料工学, 生物電気化学	
教 授	山元 公寿	高分子錯体化学, 超分子ナノサイエンス, 無機有機精密ハイブリッド材料	
准教授	今岡 享稔	π 共役分子化学, 電子移動化学, 無機有機精密ハイブリッド材料	
教 授	久堀 徹	タンパク質化学, 生体エネルギー変換, 光合成微生物による物質生産	
准教授	若林 憲一	細胞生物学, 生化学	
准教授	吉沢 道人	超分子化学, ナノ空間化学, 錯体化学	
連携教授	笠井 康子	分光化学, 地球惑星リモートセンシング化学	
連携教授	大河内 直彦	地球化学, 地質学	
連携教授	畑中 重人	環境触媒学, 石油化学	
連携准教授	坂本 康治	有機合成化学, 触媒化学	
教 授	○上田 宏	生物工学, タンパク質工学, 生物分析化学	環境理工学創造専攻
准教授	○関 宏也	プロセス制御, プロセスダイナミクス, プロセスシステム工学	環境理工学創造専攻

1. ○印を付してある指導教員は備考欄の専攻等を本務とする併任教員ですが, 他の教員と同様に志望できます。
2. 本専攻を志望する場合には, 必ず出願前に教員または専攻長に連絡を取って下さい。
3. 連携教授, 連携准教授を志望する場合には出願前に専攻長に相談してください。

物理電子システム創造・物理情報システム専攻

専攻の詳細についてはこちらをご覧ください。

物理電子システム創造専攻 <http://www.ep.titech.ac.jp/> または、物理情報システム専攻 <http://www.ip.titech.ac.jp/>

物理電子システム創造および物理情報システムは、「物理電子・物理情報」という1専攻の体制で募集しますので、出願者は、各書類の志望欄に【物理電子・物理情報】と記入してください。

【取得できる学位】

修士（理学，工学又は学術）

【併願】

本専攻を第1志望としたときに他の専攻と併願して出願することはできません。有機・高分子物質専攻又は応用化学専攻を第1志望としたときに物理電子システム創造専攻を併願して出願することができます。この場合は、志望専攻欄に物理電子システム創造専攻と記入してください。また、通信情報工学専攻又は計算工学専攻を第1志望としたときに物理情報システム専攻を併願して出願することができます。この場合は、志望専攻欄に物理情報システム専攻と記入してください。

【志望理由書のテーマ】

志望研究室・研究分野など本専攻に対する志望理由を1，000字程度にまとめたもの。

【出願に当たっての注意】

指導教員の決定に当たっては、口述試験または筆答試験及び口頭試問の成績により総合的に判断されます。また、教育上の配慮から、教員あたりの合格者数が制限される場合があります。なお、口述試験においては、第1志望の教員への配属を原則とします。

【試験実施日程等】

試 験 区 分				試験日	試験内容等	備考
A 日 程	口述試験			7月29日（水）～ 8月5日（水）	専門的知識, 学士論文研究等の内容及び修士課程での研究計画についての試問	英語外部テストの スコアシートを利用 します。詳細は 【外部テストのス コアシートの取扱 い】参照 試験実施日は, 受験 票発送時に通知し ます。
	B 日 程	外国 語 科 目	英 語	筆答試験を実施しま せん。	本学の指定する英語外部テストのスコアシートを利用 します。	詳細は【外部テスト のスコアシートの 取扱い】参照
日 本 語			実施しません。			
筆 答 試 験		専 門 科 目	物理電子・ 物理情報	8月19日（水） 9:30～11:30	「数学基礎分野から1問および専門分野から2問の合 計3問」または「数学基礎分野から2問および専門分野 から1問の合計3問」を解答 ・数学基礎分野（下記2題より1問または2問選択） 1. 解析（微積分, フーリエ変換, ラプラス変換） 2. 代数（ベクトルと行列, 線形代数） ・専門分野（下記6題より2問または1問選択） 1. 電磁気学（電界と磁界, 電磁誘導） 2. 電気回路（交流回路） 3. 量子力学（ポテンシャルと波動関数, 光の吸収と放 出） 4. 物性・デバイスの基礎（電気伝導, エネルギーバン ド, pn接合, MOS構造） 5. 論理回路（ブール代数, 組み合わせ回路, 順序回路, 計算機構成） 6. アルゴリズム（アルゴリズムとデータ構造, プログ ラミング）	

【外部テストのスコアシートの取扱い】

- ・スコアシートは原本を出願時に提出してください。提出できない場合は、以下の通りとします。
受験資格者通知でA日程受験資格者となった者は、口述試験当日に必ず持参し提出して下さい。

受験資格者通知でB日程受験資格者となった者は、8月6日（木）必着で下記の《スコアシート送付先》まで簡易書留郵便にて郵送してください。

- ・スコアシートは原本のみでコピーの提出は認めません。
- ・提出いただいたスコアシートは返却しません。
- ・受験資格者通知でB日程受験資格者となった者のうち、出願時にスコアシートを提出した後に新たに取得したスコアシートを提出したい場合は、8月6日（木）必着で下記の《スコアシート送付先》まで簡易書留郵便にて郵送してください。

【専門科目】

専門科目名：物理電子・物理情報

なお、これに代えて、下記のいずれかの専門科目を受験することができます。

物質科学創造（金属材料系）、物質科学創造（無機材料系）、物質科学創造（化学系）、物質科学創造（物理系）、物質電子化学、材料物理科学（物理系）、材料物理科学（金属材料系）、材料物理科学（無機材料系）、材料物理科学（化学系）、メカノマイクロ工学

【口頭試問受験資格者の発表】

8月28日（金）12時頃、大岡山キャンパス「なごみの広場」（附属図書館の先）で掲示により発表します。また、同日13時頃より、本学ホームページ（新着入試情報）にも掲載します。なお、電話での照会には一切応じません。

【過去の筆答試験問題の公表】

ホームページで公表 <http://www.ep.titech.ac.jp/> および <http://www.ip.titech.ac.jp/>

【記載内容に関する問い合わせ先】

東京工業大学 大学院総合理工学研究科 渡辺正裕

TEL：045-924-5454/FAX：045-924-5451/MAIL：watanabe@ep.titech.ac.jp

《スコアシート送付先》

〒226-8502 神奈川県横浜市緑区長津田町 4259-G2-33

東京工業大学 大学院総合理工学研究科 物理電子システム創造専攻事務室

指導教員及びその研究分野一覧

物理電子システム創造・物理情報システム専攻

本専攻で指導教員となれる教員一覧

指導教員		研究分野	備考
准教授	角嶋 邦之	電子デバイス，新材料プロセス，異種材料界面	物理電子システム創造専攻専任
教授	若林 整	半導体デバイス，MISFET，ナノデバイス，電子デバイス，LSI	〃
准教授	大見 俊一郎	集積化電子デバイス，半導体デバイス・プロセス	〃
連携教授	岡本 隆之	ナノフォトニクス，プラズモニクス	〃
教授	梶川 浩太郎	プラズモニクス，メタマテリアル，非線形光学，液晶	〃
准教授	伊藤 治彦	アトム・フォトニクス，ナノフォトニクス，原子光学，量子エレクトロニクス	〃
教授	浅田 雅洋	テラヘルツデバイス，テラヘルツエレクトロニクス，ナノ構造半導体のテラヘルツ応答	〃
准教授	渡辺 正裕	ナノデバイス工学，量子効果光電子デバイス，ヘテロエピタキシャル成長，ナノ構造プロセス技術	〃
教授	筒井 一生	電子デバイス，集積化機能デバイス，パワーデバイス，ヘテロエピタキシー，半導体プロセス技術	〃
連携教授	加藤 隆志	有機半導体材料，光電子機能性材料	〃
准教授	飯野 裕明	有機エレクトロニクス，液晶性有機半導体，薄膜トランジスタ，イメージングデバイス	〃
教授	宗片 比呂夫	光スピントロニクス，結晶成長，デバイス作製，磁性体，光物性	〃
准教授	菅原 聡	半導体デバイス，スピンドバイス，集積回路	〃
教授	植之原 裕行	光信号処理，光スイッチング，光ルーティング，光集積デバイス	〃
教授	益 一哉	高速・高周波 CMOS 集積回路，異種機能集積デバイスシステム，ワイヤレスセンサネットワークシステム応用	〃
准教授	伊藤 浩之	通信用 CMOS 集積回路技術，センサネットワークシステム	〃
教授	小山 二三夫	面発光レーザ，光集積回路，光マイクロ・ナノマシン，フォトニックナノ構造による光制御，光ビーム掃引・スイッチング素子	〃

次頁へ続く

指 導 教 員		研 究 分 野	備 考
准教授	宮本 智之	光エレクトロニクス, 光デバイス, 面発光レーザ, 量子効果構造, 半導体ナノ構造	物理電子システム創造専攻専任
准教授	篠崎 隆宏	音声認識, 音声情報処理, 機械学習	物理情報システム専攻専任
教 授	小林 隆夫	音声情報処理, マルチモーダルインタフェース, デジタル信号処理	〃
准教授	金子 寛彦	視覚情報処理, 空間認識, 眼球運動, 知覚適応	〃
連携准教授	佐藤 いまり	視覚情報工学, 画像・光情報処理, 反射解析, コンピュータグラフィックス	〃
連携准教授	渡邊 淳司	触覚情報処理, ヒューマンインタフェース, メディアテクノロジー	〃
教 授	伊東 利哉	理論計算機科学, 計算量理論	〃
准教授	杉野 暢彦	GPGPU 向けコンパイラ, 自動コード並列化, 信号処理システム実現	〃
准教授	黒澤 実	メカトロニクス, アクチュエータ工学, センシング工学	〃
連携教授	藤崎 英一郎	暗号理論, 情報セキュリティ, ゼロ知識証明	〃
教 授	大山 永昭	光情報処理, 医用画像工学, 画像システム	〃
准教授	小尾 高史	医用画像再構成, 医療情報ネットワーク, 認証基盤, 社会情報システム	〃
教 授	熊澤 逸夫	神経回路モデル, 認知科学, 画像処理, 画像符号化, パターン認識, ユーザインターフェイス	〃
教 授	中村 健太郎	超音波デバイス・超音波計測, 光応用計測, 光ファイバセンサ	〃
准教授	田原 麻梨江	超音波工学, 医用超音波	〃
教 授	奥村 学	自然言語処理, テキストマイニング, Web テキスト処理, 機械学習	〃
准教授	吉村 奈津江	脳活動信号処理, ヒューマンインタフェース, 計算論的脳科学	〃
教 授	小池 康晴	ヒューマンインタフェース, 生体工学, 運動制御	〃
教 授	山口 雅浩	光工学, 画像工学 (マルチスペクトルイメージング, 色再現, 多原色ディスプレイ, 医用画像, 3次元画像, ホログラフィ)	〃

- 表中の連携教授・連携准教授を志望する場合は、出願前にそれぞれの専攻の担当教員
(物理電子システム創造専攻 若林整教授 TEL: 045-924-5594, MAIL: wakabayashi.h.ab@m.titech.ac.jp,
物理情報システム専攻 山口雅浩教授 TEL: 045-924-5137, MAIL: yamaguchi.m.aa@m.titech.ac.jp) に相談すること。
- 他の専攻を第1志望とし、物理電子システム創造専攻又は物理情報システム専攻を第2, 第3志望として出願する志願者は、表中備考欄の所属専攻名の記載に注意し、必ず志望する専攻に所属する教員を志望指導教員として選択するようにしてください。

本専攻では指導教員となれない教員一覧 (他専攻が本務の併任教員, 定年・海外出張など)

指 導 教 員		研 究 分 野	備 考
教 授	※半那 純一	大面積電子デバイス材料, 半導体薄膜物性, 液晶性有機半導体材料, 低温ポリシリコン, TFT, 有機電子デバイス, イメージング材料	定年
連携教授	※町田 克之	異種機能集積化インターフェース技術, CMOS LSI技術, MEMS技術, 集積化CMOS-MEMS技術	退任
連携教授	※石橋 幸治	固体電子工学, ナノ構造作成プロセス, ナノデバイス工学	博士後期課程学生のみ指導
教 授	※内川 恵二	視覚情報認識, 色覚学, 色彩工学, 心理物理学	定年
教 授	※佐藤 誠	ヒューマンインタフェース, バーチャルリアリティ, パターン認識, 画像処理	定年
教 授	※長橋 宏	コンピュータビジョン, パターン認識, 画像計測, コンピュータグラフィックス	定年
連携教授	※柏野 牧夫	聴覚情報処理, 認知脳科学, 心理物理学	博士後期課程学生のみ指導
特任教授	※三橋 俊文	眼光学, 光生理学, 光学系開発	退任
連携教授	※合田 憲人	e-サイエンス, 並列・分散計算	退任
連携教授	※住田 一男	自然言語処理, 情報フィルタリング・検索	退任

- ※印を付してある指導教員は、定年、海外出張等のため今回は志望できません。

(このページは落丁ではありません。)

メカノマイクロ工学専攻

専攻の詳細についてはこちらをご覧ください。 <http://www.pms.titech.ac.jp/>

【取得できる学位】

修士（工学）

【併願】

本専攻を第1志望としたときに他の専攻と併願して出願することはできません。

【志望理由書のテーマ等】

以下について、それぞれ述べなさい。

1. 第1志望の研究室名と、その志望理由、希望する研究テーマについて400字程度
2. 第2志望、第3志望の研究室名と、その志望理由を400字以内
(志望する研究テーマとその理由を400字以内で記入してもよい)
3. 興味のある研究分野や内容について、上記の専攻ホームページを参考に、興味のある順番に、キーワードを10個以内提示
(例えば①生体情報処理、②ロボット工学、③メカトロニクス、④アクチュエータ、⑤マイクロマシン、・・・など)

【出願にあたっての注意】

- ・メカノマイクロ工学専攻では、出身学科を問わず、該当分野の研究に意欲的に取り組める学生を求めており、他専攻との併願はできません。
- ・教育上の配慮から教員あたりの合格数が制限される場合があります。また、配属先を決定する際には志望する研究分野を考慮して調整します。
- ・事前に専攻の理解を深めるため、専攻説明会に参加することが望ましい。

【試験実施日程等】

試験区分				試験日	試験内容等	備考
A日程	口述試験			7月29日(水)～ 8月5日(水)	専門分野の基礎知識の試問 研究分野に関する興味と研究意欲に関する試問	日本語にて実施します。 試験実施日は、受験票発送時に通知します。
B日程	筆 答 試 験	外国語科目	英語	筆答試験を実施しません。	本学の指定する英語外部テストのスコアシートを利用します。	詳細は【外部テストのスコアシートの取扱い】参照
			日本語	実施しません。		
		専門科目	メカノマイクロ工学	8月19日(水) 9:30～12:00 13:30～15:30	午前：「メカノマイクロ工学基礎（基礎数学、教養物理、工業力学から15問程度の小問で構成）」 午後：「機械力学」、「材料力学、または制御工学（どちらか一方を選択・解答）」の計2問	専門科目は、日本語の読解ができることを前提に出題します。
	口頭試問			8月26日(水)～ 8月31日(月)	研究意欲や志望理由、卒業研究・大学生活等に関する試問	口頭試問Ⅰにより実施 口頭試問実施日時は受験票発送時に通知します。 日本語にて実施します。

【外部テストのスコアシートの取扱い】

スコアシートは出願時に提出しないでください。提出は以下の通りとします。

①提出方法について

スコアシートは必ず原本を提出してください。コピーの提出やネット画面の提示は認めません。

②提出時期について

スコアシートは7月24日(金)必着で、メカノマイクロ工学専攻事務室まで、簡易書留郵便にて郵送してください。

【専門科目】

専門科目名：メカノマイクロ工学

なお、これに代えて、下記のいずれかの専門科目を受験することができます。

分子生命科学、生体システム、生命情報、生物プロセス、生体分子機能工学、物質科学創造（金属材料系）、物質科学創造（無機材料系）、物質科学創造（化学系）、物質科学創造（物理系）、物質電子化学、材料物理学（物理系）、材料物理学（金属材料系）、材料物理学（無機材料系）、材料物理学（化学系）、創造エネルギー、化学環境学、物理電子・物理情報、知能システム科学

【口頭試問受験資格者の発表】

8月24日(月) 15:00以降17:00までに専攻ホームページにて公表します。 <http://www.pms.titech.ac.jp/>

【過去の筆答試験問題の公表】

ホームページで公表 <http://www.pms.titech.ac.jp/Japanese/exam.html>

【記載内容に関する問い合わせ先】

上記の専攻ホームページにアクセスしてください。願書の締め切り後も、情報を更新することがあります。

メカノマイクロ工学専攻事務室 〒226-8503 横浜市緑区長津田町 4259 番地 G2-24

TEL：045-924-5465 FAX:045-924-5172

指導教員及びその研究分野一覧

メカノマイクロ工学専攻

本専攻で指導教員となれる教員一覧

指 導 教 員		研 究 分 野	備 考
准教授	佐藤 海二	精密運動機構, 精密運動制御, アクチュエータ, マイクロマシン	
教 授	小俣 透	ロボット工学, 医療ロボット, メカトロニクス, MEMS, 制御	
准教授	高山 俊男	ロボティクス, メカトロニクス, 医用機器, 移動ロボット	
准教授	松村 茂樹	機械装置の振動計測および低振動設計	
教 授	新野 秀憲	ナノ加工学, マザーマシン工学, 加工計測, 工作機械工学	
准教授	吉岡 勇人	ナノモーションシステム, 超精密計測システム, 超精密機械システム	
教 授	進士 忠彦	精密機械要素およびシステム, 人工心臓, 磁気応用マイクロデバイス	
准教授	只野 耕太郎	手術支援ロボット, 人間機械システム, 空気圧サーボシステム	
教 授	吉田 和弘	流体マイクロマシン, マイクロアクチュエータ, 機能性流体応用	
教 授	初澤 毅	MEMS/NEMSプロセス, バイオ応用メカノデバイス	
准教授	柳田 保子	バイオMEMS/NEMS, ナノバイオテクノロジー	
教 授	堀江 三喜男	機械運動学, ロボティクス, 知的CAD, マイクロマシン・MEMS の設計・製作論	
准教授	佐藤 千明	微小材料力学, 材料力学, 実験力学, 複合材料	
准教授	金 俊完	MEMS, マイクロメカトロニクス, バイオメカトロニクス	

本専攻では指導教員となれない教員一覧（他専攻が本務の併任教員, 定年・海外出張など）

指 導 教 員		研 究 分 野	備 考
教 授	※香川 利春	圧縮性流体の計測制御, 生体計測, 安全安心シミュレーション	定年
教 授	※北條 春夫	機械騒音の計測と探査, 音波の可視化, 動力伝達系のダイナミクス	定年

1. ※印を付してある指導教員は, 定年, 海外出張等のため今回は志望できません。

知能システム科学専攻

専攻の詳細についてはこちらをご覧ください。 <http://www.dis.titech.ac.jp/>

【取得できる学位】

修士（理学、工学又は学術）

【併願】

本専攻を第1志望としたときに他の専攻と併願して出願することはできません。

【志望理由書のテーマ】

1. 第1志望の研究室とその志望理由（500字程度）
2. 入学後の研究テーマ、研究計画及び将来構想（500字程度）
3. 第2、第3志望の研究室（又は研究分野）とその志望理由（0～500字）

【出願にあたっての注意】

指導教員は面接試験を含む試験の総合的な成績、並びに本人の希望を考慮して決定されます。なお、教育上の配慮から、教員当たりの指導学生数に制限を設けています。また、大学教育改革に伴い、平成28年4月より必修を含む授業科目が変わりますのでご注意ください。

【試験実施日程等】

試験区分				試験日	試験内容等	備考
A日程	口述試験			7月29日（水） ～8月5日（水）	自己アピールまたは入学後の研究構想についてのプレゼンテーション、専門的知識、および英語力の試問を含む。	英語外部テストのスコアシートを利用します。詳細は【外部テストのスコアシートの取扱い】参照 面接会場での資料の持ち込み、配布および発表用機器（OHP、プロジェクター等）の使用はできません。試験実施日は、受験票発送時に通知します。
	B日程	科目 外国語	英語	筆答試験を実施しません。	本学の指定する英語外部テストのスコアシートを利用します。（100点）	詳細は【外部テストのスコアシートの取扱い】参照
			日本語	実施しません。		
		筆答試験 専門科目	知能システム科学	8月18日（火） 9:30～12:30	必須問題（200点） ー教養課程レベルの解析（100点）と線形代数（100点）の2問 選択問題（200点） ー以下の7分野から各2問ずつ、計14問（各100点）が出題されます。14問の中から2問を選択し、解答します。カッコ内のキーワードは出題範囲を表しています。 1. 数学（集合と位相、測度論） 2. 物理（量子力学、統計力学） 3. 機械・制御（機械力学、古典制御） 4. 電気・電子（電気回路、信号処理） 5. 情報（アルゴリズム、オートマトンと言語） 6. 生命・脳（遺伝子発現と生化学、神経生物学） 7. 経済・社会（経済学、経営学）	
			口頭試問	9月1日（火）	自己アピールまたは入学後の研究構想についてのプレゼンテーション、専門的知識、および英語力の試問を含む。	口頭試問Ⅱにより実施 面接会場での資料の持ち込み、配布および発表用機器（OHP、プロジェクター等）の使用はできません。

【外部テストのスコアシートの取扱い】

スコアシートの提出は以下の通りとします。

- ① 提出方法と時期について スコアシートは原本を出願時に提出してください。提出できない場合は7月24日（金）必着で、スコアシートの原本を知能システム科学専攻事務室（※）へ簡易書留にて郵送してください。
- ② その他 スコアシートは、願書提出期限からさかのぼって2年以内に受験したものに限り有効とします。一度スコアシートを提出した後に新たに取得したスコアシートを提出したい場合は、7月24日（金）必着で知能システム科学専攻事務室（※）に郵送してください。また、提出したスコアシートは返却しません。

【専門科目】

専門科目名：知能システム科学

なお、これに代えて、下記のいずれかの専門科目を受験することができます。

分子生命科学、生体システム、生命情報、生物プロセス、生体分子機能工学、人間行動システム、価値システム、経営工学（Aコース）、社会工学、物理電子・物理情報、メカノマイクロ工学

【口頭試問受験資格者の発表】

8月28日（金）12時頃大岡山キャンパス「なごみの広場」（附属図書館の先）で掲示により発表します。また、同日13時頃より、本学ホームページ（新着入試情報）にも掲載します。

【過去の筆答試験問題の公表】

ホームページで公表 <http://www.dis.titech.ac.jp/exam/paper.html>

【記載内容に関する問合わせ先】

知能システム科学専攻入試担当 MAIL:nyushi2016@dis.titech.ac.jp

(*) 《スコアシート提出先》 〒226-8502 神奈川県横浜市緑区長津田町 4259 G3-54 知能システム科学専攻事務室
TEL : 045-924-5207 FAX : 045-924-5207 MAIL : jim@dis.titech.ac.jp

指導教員及びその研究分野一覧

知能システム科学専攻

本専攻で指導教員となれる教員一覧

指 導 教 員		研 究 分 野	備 考
教 授	寺野 隆雄	社会シミュレーション, 知識システム, 進化計算, サービスサイエンス	
准教授	室伏 俊明	非加法的測度論, 集合関数論, 区分線形関数論, 情報視覚化, 形式概念分析	
准教授	石井 秀明	システム制御, ネットワーク化制御, ハイブリッド制御, 制御論における確率的アプローチ	
教 授	新田 克己	人工知能, 論理プログラミング, ヒューマン・インタフェース, 法情報学	
准教授	高安 美佐子	経済物理学, 複雑ネットワーク, 統計物理学, ビッグデータサイエンス	
教 授	小長谷 明彦	バイオインフォマティクス, 分子ロボティクス, バイオイメーキング, 高性能シミュレーション	
教 授	出口 弘	進化経済学, エージェントベースモデリング, 社会システム論, 社会シミュレーション言語開発(SOARS), 経済・社会・組織シミュレーション, サービス科学	
准教授	青西 亨	非平衡統計力学, 非線型動力学, 生物物理学, 計算論的神経科学	
教 授	渡邊 澄夫	確率論, 数理統計, 学習理論	
教 授	樺島 祥介	統計力学, 情報理論, 学習理論, 神経回路網理論	
准教授	瀧ノ上 正浩	生物物理学, 非線形非平衡科学, マイクロ流体工学, 動的自己組織化システム, 分子ロボット/人工細胞	
教 授	三宅 美博	共創システム(Co-creation System), コミュニケーション科学, 認知神経科学, 自己組織システム, ヒューマンインタフェース	
准教授	小野 功	進化計算, 最適化, 人工知能	
教 授	中村 清彦	脳情報科学, 知能情報学, 神経生理学, 人工脳	
准教授	宮下 英三	システム神経科学, 生体運動制御, 神経符号解読	
教 授	山村 雅幸	機械学習, 進化計算, バイオインフォマティクス, DNA コンピューティング	
准教授	木賀 大介	合成生物学, DNA コンピュータ, 試験管内進化	
教 授	中本 高道	ヒューマンインタフェース, 嗅覚ディスプレイ, 感性情報処理, センサ情報処理, 匂いセンシングシステム, バイオセンサ	
准教授	高村 大也	計算言語学, 自然言語処理, テキストマイニング	
准教授	長谷川 晶一	バーチャルリアリティ, ヒューマンインタフェース, 動力学シミュレーション, 力触覚, エンタテインメント工学	
准教授	長谷川 修	人工脳 SOINN, 知能ロボティクス, 実世界知能システム	

1. 本専攻で指導教員となれる教員が追加される場合があります。
最新の情報は専攻ホームページ<http://www.dis.titech.ac.jp/>をご参照ください。

本専攻では指導教員となれない教員一覧 (他専攻が本務の併任教員, 定年・海外出張・任期満了など)

指 導 教 員		研 究 分 野	備 考
教 授	※長橋 宏	画像処理, コンピュータビジョン, 機械学習・認識	定年
教 授	※佐藤 誠	ヒューマンインタフェース, バーチャルリアリティ, 画像処理	定年
講座外准教授	※董 芳艶	計算知能, 組み合わせ最適化	講座外・特任准教授
連携教授	※福水 健次	機械学習, 統計的学習理論, 数理統計学, 神経回路網理論	外部連携 任期満了

次頁へ続く

指 導 教 員		研 究 分 野	備 考
連携教授	※木川 隆則	構造生物学, 構造プロテオミクス, NMR, 無細胞たんぱく質合成	外部連携 任期満了
連携教授	※山田 誠二	人工知能, HAI: ヒューマンエージェントインタラクション, 知的インタラクティブシステム	外部連携 任期満了
連携教授	※野田 五十樹	マルチエージェント社会シミュレーション, 災害情報共有・災害救助ロボットシステム, マルチエージェント学習	外部連携 任期満了
連携教授	※池田 思朗	情報理論, 信号処理, 情報幾何学	外部連携 任期満了
連携教授	※本村 陽一	大規模データに基づく人間行動予測モデル, 生活支援技術とその社会応用	外部連携 任期満了
連携教授	※赤穂 昭太郎	数理工学, 機械学習, パターン認識, データマイニング, 情報幾何学	外部連携 任期満了
連携教授	※柴田 崇徳	インテリジェンス, インタラクション, 身体性, 神経学的セラピー, 脳機能, 認知科学	外部連携 任期満了
連携教授	※矢野 和男	ビッグデータ解析, スマートシティ, ライフログ分析, 統計物理/数理, 知能増幅, 社会行動分析	外部連携 任期満了
連携教授	※吉川 厚	認知科学, 教育工学, ヒューマン・インタフェース, エージェント・ベース・モデリング	外部連携 任期満了
連携教授	※齋藤 智也	バイオセキュリティ, 公衆衛生危機管理, 感染症疫学	外部連携 任期満了
連携教授	※豊泉 太郎	計算神経科学, 理論神経科学, 活動依存性可塑性, 神経回路ダイナミクス, 神経情報処理	外部連携 任期満了
連携教授	※本間 光貴	分子創薬	外部連携 任期満了

1. ※印を付してある指導教員は、定年、海外出張、任期満了等のため今回は志望できません。

情報理工学研究科

数理・計算科学専攻

専攻の詳細についてはこちらをご覧ください。 <http://www.is.titech.ac.jp/>

【取得できる学位】

修士（理学）

【併願】

本専攻を第1志望としたときに他の専攻と併願して出願することはできません。

【志望理由書のテーマ等】

志望研究室・研究分野など本専攻に対する志望理由を1,000字程度にまとめたもの。

【出願にあたっての注意】

出願に際しては、事前に第1志望の指導教員に必ず連絡すること。入学志願票には第3志望の指導教員まで記述することが望ましい。

【試験実施日程等】

試験区分				試験日	試験内容等	備考
A日程	口述試験			実施しません。		
B日程	筆答試験	外国語科目	英語	筆答試験を実施しません。	本学の指定する英語外部テストのスコアシートを利用します。	詳細は【外部テストのスコアシートの取扱い】参照
			日本語	実施しません。		
		専門科目	数理・計算科学	8月19日（水） 9:30～13:00		
	口頭試問			8月20日（木）～ 8月21日（金）		口頭試問Ⅰにより実施 口頭試問実施日時については受験票発送時に通知します。

【外部テストのスコアシートの取扱い】

スコアシートは原本を出願時に提出してください。なお、一度提出したスコアシートの差し替えは一切認めません。

提出したスコアシートの返却を希望する者にはB日程口頭試問時に返却します。

【専門科目】

専門科目名：数理・計算科学

【口頭試問受験資格者の発表】

筆答試験受験者全員に口頭試問を行います。

【過去の筆答試験問題の公表】

ホームページで公表 <http://www.is.titech.ac.jp/>

【記載内容に関する問い合わせ先】

MAIL：info-service-admin@is.titech.ac.jp

指導教員及びその研究分野一覧

数理・計算科学専攻

本専攻で指導教員となる教員一覧

指 導 教 員		研 究 分 野	備 考
教 授	○伊東 利哉	理論計算機科学, 計算量理論	物理情報システム専攻
教 授	梅原 雅顕	微分幾何学, 平均曲率一定曲面, 特異点をもつ曲線, 曲面, 超曲面の幾何学	
准教授	○遠藤 敏夫	高性能計算システム	学術国際情報センター
准教授	鹿島 亮	数理論理学	
教 授	○樺島 祥介	統計力学, 情報理論, 学習理論, 神経回路網理論	知能システム科学専攻
教 授	小島 定吉	トポロジー, 幾何学, 実験数学	
准教授	首藤 一幸	ソフトウェア, 大規模分散システム, インターネット	
准教授	鈴木 大慈	統計学, 機械学習	
准教授	田中 圭介	暗号理論, 計算複雑さ, アルゴリズムの設計と解析	
准教授	寺嶋 郁二	微分位相幾何学, 数理解物理, 数論的位相幾何学	
准教授	○中野 張	数理ファイナンス, 確率制御, 確率論	技術経営専攻
教 授	西畑 伸也	偏微分方程式論, 非線形双曲型保存則, 流体の方程式	
准教授	福田 光浩	最適化・数理計画法	
教 授	増原 英彦	プログラミング言語, ソフトウェア開発環境	
教 授	○松岡 聡	高性能システムソフトウェア, 大規模並列処理, クラスタ・グリッドコンピューティング	学術国際情報センター
准教授	三浦 英之	非線形偏微分方程式	
教 授	三好 直人	応用確率論, 確率モデル, 待ち行列理論	
准教授	山下 真	数理最適化, 数値最適化手法	
准教授	脇田 建	大規模社会ネットワーク解析, グラフ構造可視化, プログラミング言語	
教 授	渡辺 治	計算複雑さの理論, アルゴリズム理論	
教 授	○渡邊 澄夫	確率論, 数理統計, 学習理論	知能システム科学専攻

1. ○印を付してある指導教員は, 備考欄の専攻等を本務とする併任教員ですが, 他の教員と同様に志望できます。

計算工学専攻

専攻の詳細についてはこちらをご覧ください。 <http://www.cs.titech.ac.jp/cs-home-j.html>

【取得できる学位】

修士（工学）

【併願】

本専攻を第1志望としたときに併願できる専攻の組み合わせについては下記の通りです。

（第1志望：計算工学，第2志望：通信情報工学）

（第1志望：計算工学，第2志望：通信情報工学，第3志望：物理情報システム）

（第1志望：計算工学，第2志望：通信情報工学，第3志望：人間行動システム）

（第1志望：計算工学，第2志望：物理情報システム）

（第1志望：計算工学，第2志望：人間行動システム）

【志望理由書のテーマ等】

志望研究室・研究分野に対する志望理由を300字程度にまとめる。

【試験実施日程等】

試 験 区 分				試験日	試験内容等	備考
A日程	口 述 試 験			7月29日（水）～ 8月5日（水）	出身大学学部学業成績上位者をA日程受験資格者とし、卒論、志望する研究分野等に関する専門的知識の試問を行います。	・試験実施日時は、受験票発送時に通知します。 ・A日程試験の可否は口述試験および出願書類を総合的に評価し決定します。 ・A日程試験が不合格となった場合はB日程試験を受験してください。
	B日程	筆答試験	外国語科目	英 語	筆答試験を実施しません。	本学の指定する英語外部テストのスコアシートを利用します。
日 本 語			実施しません。			
口 頭 試 問		専門科目	情報工学	8月19日（水） 9:30～12:30	下記より5問程度を出題します。全問を解答してください。 微分積分学，線形代数学，フーリエ解析・ラプラス変換，確率・統計，組み合わせ理論，数理論理学，オートマトンと形式言語理論，情報理論，通信方式，デジタル電子回路，論理回路，計算機論理設計，計算機構成，データ構造とアルゴリズム，プログラミング言語	
				8月21日（金） 14:00～	筆答試験成績上位者を口頭試問受験資格者とし、筆答試験成績及び志望する研究分野、志望する指導教員により可否を判定します。可否判定にあたり口述試験受験資格の有無、口述試験成績は考慮しません。	口頭試問Ⅰにより実施

【口述試験について】

計算工学専攻，通信情報工学専攻の2専攻はA日程試験の口述試験を合同で行います。これら2専攻を併願している口述試験受験者は，第1志望専攻または第2志望専攻のいずれかに合格する可能性があります。

【外部テストのスコアシートの取扱い】

- スコアシートは原本を出願時に提出してください。コピーの提出は認めません。
- やむをえない理由により提出が間に合わない場合は，外部テスト受験票の写しと理由書（A4で1頁，様式随意）を出願時に提出した上で，受験日程に応じて（2-1）もしくは（2-2）の方法でスコアシートを提出してください。
 - A日程受験資格者は，スコアシートの原本をA日程試験当日に持参してください。持参できない場合は，A日程の試験は受験できず，自動的にB日程受験資格者となります。
 - B日程受験資格者は，スコアシートの原本を，「スコアシート在中」と朱書した封筒に入れ，下記の＜＜スコアシート提出先＞＞まで簡易書留郵便にて8月10日（月）必着で郵送してください。この期日までに届かなかった場合は，B日程試験の受験資格は失われます。ただし，口述試験でスコアシートを提出したA日程試験受験者がB日程試験を受験する場合は，郵送による提出を無断で省略することができ，この場合は口述試験で提出したスコアシートが自動的に利用されます。

【専門科目】

専門科目名：情報工学

【口頭試問受験資格者の発表】

8月21日（金）13時に大岡山キャンパス西8号館E棟10階1001号室（情報理工学研究科大会議室）にて掲示します。

【過去の筆答試験問題の公表】

ホームページで公表 <http://www.cs.titech.ac.jp/cs-home-j.html>

【記載内容に関する問い合わせ先】

篠田浩一教授 (MAIL : inquiry2015@cs.titech.ac.jp)

<<スコアシート提出先>> (B日程試験受験者の場合)

〒152-8552 東京都目黒区大岡山 2-12-1 W8-24 東京工業大学情報理工グループ計算工学専攻担当

指導教員及びその研究分野一覧

計算工学専攻

本専攻で指導教員となれる教員一覧

指 導 教 員		研 究 分 野	備 考
教 授	秋山 泰	バイオインフォマティクス, 創薬支援コンピューティング, 大規模並列処理応用, 機械学習応用	
教 授	○亀井 宏行	考古遺跡の物理探査, 考古情報学 (データマイニング, GIS応用)	博物館
教 授	小池 英樹	ヒューマン・コンピュータインタラクション, コンピュータビジョンとその応用, コンピュータグラフィックスと視覚化, セキュリティとユーザビリティ	
教 授	○榎藤 克彦	ソフトウェア工学, ソフトウェア開発環境, プログラミング言語	学術国際情報センター
教 授	佐伯 元司	ソフトウェア工学 (ソフトウェア設計論, 要求工学, ソフトウェアプロセス, グループウェア)	
教 授	篠田 浩一	音声・画像・映像の認識・理解, ヒューマン・コンピュータインタラクション, 統計的パターン処理	
教 授	徳永 健伸	計算言語学, 自然言語処理, 知的情報アクセス	
教 授	宮崎 純	大規模コンピューティング, 情報検索・情報推薦, ヒューマンインタフェース	
教 授	横田 治夫	データ工学 (データベース, 並列分散データ処理, 高機能ストレージシステム, ディペンダブルシステム)	
客員教授	○井上 克巳	人工知能 (推論, 知識表現, 学習), 論理プログラミング, マルチエージェントシステム, システム生物学	情報環境学専攻・国立情報学研究所
准教授	石田 貴士	データマイニング, バイオインフォマティクス, 大規模データ解析, 機械学習	
准教授	金子 晴彦	統合符号化 (データ圧縮, 暗号化, 誤り制御符号化), ディペンダブルシステム, 高信頼ストレージシステム	
准教授	吉瀬 謙二	計算機アーキテクチャ (高速化, 低消費電力化, 性能検証, マルチプロセッサ, 大規模システム, 組み込みシステム)	
准教授	小林 隆志	ソフトウェア工学 (ソフトウェア保守, プログラム解析, プログラム理解, 開発支援ツール, ソフトウェア設計)	
准教授	西崎 真也	プログラミング言語意味論, 関数型言語, ソフトウェア検証	
准教授	藤井 敦	自然言語処理, 情報検索, Webマイニング	
准教授	村田 剛志	人工知能, Webマイニング, リンクマイニング, 社会ネットワーク分析	
准教授	渡部 卓雄	形式手法, 自己反映計算, 並行計算, 並列処理, プログラミング言語の設計と実装	

1. ○印を付してある指導教員は, 備考欄の専攻等を本務とする併任教員ですが, 他の教員と同様に志望できます。

本専攻では指導教員となれない教員一覧 (他専攻が本務の併任教員, 定年・海外出張など)

指 導 教 員		研 究 分 野	備 考
教 授	※徳田 雄洋	ソフトウェア生成系, ソフトウェアアーキテクチャ, Web工学, 情報ネットワーク, 知識資源自動取得	定年時期との関係による
准教授	※関嶋 政和	バイオインフォマティクス, 創薬インフォマティクス, 生体分子シミュレーション, 大規模並列処理	任期との関係による

1. ※印を付してある指導教員は, 定年, 海外出張等のため今回は志望できません。

情報環境学専攻（機械系）

専攻の詳細についてはこちらをご覧ください。 <http://www.mei.titech.ac.jp/>

【取得できる学位】

修士（工学）

【併願】

本専攻を第1志望としたときに併願できる専攻の組み合わせについては下記の通りです。

（第1志望：機械・制御情報系、第2志望：人間行動システム）

【志望理由書のテーマ等】

特段のテーマは設けません。

【出願にあたっての注意】

- ・情報環境学専攻は、指導教員の研究分野に応じて機械系と社会・環境系に大別されています。
- ・情報環境学専攻（機械系）・機械物理工学専攻・機械制御システム専攻・機械宇宙システム専攻は、「**機械・制御情報系**」という**1専攻の体制で入試を実施します**ので、情報環境学専攻（機械系）・機械物理工学専攻・機械制御システム専攻・機械宇宙システム専攻を志望する出願者は、**各書類の志望専攻欄に「機械・制御情報系」と記入してください**。志望する指導教員名欄には、これらの専攻の教員名を記入してください。このとき、1つの専攻の教員名のみでも、複数の専攻の教員名を含んでも構いません。詳細については、36～38、96ページに掲載されている指導教員及びその研究分野一覧を参照してください。
- ・受験票送付時に、志願票に記載した第1～第3志望の指導教員の他に第4志望以降の指導教員を調査するための補足調査票を同封しますので、志望を記入の上、A日程受験者は口述試験当日に、B日程受験者は筆答試験当日に試験会場まで持参してください。

【試験実施日程等】

試 験 区 分				試験日	試験内容等	備考
A日程	口 述 試 験			7月29日（水）～ 8月5日（水）	学力ならびに適性に関する試問	A日程受験資格者は、学部3年次までの成績及び英語外部テストのスコアによって決定します。 試験実施日は、受験票発送時に通知します。
	B日程	外国語科目	英 語	筆答試験を実施しません。	本学の指定する英語外部テストのスコアシートを利用します。 配点：200点（外部テストのスコアに基づいて評価します。）	詳細は【外部テストのスコアシートの取扱い】参照
日 本 語			実施しません。			
筆答試験 専門科目		機械・制御情報系	8月19日（水） 9:30～10:30 10:45～11:45 13:30～16:30	・数学（1時間） 線形代数、微積分学、微分方程式など ・物理（1時間） 力学を中心として ・選択専門科目（3時間） 以下の8分野の問題より4つを選択 1)材料・加工 2)材料力学 3)機構運動・機械力学 4)流体力学 5)熱力学・伝熱工学 6)制御理論 7)信号処理 8)電気回路 配点：数学200点、物理200点、選択専門科目600点（各問題150点） 選択専門科目については、各問題間に難易差に基づくものとみられる平均点差が生じた場合には得点調整を行います。		
			口 頭 試 問			8月25日（火）

【外部テストのスコアシートの取扱い】

スコアシートは原本を必ず出願時に提出してください。出願受付締切後の提出は一切認めません。

【専門科目】

専門科目名：機械・制御情報系

【口頭試問受験資格者の発表】

8月21日（金）17時頃大岡山キャンパス、石川台地区、石川台1号館1階ロビーで掲示により発表します。また、同日18時頃より、ホームページ<http://www.3mech.titech.ac.jp/admission.html>にも掲載します。

【過去の筆答試験問題の公表】

ホームページ http://www.mei.titech.ac.jp/index_files/nyuushi-2.html で公表します。

【記載内容に関する問い合わせ先】

機械・制御情報系入試担当 京極 啓史, E-mail : kyogokuk@mep.titech.ac.jp

指導教員及びその研究分野一覧

情報環境学専攻（機械系）

本専攻で指導教員となる教員一覧

指 導 教 員		研 究 分 野	備 考
教 授	天谷 賢治	【現象の情報化と意思決定】逆解析, 最適化, 計算力学, レーザ解析, 腐食解析, 電気化学解析, 数値シミュレーション, データ同化	
准教授	八木 透	【現象の情報化と意思決定】医用生体工学, 福祉工学, 神経工学, 脳科学, 視覚科学, ヒューマンインタフェース, 生体信号計測/処理	
教 授	中島 求	【人間環境情報】バイオメカニクス, バイオロボティクス, 筋骨格シミュレーション, 生体運動, スポーツ工学, 福祉工学	
准教授	宮崎 祐介	【人間環境情報】バイオメカニクス, 傷害予防工学, デジタル・ヒューマン・モデリング	
教 授	木村 康治	【情報環境適応】振動学, 不規則振動, 確率力学, 非線形力学, 流体関連振動, 信頼性, 耐震	
准教授	中尾 裕也	【情報環境適応】非線形ダイナミクス, リズム現象, 自己組織化現象, 確率モデル	
教 授	井村 順一	【自律分散協調システム】システム制御理論, ネットワーク制御, システムバイオロジ, 電力ネットワーク制御, ハイブリットシステム	
准教授	早川 朋久	【自律分散協調システム】制御工学, 非線形力学系理論, 適応・学習制御, ニューラルネットワークを含むインテリジェント制御, 航空宇宙工学, 確率システム	
教 授	笹島 和幸	【情報環境センシング】機械情報モデル, 機械情報計測, 計測情報認識, 知的センシング, カオス, フラクタル, 精密システム, 表面形状科学, 形状工学	
准教授	原 精一郎	【情報環境センシング】表面形状センシング, 計測情報処理・評価, 品質工学・感性工学援用設計, 加工情報センシング, 表面形状生成	
連携教授	中臺 一博	【ロボット情報学】信号処理, ロボティクス, 人工知能, ロボット聴覚, 音環境理解, 音声認識, 音源分離・追跡, 人・ロボットコミュニケーション	(株) ホンダ・リサーチ・インスティテュート・ジャパン

情報環境学専攻（社会・環境系）

専攻の詳細についてはこちらをご覧ください。 <http://www.mei.titech.ac.jp/index.html>

【取得できる学位】

修士（工学）

【併願】

本専攻を第1志望としたときに併願できる専攻の組み合わせについては下記の通りです。

（第1志望：情報環境学（社会・環境系）、第2志望：土木工学）

（第1志望：情報環境学（社会・環境系）、第2志望：建築学）

【志望理由書のテーマ等】

特段のテーマは設けません。

【出願にあたっての注意】

情報環境学専攻は、指導教員の研究分野に応じて機械系と社会・環境系に大別されています。情報環境学専攻（社会・環境系）の指導教員を志望する出願者は、各書類の志望専攻欄に【情報環境学（社会・環境系）】と記入してください。

【試験実施日程等】

試験区分				試験日	試験内容等	備考
A日程	口述試験			7月29日（水）～ 8月5日（水）	学力ならびに適性に関する試問	試験実施日は、受験票発送時に通知します。
B日程	筆記試験	外国語科目	英語	筆答試験を実施しません。	本学の指定する英語外部テストのスコアシートを利用します。 スコアは100点満点に換算します。	詳細は【外部テストのスコアシートの取扱い】参照
			日本語	実施しません。		
	専門科目	情報環境学(社会・環境系)		8月19日（水） 9:30～11:30 13:30～16:00	午前：小論文 午後：選択専門問題（情報、環境、防災、都市、計画、数理などに関する専門科目から1問選択）、総合問題（文献、資料の理解力、口頭発表を含む表現力などを問う）	
		口頭試問		9月1日（火）	適性に関する試問	口頭試問Ⅱにより実施

【外部テストのスコアシートの取扱い】

スコアシートは原本を出願時に提出してください。提出できない場合は、スコアシートを7月24日（金）（必着）までに下記の専攻問合せ先まで簡易書留郵便にて郵送してください。また、スコアシートを提出した後に、新たに取得したスコアシートを提出したい場合は、A日程口述試験当日又はB日程口頭試問当日に、新たに取得したスコアシートを持参してください。

【専門科目】

専門科目名：情報環境学（社会・環境系）

なお、これに代えて、下記のいずれかの専門科目を受験することができます。

土木工学、E:建築学（共通・建築学コース）、社会工学

【口頭試問受験資格者の発表】

8月28日（金）12時頃大岡山キャンパス「なごみの広場」（附属図書館の先）で掲示により発表します。また、同日13時頃より、本学ホームページ（新着入試情報）にも掲載します。

【過去の筆答試験問題の公表】

ホームページで公表 <http://www.mei.titech.ac.jp/index.html>

【記載内容に関する問い合わせ先】

東京工業大学 大学院情報理工学研究科事務室 情報環境学専攻係

〒152-8552 東京都目黒区大岡山2丁目12番1号

TEL：(03)5734-2106/FAX：(03)5734-3747/MAIL：jyokanjim@jim.titech.ac.jp

指導教員及びその研究分野一覧

情報環境学専攻（社会・環境系）

本専攻で指導教員となる教員一覧

指 導 教 員		研 究 分 野	備 考
教 授	樋口 洋一郎	計量政策科学, 社会工学, 社会経済ネットワーク論, 計量経済学	
准教授	十代田 朗	都市・地域計画学, 都市計画史, 観光リゾート発達史, 観光計画論	
教 授	灘岡 和夫	水圏環境学, 生態系保全学, 生態環境モデリング・モニタリング, 海岸・海洋工学, 統合沿岸管理計画	
教 授	廣瀬 壮一	応用力学, 波動・振動解析, 非破壊評価	
准教授	鍵 直樹	建築環境工学, 建築設備, 室内空気質, 空気清浄	
教 授	大佛 俊泰	数理モデルを用いた都市・建築空間分析, 社会統計調査などに基づく広域知識ベースの活用手法, 地理情報システムの理論と応用	
准教授	三上 貴正	住環境の日常安全性評価, 建造物の耐久性・健全性評価, 建築材料構法	
准教授	松下 幸敏	計量経済学, 統計学	
講 師	中村 隆志	生態系モデリング及び数値シミュレーション, 沿岸生態学, 生物地球科学, 物質循環	

(このページは落丁ではありません。)

社会理工学研究科

人間行動システム専攻

専攻の詳細についてはこちらをご覧ください。 <http://www.hum.titech.ac.jp/>

【取得できる学位】

修士（工学、学術又は理学）

【併願】

本専攻を第1志望としたときに併願できる専攻の組み合わせについては下記のとおりです。

（第1志望：人間行動システム専攻、第2志望：価値システム専攻）

機械・制御情報系、電気電子工学・電子物理学、通信情報工学専攻又は計算工学専攻を第1志望としたときに、本専攻を併願して出願することができます。

【志望理由書のテーマ等】

志望研究室・研究分野など本専攻に対する志望理由を1,000字程度にまとめたもの。

【出願にあたっての注意】

- ・教育上の配慮から、教員あたりの合格者数が制限される場合があります。また、指導教員の決定に当たっては、成績が優先されます。
- ・本専攻に、慶應義塾大学大学院経済学研究科から、ジョイントディグリー制度により出願する志願者は、出願書類の他に研究科委員長によるコース所属証明書（様式随意）を提出してください。

【試験実施日程等】

試験区分				試験日	試験内容等	備考
A日程	口述試験			7月29日（水） ～8月5日（水）	志望する専門分野に関する学力及び適性などに関する試問	試験実施日は、受験票発送時に通知します。
	B日程	外国語科目	英語	筆答試験を実施しません。	本学の指定する英語外部テストのスコアシートを利用します。 スコアは100点満点に換算します。	詳細は【外部テストのスコアシートの取扱い】参照
			日本語	実施しません。		
		専門科目	人間行動システム	8月19日（水） 9:30～12:00	小論文1問及び下記から任意の2問を選択して解答 統計基礎2問 情報基礎3問 数学基礎1問 各分野の出題範囲は上記の専攻ホームページを参照	専門試験の出題において、日本語読解ができることを前提に出題します。
			口頭試問	9月3日（木）	志望する専門分野に関する学力及び適性などに関する試問	口頭試問Ⅱにより実施

【外部テストのスコアシートの取扱い】

スコアシートは原本を出願時に提出してください。提出できない場合は、以下の通りとします。

スコアシートを出願時に提出できない場合は、下記の締切の日までに専攻問合せ先まで簡易書留郵便にて郵送してください。

なお、第一次締切までにスコアシートが到着しない場合は、口述試験の受験対象者となりません。最終締切までに提出されない場合は不合格になります。

第一次締切：7月7日（火）必着

最終締切：8月4日（火）必着

※出願後、最終締切までに、より成績の高いスコアを簡易書留郵便にて提出すれば、資格・合否判定時に届いている最新のスコアに基づいてそれらの判定を行います。提出先は下記の専攻問合せ先です。

【専門科目】

専門科目名：人間行動システム

【口頭試問受験資格者の発表】

8月28日（金）12時頃大岡山キャンパス「なごみの広場」（附属図書館の先）で掲示により発表します。また、同日13時頃より、本学ホームページ（新着入試情報）にも掲載します。

【過去の筆答試験問題の公表】

ホームページで公表 <http://www.hum.titech.ac.jp/>

過去問は過去5年分についてはホームページで公表しています。

【記載内容に関する問い合わせ先】

〒152-8552 東京都目黒区大岡山2-12-1 W9-14

東京工業大学 社会理工学研究科 人間行動システム専攻長

MAIL: head15@hum.titech.ac.jp

指導教員及びその研究分野一覧

人間行動システム専攻

本専攻で指導教員となれる教員一覧

指 導 教 員		研 究 分 野	備 考
准教授	山岸 侯彦	認知科学, 意思決定論	
教 授	室田 真男	教育工学, 教育・学習システム開発	
准教授	松田 稔樹	教育工学, 数学・科学技術・情報教育, 教育方法, e-learning, ゲーミング・シミュレーション, ヒューマンインターフェース	
教 授	前川 眞一	心理測定, テスト理論, 尺度構成法, 応用統計学, ベイズ統計学	
教 授	林 直亨	応用生理学, 運動生理学, 摂食, 精神作業に伴う自律神経・循環応答	
准教授	丸山 剛生	バイオメカニクス, スポーツ工学, 生体情報	
准教授	須田 和裕	運動生理学, スポーツ (ボールゲーム) における行動解析, スポーツ認知心理学	
准教授	赤間 啓之	脳画像解析(fMRI)と機械学習, 複雑ネットワーク, 神経言語学	
教 授	中山 実	知覚認知, 言語理解, ヒューマンファクタ, 教育システム評価, 教育工学	
准教授	青柳 貴洋	環境電磁工学, 電波伝搬	
准教授	西方 敦博	教育工学, 聴覚ディスプレイ, 生体電磁環境, 電磁波工学	
教 授	○亀井 宏行	考古探査, 考古情報学, 文化財情報学	博物館
准教授	○脇田 建	ソフトウェア科学, プログラミング言語, 複雑系ネットワーク	数理・計算科学専攻
准教授	○平川 八尋	日本語文法, 対照言語学, 外国語教授法	留学生センター
准教授	○山元 啓史	コーパス言語学, 計量言語学, 日本語教育システム論	留学生センター
教 授	○野原 佳代子	言語学, 翻訳理論, 科学技術コミュニケーション論	留学生センター

1. ○印を付してある指導教員は、備考欄の専攻等を本務とする併任教員ですが、他の教員と同様に志望できます。

本専攻では指導教員となれない教員一覧 (他専攻が本務の併任教員, 定年・海外出張など)

指 導 教 員		研 究 分 野	備 考
教 授	※中川 正宣	思考心理学, 学習理論, 数理モデル	平成28年3月定年
教 授	※西原 明法	教育工学, 信号処理, マルチメディア	平成28年3月定年
教 授	※武井 直紀	日本語教育, 第二言語習得, ビジネス・社会人日本語	平成28年3月定年

1. ※印を付してある指導教員は、定年、海外出張等のため今回は志望できません。

価値システム専攻

専攻の詳細についてはこちらをご覧ください。 <http://www.valdes.titech.ac.jp/>

【取得できる学位】

修士（理学，工学又は学術）

【併願】

本専攻を第1志望としたときに併願できる専攻の組み合わせについては下記の通りです。

（第1志望：価値システム専攻，第2志望：人間行動システム専攻）

【志望理由書のテーマ等】

これまで行った学習や研究の内容及び修士課程で予定している学習・研究の目的・内容・計画等について，本専攻との関連性に注意して1,000字程度にまとめたもの。

【出願にあたっての注意】

・本専攻に，慶應義塾大学大学院経済学研究科から，ジョイントディグリー制度により出願する志願者は，出願書類の他に研究科委員長名によるコース所属証明書（様式随意）を提出してください。

【試験実施日程等】

試 験 区 分			試験日	試験内容等	備考																				
A日程	口 述 試 験		7月29日（水）～ 8月5日（水）	専門的知識の試問 学士論文研究等の内容及び修士課程での 研究計画についての試問	試験実施日は、受験票発 送時に通知します。																				
B日程	筆答試験	外国語科目	英 語 8月18日（火） 14:00～15:00	筆答試験を実施します（一般的読解，作 文）。満点は50点 ・本学の指定する英語外部テストのスコア シートの提出により受験に代えること ができます。その場合，スコアは，一定 の基準で筆答試験の得点として換算さ れます。 《外部試験換算の目安》 <table><tr><td>TOEIC</td><td>TOEFL -PBT</td><td>TOEFL -iBT</td><td>換算後英語 得点（50点 満点）</td></tr><tr><td>850</td><td>592</td><td>97</td><td>約50点</td></tr><tr><td>725</td><td>548</td><td>78</td><td>約40点</td></tr><tr><td>600</td><td>504</td><td>63</td><td>約30点</td></tr><tr><td>500</td><td>470</td><td>52</td><td>約20点</td></tr></table>	TOEIC	TOEFL -PBT	TOEFL -iBT	換算後英語 得点（50点 満点）	850	592	97	約50点	725	548	78	約40点	600	504	63	約30点	500	470	52	約20点	辞書持ち込み不可 詳細は【外部テストのス コアシートの取扱い】参 照
				TOEIC	TOEFL -PBT	TOEFL -iBT	換算後英語 得点（50点 満点）																		
				850	592	97	約50点																		
				725	548	78	約40点																		
	600	504	63	約30点																					
500	470	52	約20点																						
日 本 語	8月18日（火） 15:30～16:30		留学生のみに適用																						
専門科目	価値システム	8月19日（水） 9:30～12:30	理系Ⅰ，理系Ⅱ，文系Ⅰ，文系Ⅱから2問 を選択し解答する。各100点満点×2 試験内容の詳細は上記の専攻ホームペー ジをご覧ください。	日本語・英語どちらで解 答してもよい 辞書持ち込みは不可																					
口 頭 試 問		9月3日（木）		口頭試問Ⅱにより実施																					

【外部テストのスコアシートの取扱い】

スコアシートは原本を必ず出願時に提出してください。出願受付締切後の提出は一切認めません。

また，一度提出したスコアシートの差し替えは一切認めません。

【専門科目】

専門科目名：価値システム

【口頭試問受験資格者の発表】

8月28日（金）12時頃大岡山キャンパス「なごみの広場」（附属図書館の先）で掲示により発表します。また，同日13時頃より，本学ホームページ（新着入試情報）にも掲載します。

【過去の筆答試験問題の公表】

ホームページで公表 <http://www.valdes.titech.ac.jp/>

【記載内容に関する問い合わせ先】

東京工業大学大学院社会理工学研究科 価値システム専攻事務室

大岡山キャンパス西9号館7階714号室

TEL：03-5734-3624

指導教員及びその研究分野一覧

価値システム専攻

本専攻で指導教員となれる教員一覧

指 導 教 員		研 究 分 野	備 考
教 授	桑子 敏雄	社会的合意形成学, 価値構造論, 環境・生命・情報倫理	平成 29 年 3 月末定年
准教授	金子 宏直	法学 (特に民事訴訟法, 倒産法, 知的財産法, 電子証拠法)	
准教授	○戦 暁梅	東アジア絵画史, 日中美術交渉史, 国際日本文化論	外国語研究教育センター
准教授	谷口 尚子	計量政治学, 研究方法論 (統計分析, 社会調査, 実験)	
准教授	中丸麻由子	社会シミュレーション, 人間行動進化論	
准教授	○江川 緑	精神保健学 (多文化間精神保健・職場の精神保健・地域精神保健), 組織行動論, 共生社会論	大学マネジメントセンター
教 授	猪原 健弘	社会モデリング, 意思決定	
教 授	坂野 達郎	社会工学, 公共システムデザイン	
教 授	○劉 岸偉	近代日中文化交流論, 比較文化史, 比較文学	外国語研究教育センター
教 授	後藤 美香	経済学, 生産性分析, 経営効率性評価, エネルギー産業論	
教 授	池上 雅子	国際政治学・安全保障論, 紛争予防と信頼醸成, 軍縮軍備管理・核不拡散, 科学技術政策論	
教 授	○上田 紀行	文化人類学, 比較価値論 (癒し・宗教, 社会変革論)	リベラルアーツセンター
准教授	○伊藤 亜紗	美学, 現代アート	リベラルアーツセンター
教 授	○中島 秀人	科学技術史, 科学技術社会論	経営工学専攻
教 授	○梶 雅範	科学史, 化学史, 科学社会学, 科学技術社会論	経営工学専攻
教 授	○上西 哲雄	アメリカ文学・文化	外国語研究教育センター
教 授	○ヒューダ フェンティ	音楽学, 日本芸能史	外国語研究教育センター
准教授	○山元 啓史	言語学, 歴史言語学, 語彙論, 日本語教育	留学生センター
准教授	○平川 八尋	日本語教育, 言語学	留学生センター
准教授	○佐藤 礼子	日本語教育学, 教育心理学	留学生センター
教 授	○出口 弘	進化経済学, エージェントベースモデリング, 社会システム論, サービスシステム科学, ゲーミングシミュレーション, 科学哲学, コンテツ産業&文化論	知能システム科学専攻
教 授	○新田 克己	知的エージェント, 調停教育支援システム, ヒューマンインターフェイス	知能システム科学専攻
連携教授	○樋 浩一	日本経済論, 経済政策, 景気循環	外部連携 (ニッセイ基礎研究所)
連携教授	○志村 近史	創発マネジメント (事業開発, IT, 地域経営) 社会システム論 (社会実験), 組織開発	外部連携 (野村総合研究所)
連携准教授	○飛田 博史	地方財政論	外部連携 (地方自治総合研究所)

1. ○印を付してある指導教員は、備考欄の専攻等を本務とする併任教員ですが、他の教員と同様に志望できます。

本専攻では指導教員となれない教員一覧 (他専攻が本務の併任教員, 定年・海外出張など)

指 導 教 員		研 究 分 野	備 考
教 授	※木嶋 恭一	意思決定システム科学, サービスシステムサイエンス, システム・マネジメント	平成 28 年 3 月末定年

1. ※印を付してある指導教員は、定年、海外出張等のため今回は志望できません。

経営工学専攻

専攻の概要についてはこちらをご覧ください。 <http://www.me.titech.ac.jp/>

【取得できる学位】

修士（工学、理学又は学術）

【併願】

本専攻を第1志望としたときに他の専攻と併願して出願することはできません。

【志望理由書のテーマ等】

志望研究室・研究分野など本専攻に対する志望理由を1,000字程度にまとめたもの。

【出願にあたっての注意】

- 志願者は、出願手続をする前に、あらかじめ志望する指導教員に相談してください。
- 本専攻に、慶應義塾大学大学院経済学研究科から、ジョイントディグリー制度により出願する志願者は、出願書類の他に研究科委員長名によるコース所属証明書（様式随意）を提出してください。

【試験実施日程等】

試験区分			試験日	試験内容等	備考
A日程	口述試験		7月29日（水）～ 8月5日（水）	学力ならびに適性に関する試問	試験実施日は、受験票発送時に通知します。
B日程	外国語科目	英語	筆答試験を実施しません。	本学の指定する英語外部テストのスコアシートを利用します。	詳細は【外部テストのスコアシートの取扱い】参照
		日本語	8月18日（火） 15:30～16:30		留学生のみに適用
	筆答試験	経営工学（Aコース）	8月19日（水） 9:30～11:30 13:30～16:30	経営工学専攻の専門科目は、午前実施分（基礎数学または論述）の配点を200点、午後実施分の配点を400点、外国語（英語）の配点を100点とし、合計700点満点とする。なお、留学生については日本語の成績についても合わせて考慮する。	経営工学専攻の専門科目の問題は受験者の志望する講座に応じてAコース、Bコースに分かれています。第1志望の教員の所属を基準にコースを選択すること。また、他専攻志願者で本専攻の専門科目を受験する者の選択コースはAコースのみとします。
		経営工学（Bコース）			
	口頭試問		9月2日（水）	研究能力ならびに適性に関する試問	口頭試問Ⅱにより実施

【外部テストのスコアシートの取扱い】

- スコアシートは原本を出願時に提出してください。提出できない場合は、8月12日（水）必着で下記の専攻問合せ先まで簡易書留郵便にて郵送してください。ただし、出願時にスコアシートを提出しなかった志願者はA日程受験資格者とはなりません。
- スコアシートは原本のみでコピーの提出は認めません。
- 一度提出したスコアシートの差し替えは一切認めません。

【専門科目の受験】

専門科目名：経営工学（Aコース）、経営工学（Bコース）

なお、これに代えて、下記のいずれかの他専攻の専門科目を受験することができます。

数学試験Ⅰ、化学、地球惑星科学、物質科学、材料工学A（金属材料系）、材料工学B（無機材料系）、有機・高分子物質、応用化学、化学工学、機械・制御情報系、電気電子工学・電子物理工学、情報工学、土木工学、建築学（共通・建築学コース）、建築学（共通・建築デザインコース）、原子核工学、分子生命科学、生体システム、生命情報、生物プロセス、生体分子機能工学、社会工学

【口頭試問受験資格者の発表】

8月28日（金）12時頃大岡山キャンパス「なごみの広場」（附属図書館の先）で掲示により発表します。また、同日13時頃より、本学ホームページ（新着入試情報）にも掲載します。

【過去の筆答試験問題の公表】

ホームページで公表 <http://www.me.titech.ac.jp/>

【記載内容に関する問い合わせ先】

〒152-8552 東京都目黒区大岡山 2-12-1 W9-74

東京工業大学 大学院社会理工学研究科 経営工学専攻事務室

TEL：03-5734-2251/FAX：03-5734-2947/MAIL：info@ml.me.titech.ac.jp

指導教員及びその研究分野一覧

経営工学専攻

本専攻で指導教員となれる教員一覧

指 導 教 員		研 究 分 野		備 考
教 授	井上 光太郎	経営財務, 経営管理	A	
准教授	鍾 淑玲	マーケティング, 流通	A	
准教授	鈴木 定省	生産管理, ロジスティクス	A	
教 授	伊藤 謙治	人間工学, 安全工学, 認知工学	A	
准教授	青木 洋貴	人間工学, 認知工学	A	
教 授	梅室 博行	感情と技術・経営, 加齢と技術, 人間工学	A	
教 授	宮川 雅巳	応用統計, 品質管理, 信頼性	A	
准教授	永田 京子	会計情報論, 企業評価	A	
教 授	水野 眞治	数値的最適化, OR, 金融工学	A	
准教授	中田 和秀	OR, 数理計画法, データマイニング	A	
教 授	飯島 淳一	システム理論, 情報システム学	A	
准教授	妹尾 大	組織論, 戦略論, 知識・情報システム	A	
教 授	○田中 義敏	企業経営と知的財産, 国際知的財産	A	技術経営専攻
教 授	中島 秀人	科学技術社会論(STS), 科学／技術史	B	
教 授	梶 雅範	科学史, 比較科学史, 科学技術社会論	B	

1. ○印を付してある指導教員は、備考欄の専攻等を本務とする併任教員ですが、他の教員と同様に志望できます。
2. 研究分野の欄にAと記載のある教員を第1志望とし、経営工学専攻の専門科目で受験する者は経営工学（Aコース）を、研究分野の欄にBと記載のある教員を第1志望とし、経営工学専攻の専門科目で受験する者は経営工学（Bコース）の専門科目をそれぞれ受験してください。

本専攻では指導教員となれない教員一覧（他専攻が本務の併任教員、定年・海外出張など）

指 導 教 員		研 究 分 野		備 考
教 授	☆比嘉 邦彦	経営情報システム, データベース, テレワーク		技術経営専攻
教 授	☆二宮 祥一	数理ファイナンス, 確率数値解析		技術経営専攻
教 授	☆宮崎 久美子	技術戦略, 技術経営戦略		技術経営専攻

1. ☆印を付してある指導教員を志望するものは、備考欄に記載されている専攻で出願してください。

社会工学専攻

専攻の詳細についてはこちらをご覧ください。 <http://www.soc.titech.ac.jp/>

【取得できる学位】

修士（工学又は学術）

【併願】

本専攻を第1志望としたときに他の専攻と併願して出願することはできません。

【志望理由書のテーマ等】

卒業研究の内容および修士課程での研究計画をA4用紙1枚にまとめたもの。文頭に、制度設計理論（経済学）、公共システム、時空間デザインのいずれのプログラムの履修を希望するか、必ず明記すること。

【出願にあたっての注意】

- ・教育上の配慮から、教員あたりの合格者数が制限される場合があります。また、最終的な可否および指導教員の決定にあたっては、口述試験または筆答試験成績と口頭試問により総合的に判定します。
- ・本専攻に、慶應義塾大学大学院経済学研究科から、ジョイントディグリー制度により出願する志願者は、出願書類の他に研究科委員長名によるコース所属証明書（様式随意）を提出してください。

【試験実施日程等】

試 験 区 分			試験日	試験内容等	備考	
A日程	口 述 試 験			7月29日（水） ～8月5日（水）	卒業研究の内容及び修士課程での研究計画を2分間で話した後、質疑、及び英語の成績	英語の成績は外部テストのスコアシートを参照します。 提出方法の詳細は下記の【外部テストのスコアシートの取扱い】参照 試験実施日は、受験票発送時に通知します。
B日程	筆答試験	外国語科目	英 語	筆答試験を実施しません。	本学の指定する英語外部テストのスコアシートを利用します。 スコアは本学の定める換算基準にもとづいた TOEIC の点数を、以下のように200 点満点に換算します。 (1) TOEIC860 点以上は英語 200 点 (2) TOEIC470～860 点を英語 120～200 点に比例換算 (3) TOEIC300～470 点を英語 60～120 点に比例換算 (4) TOEIC10～300 点を英語 0～60 点に比例換算	提出方法の詳細は下記の【外部テストのスコアシートの取扱い】参照
			日 本 語	8月18日（火） 15:30～16:30		留学生のみに適用
		専門科目	社 会 工 学	8月19日（水） 9:30～12:30	専門の試験科目を5分野から出題し、うち2題を選択して解答する（1題300 点満点で合計 600 点満点。ただし、問題の難易度を考慮して得点調整を行うことがある）。5分野は、①経済学、②確率・統計、③数理・ゲーム理論、④都市・歴史、⑤景観・まちづくり。なお、各分野の出題範囲については、上記の専攻ホームページを参照	
	口 頭 試 問			9月1日（火） 10:00～	卒業研究の内容および修士課程での研究計画等を2分間で話した後、質疑。なお、時空間デザインプログラムの履修希望者で、空間設計能力をアピールしたい者は、上記の中で、A1サイズのポスターまたはパネル1枚にその内容をまとめたものを用いてもよい。	口頭試問Ⅱにより実施

【外部テストのスコアシートの取扱い】

- ・スコアシートは原本を出願時に提出してください。提出できない場合は、受験資格者通知でA日程受験者となった者は、口述試験に必ず持参提出して下さい。
- ・B日程受験資格者となった者は、8月19日（水）の筆答試験に必ず持参提出して下さい。
- ・スコアシートは原本のみでコピーの提出は認めません。
- ・一度提出したスコアシートの差し替えは一切認めません。

【専門科目】

専門科目名：社会工学

なお、これに代えて、下記の専門科目を受験することができます。

経営工学（Aコース）

【口頭試問受験資格者の発表】

8月28日（金）12時頃大岡山キャンパス「なごみの広場」（附属図書館の先）で掲示により発表します。また、同日13時頃より、本学ホームページ（新着入試情報）にも掲載します。

【過去の筆答試験問題の公表】

ホームページで公表 <http://www.soc.titech.ac.jp/>

【記載内容に関する問い合わせ先】

〒152-8552 東京都目黒区大岡山 2-12-1 W9-91

東京工業大学大学院社会理工学研究科 社会工学専攻事務室

TEL：03-5734-2928

指導教員及びその研究分野一覧

社会工学専攻

本専攻で指導教員となれる教員一覧

指 導 教 員		研 究 分 野	備 考
教 授	中井 検裕	都市計画，都市空間の利用計画，都市政策	
准教授	真野 洋介	住環境・まちづくり，都市の形態とデザイン	
教 授	斎藤 潮	景観原論，地域景観論，景観計画，公共空間デザイン	
准教授	土肥 真人	ランドスケープ論，コミュニティ・デザイン論，都市デザイン論	
教 授	松井 知己	最適化理論，組合せ理論，オペレーションズ・リサーチ	
教 授	山室 恭子	歴史制度分析	
准教授	塩浦 昭義	離散最適化，オペレーションズ・リサーチ，数理システムの設計と解析	
教 授	大和 毅彦	理論経済学，公共経済学，実験経済学，メカニズム・デザイン	
准教授	大土井 涼二	マクロ経済学，経済成長理論	
准教授	河崎 亮	数理経済学，ゲーム理論	
連携教授	○増井 利彦	環境経済・政策学，総合評価モデル分析	連携（国立環境研究所）
連携准教授	○金森 有子	総合評価モデル開発，家計を中心とした環境負荷発生構造の分析	連携（国立環境研究所）
教 授	○樋口 洋一郎	社会経済ネットワーク論，計量経済学	情報環境学専攻
准教授	○十代田 朗	国土・地域計画，観光計画，観光リゾート発達史	情報環境学専攻
准教授	○松下 幸敏	計量経済学，統計学	情報環境学専攻

1. ○印を付してある指導教員は，備考欄の専攻等を本務とする併任教員ですが，他の教員と同様に志望できます。

本専攻では指導教員となれない教員一覧（他専攻が本務の併任教員，定年・海外出張など）

指 導 教 員		研 究 分 野	備 考
教 授	※武藤 滋夫	ゲーム理論，オペレーションズ・リサーチ，意思決定と情報	
教 授	☆坂野 達郎	計画システム設計論，組織論，意思決定論，情報社会論	価値システム専攻

1. ☆印を付してある指導教員を志望するものは，備考欄に記載されている専攻で出願してください。

2. ※印を付してある指導教員は，定年，海外出張等のため今回は志望できません。

(このページは落丁ではありません。)

イノベーションマネジメント 研究科

技術経営専攻

専攻の詳細についてはこちらをご覧ください。 <http://www.mot.titech.ac.jp/>

【取得できる学位】

技術経営修士（専門職）

【併願】

本専攻を第1志望としたときに他の専攻と併願して出願することはできません。

【志望理由書のテーマ等】

1. 志望理由, 2. 業務・学術上の実績, 3. 自己評価（自分の強み・弱みなど）, 4. 入学後に希望する研究内容
上記をそれぞれ500字程度にまとめ、記載すること。

【出願にあたっての注意】

本専攻は厚生労働省による専門実践教育訓練給付制度の指定講座です。

【試験実施日程等】

試験区分				試験日	試験内容等	備考
A日程	口述試験			7月29日（水）～ 8月5日（水）	学力および勉強意欲等に関する質疑応答	英語外部テストのスコアシートを利用します。詳細は【外部テストのスコアシートの取扱い】参照 試験実施日は、受験票発送時に通知します。
	B日程	筆答試験	外国語科目 英語	筆答試験を実施しません。	本学の指定する英語外部テストのスコアシートを利用します。	詳細は【外部テストのスコアシートの取扱い】参照
			日本語	実施しません。		
		専門科目	技術経営	8月19日（水） 9:30～11:30	論理力、思考力、記述力等を問う「一般問題」と数学基礎力を問う「数学問題」のいずれかを選択解答	
			口頭試問	9月1日（火）	卒業研究論文または技術経営に関わるこれまでの業績、および今後の学習テーマに関する質疑応答	口頭試問Ⅱにより実施

【外部テストのスコアシートの取扱い】

スコアシートは原本を出願時に提出してください。

出願時に提出できない場合は、スコアシートの原本をA日程口述試験受験時またはB日程筆答試験受験時に持参し、提出してください。一度提出したスコアシートの差し替えは一切認めません。

【専門科目】

専門科目名：技術経営

【口頭試問受験資格者の発表】

8月28日（金）12時頃大岡山キャンパス「なごみの広場」（附属図書館の先）で掲示により発表します。また、同日13時頃より、本学ホームページ（新着入試情報）にも掲載します。

【過去の筆答試験問題の公表】

ホームページで公表 http://www.mot.titech.ac.jp/entrance/entrance_mot/mot_kakomon/

【記載内容に関する問い合わせ先】

〒108-0023 東京都港区芝浦3-3-6-CIC912

イノベーションマネジメント研究科事務室

TEL：03-3454-8912／MAIL：mot-secre@mot.titech.ac.jp

指導教員及びその研究分野一覧

技術経営専攻

本専攻で指導教員となれる教員一覧

指 導 教 員		研 究 分 野	備 考
教 授	○池上 雅子	国際政治学・安全保障論, 紛争予防と信頼醸成, 軍縮軍備管理・核不拡散, 科学技術政策論	価値システム専攻
教 授	尾形 わかは	情報セキュリティ, 暗号理論とその応用	
教 授	○後藤 美香	経済学, 生産性分析, 効率性評価, エネルギー産業論	価値システム専攻
教 授	○西條 美紀	コミュニケーションデザイン, ユーザー中心設計, 知識管理・談話管理	留学生センター
教 授	田中 義敏	企業経営における知的財産活動, 国際知的財産, コンピテンシー	
教 授	※田辺 孝二	標準化戦略, 産官学連携, イノベーション精神	
教 授	二宮 祥一	数理ファイナンス, 確率論	
教 授	橋本 正洋	イノベーション政策, 知財戦略, 知財政策, 技術経営学	
教 授	比嘉 邦彦	テレワーク, クラウドソーシング, e-コマース, 組織改革, 地域活性化	
教 授	日高 一義	サービス科学, 製造業・情報産業・医療・交通・エネルギーマネジメントに於けるサービスイノベーション	
教 授	藤村 修三	イノベーション理論, 技術者のキャリア, サイエンス型産業	
教 授	宮崎 久美子	技術経営戦略, 科学技術政策, セクターイノベーションシステム, R&Dマネジメント	
准教授	梶川 裕矢	技術経営学, 科学技術政策, 持続可能性と社会イノベーション, 情報分析と設計の方法論, 知識の構造化	
准教授	仙石 慎太郎	技術経営学, 経営組織論, バイオ・ヘルスケア産業論	
准教授	辻本 将晴	経営戦略論, 経営組織論	
准教授	中野 張	数理ファイナンス, 確率制御, 確率論	
准教授	○中丸 麻由子	社会シミュレーション, 人間行動進化学	価値システム専攻

1. ○印を付してある指導教員は、備考欄の専攻等を本務とする併任教員ですが、他の教員と同様に志望できます。
2. ※印を付してある指導教員は、定年、海外出張等のため今回は志望できません。

本専攻では指導教員となれない教員一覧（他専攻が本務の併任教員、定年・海外出張など）

指 導 教 員		研 究 分 野	備 考
教 授	☆岡 眞	原子核・ハドロン物理理論（強い相互作用, エキゾチックハドロン, ストレンジネス核物理）	基礎物理学専攻
教 授	☆高橋 栄一	固体地球化学, 実験岩石学, 地球内部ダイナミクス	地球惑星科学専攻
教 授	☆大友 明	無機固体化学, 酸化物エレクトロニクス, 界面電子物性	応用化学専攻
教 授	☆岸本 喜久雄	計算力学, 材料力学, 破壊力学	機械物理工学専攻
教 授	☆奥富 正敏	コンピュータビジョン, 画像処理, 画像計測	機械制御システム専攻
教 授	☆平井 秀一郎	【地球環境調和】CO ₂ 地球温暖化対策技術, 燃料電池の計測・高性能化技術開発, 熱流体のレーザー・MRI計測とシミュレーション, CO ₂ 地中隔離制御技術	機械制御システム専攻
教 授	☆赤木 泰文	パワーエレクトロニクス, 電力工学	電気電子工学専攻
教 授	☆中村 聡	タンパク質工学, 遺伝子工学, 進化分子工学, 極限環境微生物, 極限酵素, ゲノム解析とゲノム情報の利用, タンパク質の極限環境適応機構	生物プロセス専攻
教 授	☆菅野 了次	固体化学, 固体電気化学, エネルギー変換材料の創製・物質設計, リチウム電池, 燃料電池	物質電子化学専攻
教 授	☆青木 尊之	大規模多相流シミュレーション, GPUコンピューティング, 大気シミュレーション, 災害シミュレーション	創造エネルギー専攻
教 授	☆灘岡 和夫	水圏環境学, 生態系保全学, 生態環境モデリング・モニタリング, 海岸・海洋工学, 統合沿岸管理計画	情報環境学専攻
教 授	☆水野 眞治	数値的最適化, OR, 金融工学	経営工学専攻
教 授	※武藤 滋夫	ゲーム理論, オペレーションズ・リサーチ, 意思決定と情報	社会工学専攻

1. ☆印を付してある指導教員を志望するものは、備考欄に記載されている専攻で出願してください。
2. ※印を付してある指導教員は、定年、海外出張等のため今回は志望できません。

Ⅲ 平成27年4月入学及び平成26年10月入学東京工業大学大学院修士課程・専門職学位課程入学試験結果(公表資料)

専攻名	募集人員	志願者数 (第1志望)	合格者数	入学手続者数	備考
理工学研究科					
数 学	22	53	28	26 (0)	
基 礎 物 理 学	23	53	23	22 (1)	
物 性 物 理 学	35	61	39	35 (0)	
化 学	41	76	46	44 (0)	
地 球 惑 星 科 学	19	18	16	14 (0)	
物 質 科 学	32	49	35	33 (1)	
材 料 工 学	43	52	48	47 (0)	
有 機 ・ 高 分 子 物 質	51	77	56	52 (2)	
応 用 化 学	27	34	30	30 (0)	
化 学 工 学	28	46	33	32 (2)	
機 械 物 理 工 学	44		50	49 (0)	
機 械 制 御 シ ス テ ム	52	* 225	62	58 (0)	
機 械 宇 宙 シ ス テ ム	29		34	33 (0)	
電 気 電 子 工 学	35		41	38 (1)	
電 子 物 理 工 学	36	143	42	37 (1)	
通 信 情 報 工 学	32	33	34	30 (5)	
土 木 工 学	27	48	29	24 (3)	
建 築 学	36	87	39	38 (2)	
国 際 開 発 工 学	26	44	31	24 (1)	
原 子 核 工 学	26	37	32	25 (0)	
計	664	1136	748	691 (19)	
生命理工学研究科					
分 子 生 命 科 学	29	49	33	29 (2)	
生 体 シ ス テ ム	26	30	27	22 (0)	
生 命 情 報	31	33	30	27 (0)	
生 物 プ ロ セ ス	30	37	33	30 (0)	
生 体 分 子 機 能 工 学	30	37	33	32 (0)	
計	146	186	156	140 (2)	
総合理工学研究科					
物 質 科 学 創 造	44	73	51	48 (0)	
物 質 電 子 化 学	48	58	52	48 (0)	
材 料 物 理 科 学	43	63	48	38 (2)	
環 境 理 工 学 創 造	40	80	44	41 (3)	
人 間 環 境 シ ス テ ム	44	54	44	41 (2)	
創 造 エ ネ ル ギ ー	41	55	43	42 (2)	
化 学 環 境 学	40	78	48	40 (1)	
物 理 電 子 シ ス テ ム 創 造	46		59	51 (2)	
物 理 情 報 シ ス テ ム	41	171	47	44 (2)	
メ カ ノ マ イ ク ロ 工 学	31	72	33	31 (0)	
知 能 シ ス テ ム 科 学	76	121	81	67 (2)	
計	494	825	550	491 (16)	
情報理工学研究科					
数 理 ・ 計 算 科 学	31	48	36	33 (1)	
計 算 工 学	45	73	50	46 (1)	
情 報 環 境 学	40	* 18	44	39 (1)	
計	116	139	130	118 (3)	
社会理工学研究科					
人 間 行 動 シ ス テ ム	27	33	29	26 (5)	
価 値 シ ス テ ム	26	21	13	12 (3)	
経 営 工 学	38	55	41	41 (1)	
社 会 工 学	33	60	38	35 (0)	
計	124	169	121	114 (9)	
イノベーションマネジメント研究科					
技 術 経 営	40	59	41	39 (9)	
計	40	59	41	39 (9)	
合計	1584	2514	1746	1593 (58)	

(注) 上記には、別途選抜した清華大学との合同プログラム、修士外国人留学生特別選考、技術経営専攻においてのデュアルディグリープログラムによる数は含まない。

入学手続者数欄の()内の数字は平成26年10月入学者数(国際大学院プログラムを除く)を示した内数。

* 情報環境学専攻は機械系と社会・環境系に分かれており、機械系は「機械・制御情報系」という1専攻の体制で募集しているため、機械系志願者数は、機械物理工学専攻・機械制御システム専攻・機械宇宙システム専攻の欄に、機械系を含めた人数で記している。

創(つくり)拓(ひらく)理系人(りけいびと)たれ

—入学希望者へ

遠く宇宙の果てへの探究から微細なナノ・スケールでの造形まで。あるいは抽象思考の極北を旅する純粋数学の凛とした美しさから、フラスコにひそやかに息づく生命の温もりまで。およそ「自然」なるもののすべてを相手どる理系分野の学問は、とてつもない広がりをもっています。かつ、その卓越した発想や技法は今や文系分野の学問にも浸透し、新たな地平を切り拓きつつあります。

そうした無限の広がり可能性へのたゆまぬ挑戦。我が国を牽引する理工系総合大学としての使命感を胸に、1881年創立という長い伝統からゆたかな叡智を汲み上げ、世界各国の大学や研究機関と緊密な連携を組みながら、本学は日々、前人未踏の革新へと挑んでいます。

目線は高く人類の未来を見すえ、地球環境との調和を考えつつ、しかし、手はつねに動いて、ネジ一つの工夫で今日よりも明日を快適にする道をさぐっています。

その本学が入学者に期待する資質は、ただの二つです。

1. 「理系」であることに「自信」を持っていること。
2. 「理系」であることに「誇り」を持っていること。

得意な分野は数学でも物理でも化学でも、あるいはこれらを応用して、さまざまな創造を試みる工学的な諸分野のどれかでも構いません。とことん好きで、これなら負けないと自信を持てる足場をしっかりと自らの内に築いておいていただきたい、というのが一つめの希望です。その足場から、すすくと関心を広げ、文系理系を問わない奥深い専門性や独創性へと導かれゆく扉は、本学の教育カリキュラムの中にたくさん開かれています。

そして、理系科目が好きであるのと同様に、理系である自分自身をも好きでいていただきたい、というのが二つめの希望です。果てしない広がりを持つ自然科学という学問を選んだ自分の選択に誇りを持ち、掲げるに足る目標を見つけ出して敢然と登攀して下さい。本学には、専門性へと没入するあまり自らの位置を見失ってしまわないよう、社会的な観点や文化的な感性を培うための研鑽の機会も、ふんだんに設けられています。

荒れ地に種を蒔く開拓者たる勇気を一。東京工業大学は、たくましく挑戦的な理系精神を強く求めます。

入学者に求める資質と能力

科学・技術への知的好奇心と探究心を有し、
基本的な概念や考え方、応用力を身に付けた人材を求めます

東京工業大学は、学士、修士、博士、及び専門職学位の取得を目指す各課程の教育目標に基づいて、充実した基礎教育、教養教育と専門教育を有機的に関連させる楔形教育、「ものづくり」を基本とする実学教育、創造性を育む実習教育、最先端の研究を核として高度な技術者・研究者を養成する専門教育、国際連携を活用した教育など、世界に冠たる理工系総合大学に相応しい教育を行います。

そこで、本学の各課程では、次のような資質と能力をもつ人材を求めます。

修士課程

- ・理工系基礎学力を有し、それに基づいて論理的に思考し、表現できる。
- ・豊かで幅広い知識を有し、様々な視点から多面的にものごとを捉えることができる。
- ・国際的な視野から研究・技術開発を進めるために必要な語学力を有している。
- ・未知の世界に果敢に挑む旺盛な研究意欲を有している。

専門職学位課程

- ・自らの経験から得た知識や習得した知識を基に、現状を踏まえて論理的かつ客観的に思考し、表現できる。
- ・豊かで幅広い知識を有し、様々な視点で多面的にものごとを捉えることができる。
- ・国際的に活動できる語学力を有している。
- ・向上心にあふれ、社会を主導する意欲を有している。

入学者に求める能力と適性（専攻別）

理工学研究科

【数学専攻】

数学専攻では、数学への知的好奇心と探究心を有し、基本的な概念や考え方、応用力を身に付けた人材を求めます。具体的には次のような項目に該当する人材です。

- ・数学の根本への探究心を有している
- ・数学の基本的な概念や考え方を身に付け、応用できる力を有している
- ・論理的に思考し、集中してものごとに取り組むことができる
- ・数学課程で必要となる基礎的な語学力を有している

【基礎物理学専攻】

基礎物理学専攻では、自然現象への知的好奇心を有し、基本的な物理学の概念や考え方、応用力を身に付けた人材を求めます。具体的には次のような項目に該当する人材です。

- ・物理学の根本原理への探究心を有している
- ・物理学の基本的な概念や考え方を身に付け、応用できる力を有している
- ・論理的に思考し、集中してものごとに取り組むことができる
- ・専門教育で必要となる基礎的な語学力を有している
- ・自然科学を探究し、科学・技術の発展に貢献する意欲を有している

【物性物理学専攻】

物性物理学専攻では、自然現象への知的好奇心を有し、基本的な物理学の概念や考え方、応用力を身に付けた人材を求めます。具体的には次のような項目に該当する人材です。

- ・物理学の根本原理への探究心を有している
- ・物理学の基本的な概念や考え方を身に付け、応用できる力を有している
- ・論理的に思考し、集中してものごとに取り組むことができる
- ・専門教育で必要となる基礎的な語学力を有している
- ・自然科学を探究し、科学・技術の発展に貢献する意欲を有している

【化学専攻】

化学専攻では、広く物質の関わるさまざまな現象に知的好奇心と探究心を有し、基本的な概念や考え方を身に付けた人材を求めます。具体的には次のような項目に該当する人材です。

- ・広く物質の関わるさまざまな現象に好奇心と探求心を有している
- ・化学の基本的な概念や考え方を身に付けている
- ・論理的に思考し、集中してものごとに取り組むことができる
- ・専門教育で必要となる基礎的な語学力を有している

【地球惑星科学専攻】

地球惑星科学専攻では、次のような能力と適性をもった人材を求めます。

- ・地球・惑星の諸現象に科学的な好奇心を有している
- ・数学・物理学・化学・地球科学などの基本学力を身に付けている
- ・論理と定量的評価に基づいた科学的思考ができる
- ・専門教育で必要となる基礎的な語学力を有している

【物質科学専攻】

本専攻では、次のような能力と適性をもった人材を求めます。

- ・物質・材料とそれに関連する化学・物理現象に対して強い興味を有し、その理解を支える理工系の基礎学力を有している。
- ・物質科学に関連する基礎的な専門学力を有しつつ、既存の枠にとらわれない自由な発想が可能である。
- ・物質科学の学習・研究活動を通して、自らが人間的に成長したいという希望を有している。また、社会の仕組みと成り立ちを理解し、物質科学の知見を活かして社会や人類の発展に寄与する志を有している。
- ・物質科学の学際性を支えるべく、異分野／異文化とのコミュニケーションと相互理解に意欲的である。
- ・専門教育で必要となる外国語（英語）の基礎的な学力を有している。

【材料工学専攻】

本専攻では、次のような能力と適性を持つ人材を求めます。

- ・理工系の十分な基礎学力を有し、柔軟な発想ができること
- ・未知の研究領域に興味を持ち、果敢に挑戦する気概、積極的に学ぶ意欲を有すること
- ・社会を支える材料工学の役割および新規材料開発の意義を理解し、社会に貢献する志を有すること
- ・日本語および英語による文章力、説明力を駆使して自身の考えを自由に表現できること

【有機・高分子物質専攻】

本専攻では、次のような人材を求めます。

- ・理工系を中心として幅広い分野について十分な基礎学力および知識を有し、柔軟な発想ができること
- ・物質・材料に興味を持ち、果敢に挑戦する気概、積極的に学ぶ意欲を有すること
- ・有機・高分子物質学の知見を活かして社会の発展に貢献する志を有すること
- ・国際的な視野から研究・技術開発を進めるために必要な語学力を有すること

【応用化学専攻】

本応用化学専攻は、次のような能力と適性をもつ人材を求めます。

- ・理工系の十分な基礎学力と応用化学系の基礎専門力を有し、問題解決に向けての強い意欲があること
- ・未知の研究領域に興味をもち、果敢に挑戦する気概、積極的に学ぶ意欲を有すること

【化学工学専攻】

本専攻では、次のような能力と適性をもつ人材を求めます。

- ・理工系の十分な基礎学力と化学工学の基礎専門力を有し、柔軟な発想ができること
- ・化学とその応用分野に興味を持ち、果敢に挑戦する気概、積極的に学ぶ意欲を有すること
- ・化学プロセスのみならず環境、エネルギー、材料の幅広い分野を理解し、化学工学の専門知識を生かして社会の発展に貢献する志を有すること
- ・日本語および英語による説明能力と文書化能力を有すること

【機械物理工学専攻】

本専攻では次のような能力と適性をもつ人材を求めます。

- ・理数分野について十分な基礎学力と応用力を有する人
- ・学際的・先進的・発見的な機械工学を探究する意欲を有する人
- ・新たな普遍的工学原理や工学理念の創出に果敢に挑戦する意欲を有する人

【機械制御システム専攻】

本課程では、次のような能力と適性をもつ人材を求めます。

- ・理工系の十分な基礎学力と機械・制御情報系の基礎専門力を有し、柔軟な発想ができること
- ・未知の研究領域に興味を持ち、果敢に挑戦する強い意志、積極的に学ぶ意欲を有すること
- ・社会システムを理解し、機械制御システムの知見を活かして社会の発展に貢献する志を有すること
- ・論理的説明能力と文書化能力を有すること

【機械宇宙システム専攻】

本専攻では、次のような能力と適性をもつ人材を求めます。

- ・理数分野を中心として幅広い分野について十分な基礎学力と基礎専門力を有し、柔軟な発想ができること
- ・宇宙分野に代表される未知の研究領域に興味を持ち、果敢に挑戦する気概を有すること
- ・最先端の研究を通じて広範で実践的な工学知識を積極的に習得する意欲を有すること
- ・社会システムを理解し、機械工学の知見を活かして社会の発展に貢献する志を有すること
- ・日本語および英語による説明能力と文書化能力を有すること

【電気電子工学専攻】

本専攻では、次のような能力と適性をもつ人材を求めます。

- ・電気電子工学分野での十分な基礎学力を有し、柔軟な発想ができること
- ・未知の研究領域に興味を持ち、果敢に挑戦する気概、積極的に学ぶ意欲を有すること
- ・コミュニケーション能力と文書作成能力の基礎を有すること

【電子物理工学専攻】

本専攻では、次のような能力と適性をもつ人材を求めます。

- ・電子物理工学分野での十分な基礎学力を有し、柔軟な発想ができること
- ・未知の研究領域に興味を持ち、果敢に挑戦する気概、積極的に学ぶ意欲を有すること
- ・コミュニケーション能力と文書作成能力の基礎を有すること

【通信情報工学専攻】

本専攻では、次のような能力と適性をもつ人材を求めます。

- ・理工学の幅広い分野に興味をもち、十分な基礎学力と柔軟性をもっている人
- ・自ら新しい問題に挑戦し、それに粘り強く取り組むことのできる人
- ・日本国内のみでなく、世界を見据えて学習や研究に取り組むことのできる人
- ・より高性能で使いやすい情報通信システムの実現を通して社会の発展に貢献する志をもつ人

【土木工学専攻】

本専攻修士課程では、次のような人材を求めます。

- ・理工系基礎学力を有し、論理的かつ多面的な発想ができること
- ・土木技術や社会基盤に関連する幅広い知識を有し、積極的に学び研究する意欲を有すること
- ・国際的な視野から研究開発を進めるために必要な語学力を有していること
- ・土木工学の知見を活かし、安全で環境に調和した社会の形成に貢献する高い志を有すること

【建築学専攻】

本専攻では、次のような能力と適性をもつ人材を求めます。

- ・建築学において全般的な基礎学力と専門領域の学力を有すること
- ・多面的な捉え方、論理的な思考、創造、表現ができること
- ・未知の領域に興味を持ち、挑戦する気概、積極的な研究意欲を有すること
- ・建築を取り巻く世界を理解し、専門知識を生かし、社会の発展に貢献する志を有すること
- ・国際的に研究活動や創作活動を行うための基礎的な語学力を有していること

【国際開発工学専攻】

国際開発工学専攻では、以下のような素養を持った方々を求めます。

- ・国際社会が抱える問題や地域社会の問題に興味を持ち、それを解決するための高度な学問を学ぶ意欲を有すること
- ・自分の得意分野を極める意欲と関連分野を広く学ぼうとする柔軟性を併せ持つこと
- ・高度な国際開発工学を修得するための基礎的な学力が十分であること
- ・国際的なコミュニケーション力、マネジメント力、協働力の基礎ができていること

【原子核工学専攻】

本専攻は、次のような能力と適性を有する人材を求めます。

- ・理工系の十分な基礎学力と各々の出身学部・学科で学んだ基礎的な専門学力を有し、それに基づき論理的かつ柔軟に思考し、自分の考えを表現できること
- ・未知の研究領域に果敢に挑戦し、積極的に学ぶ意欲を有すること
- ・本専攻で学んだことを活かして、社会の発展に貢献する志を有すること
- ・日本語および英語による説明能力と文書能力を有すること

生命理工学研究科

【分子生命科学専攻】

本専攻では、次のような能力と適性をもつ人材を求めます。

- ・理工学と生命科学の基礎学力、および、それらに基づく論理的思考や表現力
- ・分子生命科学の研究を進めるために必要な語学力
- ・生命科学に興味を持ち、積極的に学び、研究しようとするバイタリティ

【生体システム専攻】

本専攻では、次のような能力と適性をもつ人材を求めます。

- ・理工学と生命科学の基礎学力、および、それらに基づく論理的思考と表現力
- ・生命科学の研究を遂行するのに必要な語学力
- ・生命について分子レベルからそのシステムまで幅広い観点から興味を持ち、積極的に学び、研究しようとする強い意欲

【生命情報専攻】

本専攻の修士課程では、次のような能力と適性をもつ人材を求めます。

- ・理工系の基礎学力とバイオ系の基礎専門学力を有し、それらに基づく論理的思考力や表現力を有している
- ・生命情報を基盤とする研究・技術開発の推進に必要な語学力を有している
- ・生命情報を基盤とするオリジナルかつ最先端の研究・技術開発に強い関心を有している
- ・生命および生命研究に真摯に向き合う意欲を有している

【生物プロセス専攻】

本専攻では、次のような能力と適性をもつ人材を求めます。

- ・理工系の基礎学力と生物工学の基礎専門学力を有し、それらに基づく論理的思考力や表現力を有している
- ・生物工学の研究開発を進めるために必要な語学力を有している
- ・生物や生物機能を物質生産や環境・医療分野に役立てることに強い関心を有している
- ・生命に真摯に向き合う意欲を有している

【生体分子機能工学専攻】

本専攻では、次のような能力と適性をもつ人材を求めます。

- ・理工系の十分な基礎学力と生命理工学に関する専門学力を有し、それらに基づく論理的思考力や表現力を有している
- ・生体分子工学の研究開発を進めるために必要な英語の語学力を有している
- ・生体分子に関する基礎的知見を工学的に応用する研究に興味を持ち、新しい課題に果敢に挑戦する気概と積極的に学ぶ意欲を有している
- ・医療分野のみならず広範な産業分野に関心があり、生体分子に関する知見を活かして社会の発展に貢献する志を有している

総合理工学研究科

【物質科学創造専攻】

- ・理工系の十分な基礎学力とともに、物質・材料系の基礎専門力を有すること
- ・英語を理解し、英語による説明と文書化の能力を有すること
- ・論理的に思考し、表現し、議論する能力を有すること
- ・本課程の人材養成の目的を理解し、修得した能力をもって社会に貢献しようとする高い志を有すること

【物質電子化学専攻】

本専攻では、次のような能力と適性を持つ人材を求めます。

- ・理工系、特に化学の基礎学力を有すること
- ・学問に対する積極的な意欲を有すること
- ・柔軟な発想をもち、新しい研究課題に積極的に挑戦する気概を有すること
- ・化学の知見を活かして社会の発展に貢献する志を有すること
- ・日本語による説明能力と文書化能力を有すること
- ・英語による基礎的な読解力と文章作成力を有すること

【材料物理科学専攻】

本専攻では、次のような資質や能力を持つ人材を求めます。

- ・材料科学および材料工学に関する基礎学力を身につける意欲を持ち、この分野を専門とする科学・技術者として広く社会に貢献することを目指す人
- ・異分野の科学技術にも興味を持ち、自らの専門との融合を目指すための視野拡大とコミュニケーション力の強化を目指す意欲のある人
- ・科学技術を柱に国際的活動を目指す人

【環境理工学創造専攻】

本専攻では、次のような能力と適性をもつ人材を求めます。

- ・持続可能な社会と環境とのあり方を探求し、国内外の環境問題を解決することによって社会に貢献する意欲があること
- ・理工系もしくは社会科学系の基礎知識を有していること
- ・新しい学問分野に積極的に取り組む意欲があること
- ・日本語および英語による読解能力を有すること

【人間環境システム専攻】

本専攻では、次のような能力と適性をもつ人材を求めます。

- ・新たな人間環境のあるべき姿を探求し実現してゆくために学ぶ強い意欲を有すること
- ・理工系の基礎専門力を有し、柔軟な発想ができること
- ・自らの技術的知見を活かして社会の発展に貢献する志を有すること

【創造エネルギー専攻】

本専攻では、次のような能力と適性をもつ人材を求めます。

- ・エネルギー科学を学習するための十分な理工系基礎学力を有すること
- ・自ら積極的に学習、研究を進めていく意欲を有すること
- ・これまでの専門領域に拘らず、新しい分野を切り開くチャレンジ精神を有すること
- ・研究を進めるために必要な語学力を有すること

【化学環境学専攻】

- ・理工系基礎学力を有し、それに基づいて論理的に思考し、表現できる
- ・国際的な視野から研究を進めるために必要な語学力を有している
- ・未知の研究領域に積極的に挑戦する旺盛な研究意欲を有している
- ・様々な視点から多面的にものごとを捉える意識をもっている

【物理電子システム創造専攻】

本専攻では次のような能力と適性を持つ人材を求めます。

- ・理工系の十分な基礎学力を持ち、それを柔軟に応用して新しい学問分野の修得にも活かせること。
- ・未知の研究対象に興味を持ち、その課題克服に主体的に学び取り組めること。
- ・高い倫理観を持ち自らの専門的知識や経験を社会で活かそうという志を持っていること。
- ・社会の中で自ら学び自己の力を発揮できるコミュニケーション力を持っていること。
- ・英語の基礎力を充分持っていること。

【メカノマイクロ工学専攻】

本専攻では学際的な教育研究を目指しているため、機械・電子・制御・情報などの分野に関わる学科をはじめとして、材料系、生命系、化学系など広い分野の出身者を受け入れています。受験生には、

- 1) 意欲をもって積極的に学業・研究に取り組める、
- 2) 基礎的な工学知識および出身学科の基礎的専門知識が十分であることを望みます。

【知能システム科学専攻】

修士課程入学者に求める能力と適性

- A) 自分が取り組みたい課題に対する明確な動機づけがあり、
- B) 学部において自分の第一専門を体系的に修めた上で、
- C) 異分野・異文化に果敢に挑戦することができるたくましさ、
- D) 異分野の対象であっても共通する論点を見抜く抽象化能力、あるいは数理的な素養とセンスを持つような入学者を受け入れる。

【物理情報システム専攻】

本専攻では次のような能力と適性をもつ人材を求めます。

- ・理工系の十分な基礎学力をもち、それを柔軟に応用して新しい学問分野の習得にも活かせること
- ・未知の研究領域に興味をもち、その課題克服に自律的に取り組む姿勢のあること
- ・専門的知識や経験を、倫理観をもって社会で活かそうという志をもっていること
- ・基本的な説明能力、コミュニケーション力をもっていること
- ・英語の基礎力をもっていること

情報理工学研究科

【数理・計算科学専攻】

本専攻では次のような人材を歓迎します。

- ・論理・数学的な理論体系と現象の背後にある数理科学的構造に興味を持っている
- ・学部レベルの数学とその応用分野、計算機とプログラミングの基礎知識を身につけている
- ・現実的な問題の解決に役立つ数理・計算機科学の理論とその応用に関心と意欲を持っている

【計算工学専攻】

本専攻では、以下のような能力と適性を持った人材を求めます。

- ・理工学の幅広い分野に興味を持ち、十分な基礎学力と柔軟性を持っている人
- ・自ら新しい問題に挑戦し、それに粘り強く取り組むことのできる人
- ・日本国内のみでなく、世界を見据えて学習や研究に取り組むことのできる人
- ・より高性能で使いやすいコンピュータ・システムの実現を通して社会の発展に貢献する志を持つ人

【情報環境学専攻】

本専攻では、次のような能力と適性をもつ人材を求めます。

- ・理学・工学を中心に幅広い学問分野についての基礎学力と教養を有している
- ・学部教育をとおして修得した専門学力を有している
- ・専門分野で必要となる語学力を有している
- ・柔軟な発想力および論理的な思考力を有している
- ・積極的に学び、困難な問題にも果敢に挑戦する気概を有している
- ・習得した知識や能力を活かし、社会に貢献しようとする意欲を有している

社会理工学研究科

【人間行動システム専攻】

本専攻は、評価として次のような観点から総合的に判断し、基本的な能力と適性を持ち、本専攻の教育目標が達成できると見込まれる人材を求める。すなわち、理工系と人文・社会科学のいずれか一方の基礎専門学力、本専攻の教育課程の履修に必要な基礎学力および論理的思考力、学習意欲、柔軟性、コミュニケーション力を重視する。

- ・理工系または人文・社会科学の基礎専門学力
- ・事実やデータ等に基づき、論理的に思考し、表現する力
- ・多様な価値観を理解し、人間や社会のさまざまな現象に関心を持ち、多面的にものごとを捉え、考えようとする態度
- ・グローバル社会において、多様な人達と協働で問題解決する際に身につけるべき基礎的な英語力やコミュニケーション力
- ・人間を対象とした実験や教材開発、システム開発等で必要な情報技術に関する知識・技能、データ解析・効果分析等で必要な統計手法に関する知識
- ・既存の学問領域にとらわれず、人間性を加味した新しい科学技術の発展に寄与する本専攻の趣旨に賛同し、未知の世界に果敢に挑む旺盛な研究意欲

【価値システム専攻】

価値システム専攻では、次のような人材を求めます。

- ・ 知の融合のために、既存の学問領域にとらわれずに他の学問にも貪欲である人
- ・ 知の創造のために、問題発見と解決方法の模索の繰返しに真摯に取り組む人
- ・ 知の実践のために、新しい取組みへの勇氣と謙虚さを持つ人
- ・ 創造された知を実際に問題解決に役立て社会に貢献する人

【経営工学専攻】

本専攻では、次のような能力と適性を持つ人材を求めます。

- ・ 人文社会学、理学および工学の十分な基礎学力と論理的な思考力
- ・ 経営工学およびその周辺の分野について十分な専門的学力を有すること
- ・ 自ら問題を発見する洞察力とその解決に適切な方法を探すことのできる力
- ・ 論理的思考力と柔軟な発想力
- ・ 社会に存在する問題に挑戦し積極的に学ぶ意欲と最後までやり抜く敢闘精神
- ・ 問題を解決し、マネジメントできる力
- ・ 問題解決を通じてグローバルに社会に貢献する志
- ・ 人間性尊重の考え方と技術者倫理

【社会工学専攻】

本専攻では、次のような能力と適性をもつ人材を求めます。

- ・ 社会工学の基礎技能分野である数理、空間、及び言語技術に関する十分な学力を有する
- ・ 社会問題が発生し、それに対しての問題解決を計っている現場（実態）を理解できる
- ・ 社会工学の知見を活かして、社会問題の解決策を導き、社会の発展に貢献できる
- ・ 既存研究を学ぶことだけでは満足せず、新しい研究領域を開拓する意欲を持つ
- ・ 日本語および英語による優れた文章表現能力ならびにプレゼンテーション能力を備える

イノベーションマネジメント研究科

【技術経営専攻】

本専攻では、次のような能力と適性をもつ人材を求めます。

- ・ 自らの経験から得た知識や習得した知識を基に、現状を踏まえて論理的かつ客観的に思考し、表現できる
- ・ 豊かで幅広い知識を有し、様々な視点で多面的にものごとを捉えることができる
- ・ 国際的に活動できる語学力を有している
- ・ 向上心にあふれ、社会を主導する意欲を有している

国立大学法人 東京工業大学 学務部 入試課

〒152-8550 東京都目黒区大岡山2丁目12番1号-W8-103

TEL (03)5734-3990 : 平日 9:00~17:15 (12:15~13:15 を除く)

※問い合わせは志願者本人が行うこと

MAP

- 大岡山キャンパス 東京急行大井町線・目黒線（大岡山駅下車徒歩1分）
- すずかけ台キャンパス 東京急行田園都市線（すずかけ台駅下車徒歩5分）
- 田町キャンパス JR山手線・京浜東北線（田町駅下車徒歩2分）



- 大岡山キャンパス 東京急行大井町線・目黒線大岡山駅下車徒歩1分
- すずかけ台キャンパス 東京急行田園都市線すずかけ台駅下車徒歩5分
- 田町キャンパス JR山手線・京浜東北線田町駅下車徒歩2分

東京工業大学ホームページ <http://www.titech.ac.jp>

新着入試情報 http://www.titech.ac.jp/graduate_school/news/index.html